

14-548

No 23047/22



流通證書法

目次

緒言

爲替手形及約束手形  
流通證書法ノ目的  
流通證書法ノ沿革

第一章 手形ノ方式  
第十項 手形ノ定義  
第九項 手形ノ對手  
第八項 指圖  
第七項 金額  
第六項 約報  
第五項 振出及支拂ノ期日  
第四項 振出及支拂地

流通證書法目次

一	全	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	九	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	
一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五	丁	一	五

第八項	引受	五六丁
第九項	引渡	六九丁
第十項	不完全手形	七七丁
第十一項	手形ノ種類	八一丁
第十二項	保證	八三丁
第二章	能力及權限	一〇六丁
第一項	對手ノ能力	全
第二項	對手ノ權限	一一一丁
第三章	約報	一一九丁
第四章	流通	一三四丁
第五章	手形ノ呈示	一五五丁
第一項	引受ノ爲メニスル呈示	全
第二項	仕拂ノ爲メニスル呈示	一六四丁
第三項	手形ノ不渡	一七二丁

第四項	拒ミ証書	一八二丁
第五項	引受人ニ對スル所持人ノ義務	一八四丁
第六章	對手ノ責任	一八七丁
第一項	支拂人ノ責任	一八八丁
第二項	引受人ノ責任	一八九丁
第三項	振出人及裏書人ノ責任	一九一丁
第四項	移轉人ト受轉人トノ關係	一九四丁
第七章	解除	一九六丁
第一項	支拂	一九八丁
第二項	法律	二〇六丁
第三項	合意	二〇七丁
第八章	出訴期限	二〇八丁

流通證書法目次完

流通證書法 (Law of Negotiable instrument)

中橋徳五郎 講義

第一回

緒言 (Introduction)

緒言  
爲替手形  
及約束手形

爲替手形及約束手形 (Bill of Exchange and Promissory Note)

流通證書法ノ講義ニ入ルニ先テ第一ニ何チカ流通證書法ト云フヤノ問題ヲ觀察セサルヘカラス余ハ之ニ答テ云ハントス流通證書ニ關スル種々ノ事項ヲ規定スル所ノ法律之ヲ稱シテ流通證書法ト云フト而シテ此ニ又第二ニ起ルヘキ問題アリ何チカ流通證書ト云フヤトノコト之ナリ余ハ之ニ答テ流通證書トハ金錢支拂ノ差圖狀若シハ約束狀ニシテ數多ノ對手間ニ自由ニ輾轉スヘキモノ之ヲ稱シテ流通證書ト云ハント欲ス然ラハ何チカ差圖狀若シハ約束狀ト云フヤ曰ク吾々カ今日商業社會ニ於テ名ケテ約束手形ト云ヒ爲替手形ト云ヒ又或ハ振出切手 (Cheques) ト稱スルモノ乃チ之ナリ尙ホ簡單ニ云ヘハ爲替手形トハ金錢ノ支拂ヲ差圖スル證書ヲ云ヒ約束手形トハ其名ノ如ク金錢ノ仕拂ヲ約束スル證書ヲ云ヒ

流通證書法



現金取引ノ不利益

振出切手トハ爲替手形ト同一ノ性質ヲ有スルモノニシテ只其金錢支拂ノ差圖ヲ受クル者ハ銀行者ニ限ルノ差異アルノミ是此切手ニ特別ノ性質ナリトス畢竟今ヨリ講述セントスル流通證書法ニ於テ論スヘキ目的物ハ此三ツノ證書ニ過キサルナリ則チ此三ツノ證書ニ付キ對手間ニ發生スヘキ權利義務其證書ノ方式其轉帳ノ方法等ヲ規定スル所ノ法律ヲ研究スルニアリ是ヨリ例ヲ舉テ此三證書ノ性質ニ付其概畧ヲ述ヘン

今茲ニ在東京甲者カ在大坂乙者ヨリ金千圓ヲ借受ケ居リタリトセハ甲者ハ該金員ヲ返濟ス可キ義務アリ又一方ニ於テハ在東京丁者ヨリ千圓ノ價值アル貨物ヲ領収シ未ダ其代價ヲ仕拂ハスト假定セハ通常ノ取引ハ現金取引ナルカ故ニ在大坂丙者ハ在東京ノ丁者ニ現金ヲ送ラサルヘカラス又在東京甲者ハ在大坂乙者ニ現金千圓ヲ送ラサルヘカラサルナリ然ルニ此現金送付ノコトタル實ニ煩勞ナルノミナラス又甚ダ危險ナリトス今現金取引ノ不利益ナル點ヲ列舉セハ即チ  
第一、拾圓又ハ貳拾圓ノ少金額ヲラシニハ格別ノコトアルナシト雖モ千圓又ハ万圓ノ巨額ニ上ルトキハ之ヲ計算スルニスラ尙ホ時ヲ費サ、ルヘカラサルノ

不便アルコト

第二、贋造紙幣ナリヤ又贋造弗ナリヤ之ヲ調査セサルヘカラサルカ爲メニ時間ト手數トヲ要スルコト

第三、金銀貨ナルトキハ其量實ニ重キカ故ニ運搬ニ不便ナルコト

第四、現金ナルモノハ何人タルヲ問ハス其手裡ニ之ヲ得ルトキハ直チニ所有權ヲ得テ之ヲ使用スルコトヲ得ヘク從テ私ヲ生スルノ弊アルノミナラス盜難或ハ火災ノ危險アルコト

是ナリ以上述ヘタル如キ不利益アルカ故ニ近世ニ於テハ決シテ斯ル煩ハシキ手續ヲ爲スモノナキニ至レリ然ラハ如何ナル方法ニ依テ以テ此煩雜ナル手續ヲ避クルヲ得ヘキヤト云フニ即チ前例ニ於ケル在東京甲者ハ在大坂丙者ニ書ヲ送り自分ハ汝ノ債主タル丁者ニ對シ東京ニ於テ金員ヲ仕拂フヘキニ付キ汝ハ自分ノ債主タル乙者ニ對シ余ニ代テ金千圓ヲ仕拂フヘキ旨ヲ以テセシテ而シテ丙者ニ於テ之ヲ承諾シタルトキハ東京ト大坂トノ間ニ金二千圓ヲ運送スルノ不便ナク單ニ二錢ノ郵便ヲ以テ甲乙及丙丁間ノ關係ヲ解クヲ得ヘキナリ既ニ此便利アリ

是則チ爲替手形ナルモノ、起ル所以ナリトス然レトモ右ノ書面ニシテ單ニ甲者ヨリ丙者ニ委頼スルニ過キサル通常ノモノヲランニハ只是甲者ノ希望ヲ顯ハシタルマテノコトニシテ未ダ以テ流通證書法ノ關係スル所ニアラサルナリ從テ法律ハ之ニ保護ヲ與フルコトナシト雖モ若シ其書面ニシテ支拂ヲ爲スヘシトノ差圖書タルニ於テハ即チ所謂爲替手形ナルカ故ニ流通證書法ノ支配スル所トナルヘキナリ其詳細ハ尙ホ這次講述スル所アルヘシ  
今爲替手形ノ極メテ簡短ナルモノ、雛形ヲ示サハ本邦ナルト歐米ナルトチ問ハス必ス長方形ノ紙片ニ左ノ如ク記載スルヲ通例トス

爲替手形

一金千圓也

此爲替手形御一覽ノ上ヘ乙殿若クハ其差圖人ニ前記ノ金額(一千圓)御支拂可被成候也

年月日

大坂 丙 殿

東京

甲

右ハ極メテ簡短ナル一例ニ過キスト雖モ兎ニ角ニ此片々タル一葉紙ヲハ在東京甲者ヨリ在大坂丙者ニ送ルトキハ現金千圓ノ代リチナスノ便利アルナリ只諸君ノ或ハ疑ヲ生スヘキヲ恐ル、ハ他ニアラス本邦ニ於テハ驛遞局ノ爲替ナルモノアリテ以上述ヘタル爲替手形ト甚タ混同シ易キコト是ナリ今前例ニ照ラシテ其所謂驛遞局ノ爲替ト通常ノ爲替手形ト異ナル所ヲ示サンニ即チ在東京ノ甲者ニシテ我政府遞信省ノ爲替券ニヨリ大坂ノ乙者ニ金千圓ヲ送ラント欲セハ先ツ郵便局ニ赴キ千圓ノ爲替ヲ請願セサルヘカラス然ルトキハ該局ハ一片ノ證書ヲ與フルニ依リ甲者ハ之ヲ在大坂ノ乙者ニ送り乙者ハ該地ノ郵便局ニ至リテ之ヲ正金ト交換スヘキモ一方ニ於テハ又東京郵便局長カ此證書ヲ振出し大坂ノ同局長ニ宛テ、千圓ノ支拂ヲ托スルモノニシテ而シテ大坂ノ郵便局長ト東京ノ同局長トハ共ニ遞信省ノ官吏ニシテ政府代理ノ資格ヲ有スルモノナレハ人民ヨリ之ヲ見ルトキハ同一ノ人カ甲者ヨリ金千圓ノ支拂ヲ受ケ更ニ大坂ニ至リ之ヲ拂フニ異ナラサルカ故ニ在大坂乙者ハ在東京甲者ノ代人トシテ之ヲ受取ルニ過キサルナリサレハ此證書ハ爲替手形ト云ハンヨリ寧ロ約束手形ト稱スルノ穩當ナル

ニ如カサルモノ、如シ然レトモ爰ニ約束手形ト云フモ諸君ハ其如何ナル性質ノモノナルカ之ヲ知ラサルヘキヲ以テ左ニ其性質ノ大要ヲ述ヘン

約束手形ハ其性質爲替手形ニ比スレハ大差異アリ則チ其差異アル點ハ爲替手形ニ於テハ振出人自己カ金員ヲ支拂フコトヲ約スルニアラス之ヲ第三者ヨリ拂ハシムルモノナリ反之約束手形ニ於テハ振出人自己ヨリ支拂フコトヲ約束スルモノナリトス例ヘハ甲者ハ乙者ヨリ一万圓ノ價格アル太物ヲ受取リタリトセハ甲者ハ一万圓ノ現金ヲ支拂ハサルヘカラサレトモ現金ヲ所持セサルカ若クハ前ニ述ヘタル如ク現金ノ計算ヲ煩勞ナリト思惟スルカ又ハ現金ヲ所持スルモ路遠隔ナルヲ以テ之ヲ運搬スルハ危険ナリト信スル場合ニ於テハ現金ヲ以テ支拂ハスシテ一片ノ證書ヲ送ルコトアリ而シテ其證書ニハ何月何日何所ニ於テ金一万圓ヲ支拂フヘキコトヲ約束スル旨ヲ記スヘシ尤モ單ニ此約束ノミニテハ未ダ以テ約束手形ノ効力ヲ有スルモノト云フヘカラス何トナレハ甲者ハ早晚乙者ノ所ニ來リ金員支拂ヲ受ケサルヘカラサレハナリ然ルニ約束手形ハ約束證書ト相異リ現金ト同一ノ性質ヲ有スル特性ナカルヘカラス人或ハ問ハン如何ナル方法

ニ依リ此手形ハ現金ト同シキ作用ヲ爲スヤト余ハ答ヘテ云ハトス此手形ハ其轉帳スルヤ實ニ自由ナルヲ以テ金錢ト同様ナル價格ヲ有スト今諸君ノ理解ヲ容易ナラシメン爲メ此手形ノ雛形ヲ示サントス其詳細ニ至テハ之ヲ後章ニ講述スヘシ

約束手形

金一万圓也

右ノ金額明治廿一年十二月三十一日貴殿又ハ貴殿ノ差圖人ニ無  
相違御支拂可中候也

年月日

乙 殿

甲

右ノ場合ニ於テハ甲者ヨリ乙者ニ對シテ支拂フヘキ約束證書ナリト雖モ乙者ハ之ヲ自己ノ差圖人丙者又ハ丁者ニ融通スルコトヲ得ヘシ又右ノ雛形ハ定期ノ約

東手形ナレトモ其無期限ノモノ無キコアラズ即チ我日本銀行ニ於テ發行スル兌換紙幣ノ如キ是ナリ故ニ直チニ之ヲ持參スレハ圓形ナル銀貨ト交換スルコトヲ得ヘキナリ

上來講述シタル爲替手形及約束手形ノ外尙ホ一ノ流通證書ト名クヘキモノアリ何ンヤ振出切手ト稱スルモノ即チ是ナリ此切手タル特ニ異ナリタル性質アルコアラズシテ又一種ノ爲替手形ニ過キサレトモ只其宛名人ニシテ金錢支拂ノ差圖ヲ受クル者ハ銀行者ニ限ルノ差異アルノミ然リト雖モ其對手間ノ權利義務ニ至テハ通常ノ爲替手形ト相異ナルモノアリ是各別ノ講義ヲ要スル所以ナリ今此切手ノ雛形ヲ示サンニ左ノ如シ

振出切手

一金百圓也

右ノ金額乙服若クハ此手形持參人へ御支拂可被成候也

年月日

甲

丙銀行御中

第二回

流通証書法ノ目的 (The object of the law of negotiable instruments)

法律ニ於テハ權利ヲ大別シテ二個トナス對世權及對人權是ナリ就中財產權ニ關シテ亦此二種ノ區別アリ即チ債權ノ如キハ對人權ニ屬シ反之所謂不動産上ノ權利ハ對世權ニ屬スルコトハ茲ニ喋々スルニ及ハサルヘシ倍此不動産ノ賣買ニ付テハ其賣買ノ目的物ハ何ナリヤト云ハ、人カ其不動産上ニ有スル權利即チ無形物ヲ授受スルニアリ而シテ其無形物ヲ讓受クルトキハ之ト共ニ有形物即チ不動産カ附着シ來ルモノトス故ニ此有形物ト無形物トチ分チ其有形物ノミヲ買取ルコトヲ得サルナリ以上ハ不動産ニ關シテ述ヘタルモノナリ然ルニ彼ノ對人權ノ一種ナル債權ノ如キモノヲ讓渡ス場合ト雖モ其目的物ハ亦權利即チ無形物ナリトス「斯ク論シ來レハ財產權ハ其對世權ト對人權トチ問ハス賣買ノ目的タルモノハ共ニ無形ノ權利ナルコトハ明瞭ナルヘシ然ラハ一方ノモノニシテ讓渡スコトヲ得ルニ於テハ他ノ一方ノモノヲモ亦賣買スルコトヲ得ルハ理論上明カナリト云フヘ

シサレトモ是近世ノ論ニシテ往昔人間ノ智識未タ進マサリシ時ハ斯ル思想ハ毫モ是無カリシナリ即チ往昔ニ於テハ買賣讓與ノ目的物タルモノハ必ス有形物ニ附着スル權利ナルヲ要シタリキ是即チ英國普通法ニ於テ訴訟産ハ之ヲ讓與スルコト能ハストノ原則アリタル所以ナリ (Chose in action can not be assigned)

然ルニ法律ノ思想漸々進歩シ來リ財産權中對世權及對人權ニ關シ其間ニ區別ナキコト明瞭トナリタルヲ以テ此訴訟産即チ債權ノ如キ無形ノ權利ト雖モ亦讓與スルコトヲ得ルニ至レリ而シテ余カ此講義ニ於テ講述スル處ノ流通證書モ今日ハ又一種ノ財産權ニシテ債權ト稱スル無形ノ權利ナリトス故ニ流通證書ト雖モ其一般ノ規定ニ付テハ通常ノ訴訟産即チ債權ト同一視セハ可ナリトス果シテ然ラハ何ヲ以テ特ニ流通證書法ヲ設クルノ必要アルカノ疑問起生スヘシ余ハ答ヘテ云ハントス抑モ通常債權ノ證書ハ如何ナル必要アリテ之ヲ作為スルヤト云フニ金錢ヲ貸與シタルニ付其權利義務ノ對手間ニ成立スル事實ヲ證明スル一ノ證據物タルニ過スシテ而シテ其證書ヲ賣買シ又ハ讓渡スコトハ決シテ主タル目的ニアラサルナリ然ルニ流通證書ナルモノハ勿論一方ニ於テハ債權ヲ證明スル證據物ナリ

ト雖モ其主タル目的ハ金錢ヲ融通スルコアリ又之ヲ融通スルニ付テハ單ニ二人ノ對手間ニ其證書ヲ置クヲ以テ足レリトスヘカラス之ヲ數多ノ對手間ニ轉シテ紙幣ノ如ク流通セシムルヲ要ス是則チ通常ノ證書ト流通證書ト區別アル第一點ナリト

以上講述シタルカ如ク通常ノ證書ニ於テハ其目的トスル處ハ之ヲ賣買スル點ニアラスト雖モ其讓與ヲ法律ニ於テ認許スル以上ハ苟モ其手續ヲ經ルトキハ又之ヲ數多ノ對手間ニ轉スルコトヲ得ヘキナリ然ラハ是亦融通ト云ハサルヘカラス從テ通常ノ證書ト流通證書トノ間ニハ區別スル點ナキカノ疑問チ起生スヘシ然レトモ通常證書ノ賣買ト流通證書ノ融通トハ其間大ニ區別アリトス既ニ此區別アリ是流通證書法規定ノ必要ナル所以ナリ尙ホ其詳細ノ區別ニ至テハ之ヲ後章ノ講義ニ譲リ茲ニ其簡短ナル區別ヲ述フヘシ

諸君ノ知ラル、如ク通常ノ證書ニ於テハ之ヲ交付シタル義務者ノ宛名アリ其對手人即チ債主タル權利者ニシテ其證書ヲ第三者ニ讓渡サントセハ先ツ其事柄ヲ義務者即チ負債主ニ通知スヘキハ是英國法ノ規定スル處ナリトノコトハ諸君ハ



財産法ニ於テ既ニ之ヲ知リシナラン然ルニ流通證書ニ於テハ其讓渡ニ付キ通知ヲ要セサルナリ又通常ノ證書ハ之ヲ第三者ニ交付スルモ其宛名ヲ變更セサル以上ハ債權移轉ノ効果ヲ生セサルモノナレトモ流通證書ハ概シテ單ニ其證書ヲ交付スル一事ニヨリ直ニ其所有權ヲ移轉スルヲ得ヘシ例ヘハ諸君カ日々使用セラレ、日本銀行ノ兌換紙幣ハ一ノ流通證書ナリ而シテ其通常ノ貸借證書ト區別アルコトハ諸君ハ知悉セラレ、ナラン其如何ナル點ニ區別アリヤハ後章ノ講義ヲ待テ明カナルヘシ

右ニ述ヘタル如ク流通證書ニ於テハ其證書ヲ數多ノ對手間ニ輾轉シテ之ヲ融通スルヲ以テ目的トナスカ故ニ其融通ノ方法自由ニシテ且容易ナルヲ要ス然レトモ一方ニ於テ其融通ヲ自由ニセント欲スレハ或ハ手續ニ欠點ヲ生シ詐欺其間ニ起リ又錯誤ノ恐尠少ナラサルヘシ故ニ流通證書法全体ノ規定ハ一方ニ於テハ證書面ノ金錢ノ仕拂ヲ確實ニスルヲ以テ目的トナシ又他ノ一方ニ於テハ其證書ノ移轉ヲ圓滑自由ナラシメンコトヲ以テ目的ト爲サハルヘカラス換言セハ此法律ハ互ニ其性質ヲ異ニスル二個ノ目的ヲ以テ規定シタルモノト云ハサルヘカラス

ナリ何トナレハ一方ニ於テ證書ノ流通ヲシテ圓滑自由ナラシメントスレハ從テ手續ヲ省略シカメテ簡短ナラシムルヲ要シ又一方ニ於テ金錢ノ仕拂ヲ確實ナラシメンニハ手續ヲ嚴正ニ爲シ之ヲ鄭重ニナサハルヘカラスレハナリ斯ノ如ク二個ノ相反對シタル目的ヲ眼中ニ確認シ其間ヲ調和シテ制定シタルモノハ即チ流通證書法ナリ

以上講述シタルカ如ク二個ノ目的ヲ遵守スヘキハ是法理上ヨリ論下シタルナリ而シテ流通證書法ナルモノハ素ト法理ニヨリテ發達シタルモノヲ取り人民ニ遵奉セシメタルニアラス商業社會ニ於テ數百年來習慣ニ習慣ヲ積ミ漸ク發達シタルモノヲ集拾シ近年ニ至リテ之ヲ法典トナシタルモノナリ然ルニ諸君ノ知ラル、如ク法理ト習慣トハ一轍ニ出テサルコト尠少ナラサルカ故ニ此法律モ亦往々法理上疑フヘキ點多シトス從テ現行法律ヲ講述スルニ付テハ徹頭徹尾法理ニ協フタルモノト云フヲ得ス然レトモ前ニ述ヘタル二個ノ目的ハ此法律規定ノ目的トナルヘキコトハ又爭フヘカラス

終ニ臨ミ英國流通證書法ノ主義ヲ明カニスルニ足ルモノアリ參考ノ爲メ左ニ其

概略ヲ講述セントス

抑モ流通證書法ノ規定ニ關シテ二個ノ主義アリ各國ノ法律必ス其一ヲ採レリ學者之ヲ分テ一ヲ佛國學派ト稱シ一ヲ英國學派ト稱セリ其佛國學派ノ取ル處ハ爲替主義 (Mercantile Theory) ニシテ英國學派ノ取ル處ハ融通主義 (Currency Theory) ナリトス英國學派ノ主義ハ英米ノ兩國及英國ノ屬地ニ行ハレ佛國學派ノ主義ハ殆ト歐洲過半ノ國ニ行ハル獨リ獨乙法ハ近代ニ至リ稍々異ナル點ヲ現出セリ今其爲替主義トハ如何ナルモノナリヤト云フニ我邦ノ所謂爲替是ナリ即チ一ノ場所ヨリ遠隔ナル場處ニ金錢ヲ送致スルヲ以テ目的トスル所ノ主義ニシテ反之融通主義ナルモノハ場所ノ如何ヲ問ハス流通證書ヲ以テ紙幣又ハ貨幣ノ代用物トナシ經濟社會ノ融通ヲ補助スルヲ以テ目的トス斯ノ如ク一ハ金錢ヲ送致スルコトヲ目的トシ一ハ信用ヲ以テ經濟社會ノ融通ヲ助クルヲ目的トナスノ點ニ於テ其差異アルカ故ニ法律ノ規定ニ至テモ英佛大ニ相異ナル所アリ今其差異アル一端ヲ述ヘンニ佛國ニ於テハ同場所ノモノニ對シテ爲替手形ヲ發スルヲ得ス例ヘハ余カ神田ニ住居スル場合ニハ同區内ニ在ル友人ニ對シテ爲替手形ヲ振出スヲ得ス

必ス土地ノ遠隔ナルヲ要ス然ルニ英國ニ於テハ敢テ場所ノ遠近ヲ問ハス加之融通ニ重キヲ置クカ故ニ極メテ書式ヲ省畧スルコトヲ許シ毫モ其如何ヲ問ハサルナリ反之佛國法律ニ於テハ書式大ニ煩ハシトス今其一端ヲ舉ケレハ金錢ノ拂込方ヲ記載セサルヘカラサルカ如キ是ナリ金錢ノ拂込方トハ振出人カ金錢ヲ受取リタリト云フコトヲ記載スルヲ云フ換言セハ爲替手形ヲ振出シタルハ約報アリテ之ヲ振出シタリト記載スルヲ云フ然ルニ英國法律ニ於テハ斯ノ如キ記載ハ其有無如何ヲ論セサルナリ尙ホ詳細ノ區別ハ後章ニ讓ル以上述ヘタル如ク英佛二國ノ流通證書法ハ其主義ニ於テ斯ル區別アリ而シテ余カ講述スル所ノ英國法律ノ主義ハ融通主義ナレハ此點ハ諸君ニ於テ記憶アラフコトヲ乞フ

流通証書法ノ沿革 (The history of the law of negotiable instruments)

歐洲大陸ニ於テ流通證書法チ一ノ法典トシテ發布シタルハ佛國ヲ以テ嚆矢トス則チ一千六百七十三年ノ勅令ヲ以テ始メテ爲替手形ニ關スル法律ヲ頒布セリ然ルニ其法律タル頗ル簡短ナリシカ故ニ之ヲ増補シ千八百十八年佛國商法ノ一部

ニ編入セリ而シテ大陸諸國ノ法律ハ殆ト皆ナ佛國千八百十八年ノ法律ニ摸倣シテ之ヲ編纂シタルモノナリ即チ千八百七十三年白耳義ノ法律千八百三十年西班牙ノ法律千八百三十三年葡萄牙ノ法律其他近代ニ於ケル埃及土耳其及希臘ノ諸國ノ法律ノ如キ皆佛國ノ法律ヲ基トシテ編纂シタルモノナリ又佛國法律ハ何人ノ説ニ依據シタリヤト云フニ彼ノ有名ナルポチエー(Pothier)氏ノ説ニ本ツキタルヤ疑ナシ即チ氏ノ説ハ佛國爲替手形法ノ淵源ナリトス然ルニ大陸ニ於テ稍々其規定ヲ異ニシテ近來著名ナルモノハ日耳曼ノ流通證書法ナリ此法律タルヤ實ニ一千八百四十九年ニ頒布セラレタルモノニシテ日耳曼聯邦ノ時代ヨリ行ハレタルモノナリ又以太利ニ於テハ千八百八十三年即チ今チ距ル六年前迄ハ佛國法律ニ依リテ編纂シタルモノヲ施行シ來リシカ同年ニ於テ新ニ獨逸ノ流通證書ニ倣ヒ新法律ヲ頒布セリ是則チ現行以太利流通證書法ナリトス

以上ハ近世ニ至ル迄ノ歐洲大陸流通證書法ノ沿革ノ概畧ナリ而シテ前項ニ述ヘタルカ如ク佛國派ノ法律ハ爲替主義ナルカ故ニ英國法律ト同一ニアラスト雖モ以前ノ英國判決例ニ於テハ佛國法ヲ引用シテ判決ノ理由トナシタルコト多カリ

シテ以テ英國ノ流通證書法ヲ學フニ當リ又佛國法律ヲ參考スルトキハ其利益ヲ得ルヤ大ナリ其他日耳曼ノ流通證書法モ又參考ニ供シテ可ナリ蓋諸君ノ知ラル、如ク日耳曼近時ノ法典編纂ハ周到綿密ニシテ其完備セルコトハ學者間ニ噴々タル良評アレハナリ

### 第三回

前回ニ於テハ歐洲大陸諸國ノ流通證書法ニ關スル沿革ヲ述ヘタルカ未ダ英國ニ於ケル此法律ノ沿革ヲ講述セサルヲ以テ是ヨリ一言セントス

前回ノ講義ニ於テ大陸諸國ニ於ケル流通證書法カ一ノ法典トナリテ現出シタル由來ノ概畧ヲ述ヘタルカ更ニ溯テ往昔何レノ時代何レノ場處ニ於テ此法律ハ始メテ施行セラレタルヤヲ探究センニ之ニ關シテハ學者間ニ異論紛々タリ或ハ曰ク羅馬時代ニ之ヲ使用シタル者アリト或ハ曰ク下テ中世ノ頃歐洲各國ニ於テ商業ノ權就中金錢貸借ニ關スル事業ハ殆ント猶太人ノ手ニ落チタリ然ルニ是等ノ人種タルヤ各國至ル處ニ虐待セラレタルカ故ニ縱令金錢貸借及商業ニ關スル事業ハ專ラ之ヲ經營スルコトヲ得タリト雖モ安全ニ甲國ヨリ乙國ニ現金ヲ送致ス

ルコトヲ得サリシカ故ニ現金送致ノ危険ヲ避ケンガ爲メニ手形ヲ用ユルニ至レリ是手形ノ濫觴ナリト此說恐ラクハ信ナラン歟然レトモ歴史上其形跡判然タルモノハ則チ第十四世紀ノ頃以太利國ニ於ケル著名ナル都府フロレンスニ於テ商業旺盛ナルニ當リ始メテ手形ヲ使用シタル事實ナリトス蓋其當時以太利ハ他國ト異ナリ羅馬ノ後ヲ受ケ大ニ開明ヲ致シ遂ニ其手形ハ此國ヨリ佛國ニ傳ハリ佛人之ヲ使用シ更ニ佛國ヨリ英國ニ傳ハリタルハ疑フヘカラサル事實ナリ去レトモ英國ニ於テ流通證書ニ關スル判決例ヲ見ルニ至リタルハ第十七世紀ヲ以テ始メトス則チ紀元千六百三年ニ至リ流通證書ハ始メテ裁判所ニ於テ原被兩造ノ爭訟スル所トナレリ爾來英國ノ商業次第ニ隆盛ナルニ從ヒ此證書ノ流通使用益々頻繁ナルニ至リ其極商業上ニ於テ一ノ習慣ヲ發生シ其習慣ニ習慣ヲ積ミ相集リテ現出シタルモノ即チ流通證書法ナリ然レトモ他ノ法律ト一般此流通證書ニ關スル法律ノ規定ト雖モ近年ニ至ル迄英國ニ於テハ一ノ完備シタル法典ナカリシカ千八百八十二年即チ今ヲ去ル七年以前始メテ法典トナリテ頒布セラレ、ニ至レリ是則チ英國現行ノ爲替手形條例ナリ余ハ此講義ニ於テ專ラ此現行條例ニ依テ講述

セントス

### 第一章 手形ノ法式 (Form of bill)

#### 第一項 手續ノ定義 (Definition of a bill)

凡ソ何レノ法律ナルヲ問ハス先ツ其法律ニ於ケル主タルモノ、義解ヲ下サ、レハ自餘ノ事柄ヲ了解スルコトハ蓋容易ナラサルノ業ナリ故ニ其了解ヲ容易ナラシメシムルハ第一ニ目的物ノ定義ヲ明カニスルヲ以テ必要トス依テ余ハ先ツ英國流通證書法ニ所謂手形ノ何タルヤヲ講述セントス之ニ先チ一言スヘキコトアリ則チ手形ハ英語「ビル」(Bill)ヲ譯シタルモノナリ然ルニ既ニ第一回ノ講義ニ於テ述ヘタルカ如ク手形ニハ爲替手形 (Bill of Exchange) 約束手形 (Promissory Note) 及振出切手 (Cheque) ノ三種アルカ故ニ今後ノ講義ニ於テ單ニ手形ト云フトキハ此三種ヲ合蓄スルモノト知ルヘシ而シテ若シ之ヲ各別ニ論スルノ必要アル場合ニハ必ズ一々爲替手形又ハ約束手形ト特示スヘシ

(第二)爲替手形ノ定義ハ英國現行爲替手形條例第三條第一項ニ之ヲ掲ケリ曰ク爲替手形トハ振出人ヨリ支拂人ニ宛テ請求次第又ハ確定シタル期限若クハ確定ス

ルコトヲ得ヘキ將來ノ期限ニ於テ一定ノ金額ヲ特示シタル人又ハ其指圖人若クハ持參人へ支拂フヘシトノ記名証券ニ於ケル條件ナキ指圖ヲ云フト

(第二約束手形ハ條例第八十五條第一項ニ其定義ヲ記載シタリ曰ク約束手形トハ仕立人ニ於テ請求次第又ハ確定シタル期限若クハ確定スルコトヲ得ヘキ將來ノ期限ニ於テ一定ノ金額ヲ特示シタル人又ハ其指圖人若クハ持參人へ支拂フヘシトノ記名証券ニ於ケル條件ナキ約束ヲ稱スト

(第三振出切手ノ定義ハ條例第七十三條ニアリ曰ク振出切手トハ銀行へ宛テ振出サレタル爲替手形ニシテ請求次第支拂フヘキモノヲ稱スト

以上三個ノ手形ニ關スル定義ヲ下シタレトモ是ノミヲ以テ諸君ハ其何タルヤヲ解明スルヲ得サルヘシ依テ今ヨリ之ヲ解釋セントス爾來一學年ノ間ノ講義ハ必竟右ノ三者ニ關スル規定ヲ講述スルニ過キサルナリ

先ツ爲替手形ノ定義ニ付キ解釋センニ此定義ヲ分析スルトキハ左ノ如キ數個ノ疑問ヲ生スヘシ

第一爲替手形ハ一ノ記名証券ナル以上ハ一定ノ書式ヲ必要トナヤ否

第二爲替手形ニ於ケル對手即チ振出人、支拂人及指圖ヲ受クル者ト稱スルモノハ如何ナル人カ斯ル對手ト爲ルコトヲ得ルヤ又何人ヲ問ハス斯ル對手ト爲ルコトヲ得ルヤ

第三此手形ニ於テハ一定金額ヲ支拂フコトヲ要スレトモ金錢ニアラサル他ノ物件ハ之ヲ含蓄セサルヤ否

第四此手形ニ於テハ條件ナキ記名証券ナルヲ要スト雖モ何故ニ有條件ノモノニテハ不可ナリヤ

本章ニ於テハ是等ノ疑問ニ關シ其概畧ヲ解説シ以下ノ章ニ於テ各規定ニ付キ其詳細ヲ講述セントス尙ホ此定義ニ關シテ一言スヘキハ方式ノコトナリトス我國ノ爲替手形條例ニ於テハ法律ヲ以テ手形ノ方式ヲ一定セリ又歐洲大陸諸國ノ法律ニ於テモ同シク之ヲ一定スル所アリ然ルニ之ニ反シテ英國法律ニ在テハ苟クモ前ニ掲ケタル定義ニ違ハサル以上ハ則チ該定義ニ記スル要素ヲ具備スル以上ハ毫モ其書式ノ如何ヲ問ハサルナリ又其手形ニ認ムル文字ハ必スシモ英語ヲ以テスルヲ要セス日本語又ハ佛國語ヲ以テスルモ可ナリトス是ヨリ少シク詳細ニ

第二項 手形ノ對手 (Parties of a bill)

余ハ第一回ノ講義ニ於テ諸君ニ示スニ手形ノ雛形ヲ以テセリ其雛形ヲ一見スレハ明カナルカ如ク手形ニ於テハ第一ニ手形ヲ作爲スル人即チ振出人アルヲ要ス若シ此者無クシハ手形ハ成立セサルナリ而シテ振出人ハ英語ニ之ヲ「ドローア」(Drawer)ト云フ又振出人ニ於テ手形ヲ振出シ之ヲ交付スル處ノ人ナカルヘカラス之ヲ受取人(Payee)ト云フ然ルニ通常ノ契約ト異ナリ爲替手形ニ在テハ此他金錢ヲ支拂フ人ナカルヘカラス之ヲ名ツケテ支拂人(Drawee)ト云フ則チ爲替手形ハ通常三個ノ對手アルヲ要スルナリ

振出切手ハ亦一種ノ爲替手形ナルカ故ニ一般ニ三人ノ對手アルヲ要ス然レトモ約束手形ニ至テハ其對手ノ數ハ右二個ノ手形ト差異アリトス何トナレハ第一回ノ講義ニ於ケル雛形ヲ一見スレハ明カナルカ如ク約束手形ニ於テハ振出人即チ仕立人ハ第三者タル他人ニ依托スルニ金錢ノ仕拂ヲ以テスルニアラス振出人自ラ之ヲ支拂フコトヲ約束スルモノナレハナリ而シテ一方ニ於テハ其手形ノ支拂

ヲ受クル者アリ則チ約束手形ハ爲替手形ト異ナリ振出人及支拂ヲ受クル者ナル二人ノ對手アルヲ以テ足レリトシ敢テ三人ノ對手ヲ要セサルナリ又約束手形仕立人ハ英語ニ之ヲ(Maker)ト云フ

第四回

前回ニ於テハ爲替手形ノ對手ハ通常三人アルヲ要シ約束ノ手形ノ對手ハ二人アルヲ要スルコトヲ講述セリ然ルニ約束手形ニ於ケル二人ノ對手ハ之ヲ減シテ一人トナスコトヲ得サレトモ爲替手形ニ於ケル三人ノ對手ハ之ヲ減シテ二人トナスコトヲ得ヘシ即チ手形ヲ振出シタル者カ一方ニ於テハ振出人トナリ又一方ニ於テハ自ラ受取人ノ位置ニ立ツ場合はナリ換言スレハ此場合ニ於テハ一人ニシテ振出人及受取人ノ資格ヲ併有スルモノナリ然レトモ支拂人ト振出人トハ到底同一ノ人ナルコトヲ得ス必ス別個ノ人ナルヲ要ス何トナレハ若シ支拂人及振出人ニシテ同一ノ人ナルトキハ其手形ハ爲替手形ニアラスシテ約束手形トナルニ至ルヘケレハナリ去レトモ此場合ニ關シテ注意セサルヘカラサルコトアリ即チ振出人自身カ受取人ナル場合ニ於テハ手形ニ裏書シテ之ヲ其指圖人ニ交付スル

カ又ハ持參人拂ノ手形ナレハ裏書ナク之ヲ持參人ニ交付シテ以テ手形ノ占有ヲ  
 移轉スルニアラサレハ手形タル効力ヲ生セサルモノトス何トナレハ自ラ手形ヲ  
 作爲シ自ラ其受取人トナルモ其手裡ニ手形ヲ握有スルトキハ世上ニ流通ノ効用  
 ナ爲サスシテ又一葉ノ反古ニ過キサルモノトナルニ至レハナリ  
 或場合ニ於テハ支拂人及受取人カ同一人ナルコトアリ即チ是亦手形ノ對手ハ二  
 人ニ減セラレタルモノト云フヘシ然レトモ此場合ニ於テハ唯人カ同一ナルノミ  
 ニシテ其資格ニ至テハ支拂人タル資格ト受取人タル資格ト劃然相異ナラサルヘ  
 カラサルナリ是注意ヲ要スヘキ點ナリトス若シ資格ニシテ同一ナリトセンカ支  
 拂人ハ其右手ヨリ金錢ヲ支拂ヒ之ヲ左手ニ領収スルノ奇觀ヲ見ルニ至ランノミ  
 例ヘハ茲ニ丙者アリ米穀販賣ノ營業ヲ爲シ又乙者ノ代理人トナリテ銀行ノ番頭  
 ナル職務ニ従事スルトセンニ此場合ニ於テ甲者ハ米屋ナル資格ヲ有スル丙者ヲ  
 支拂人ト爲シ以テ手形ヲ振出シ其受取人ハ銀行ノ番頭タル資格ニ於ケル丙者ナ  
 ルトキハ丙者ナル同一人カ支拂人トナリ亦受取人トナリ居レリ然レトモ米屋ト  
 銀行ノ番頭トハ其資格ヲ異ニスルカ故ニ爲替手形法ニ於テ之ヲ許スモノトス從

テ丙者ハ受取人ナル銀行番頭ノ資格ヲ以テ甲者ヨリ手形ヲ受取リ又其資格ヲ以  
 テ之ニ裏書シテ丁又ハ戊ニ之ヲ移轉スルコトヲ得ヘシ而シテ其手形カ丁又ハ戊  
 ノ所有ニ歸シタルトキハ丙者ニ對シテ引受ヲ請求スルコトヲ得引受ニ關スル詳  
 細ノコトハ後章ニ讓ル丙者ハ其米屋營業者ナル資格ヲ以テ引受ヲ爲スモノトス  
 故ニ相異ナル所ノ二個ノ資格ヲ有スルトキハ同時ニ支拂人トナリ又受取人トナ  
 ルコトヲ得ヘシ即チ現行爲替手形條例第五條第一節ニ曰ク爲替手形ハ振出人若  
 シハ其指圖人又ハ支拂人若クハ其指圖人ニ支拂フヘキカ如ク振出スコトヲ得ヘ  
 シト是上來講述シタル二個ノ場合ヲ規定シタルモノナリ  
 又同條第二節ニ曰ク若シ振出人及支拂人カ同一人ナルカ又ハ振出人ハ假設人  
 ナルカ若クハ結約能力ヲ有セサル者ナルトキハ其手形所持人ハ之ヲ爲替手形ト  
 爲シ又ハ約束手形ト爲シテ取扱フコトヲ得ヘシト今ヨリ左ニ之ヲ説明スヘシ  
 振出人及支拂人カ同一人ナル場合即チ甲者手形ヲ作爲シテ其振出人トナリ又  
 同時ニ支拂人トナルトキハ前ニ述ヘタルカ如ク自ラ手形ヲ作爲シテ自ラ金錢ヲ支  
 拂フコトヲ約束スルモノナルカ故ニ縱令其證書ノ方式ハ爲替手形ナリト雖モ其

實ニ至テハ毫モ約束手形ト異ナル所アルヲ見ス從テ斯ノ如キ場合ニ於テハ之ヲ爲替手形トスルモ又ハ約束手形トシテ取扱フモ一ニ手形所持人ノ擇フ所ニアリ又振出人カ假設人 (Fictitious Person) タル場合アリ即チ世上ニ存在セサル人ノ姓名ヲ構造シ之ヲ支拂人トナストキハ手形所持人ハ之ヲ約束手形トスルモ又ハ爲替手形トシテ取扱フモ其望ム所ノ儘ナリ是必竟手形ハ一ノ證書ニ過キサルカ故ニ書類ハ成ルヘク之ヲ有効ニ解釋セサルヘカラスト云フ解釋法ノ原則ヲ適用シタルモノナリ而シテ手形所持人ニ於テ果シテ其支拂人カ假設人ナルヤ否ヤノ事實ヲ知り得ヘキ場合アリ又之ヲ知ラサル場合アリ若シ其事實ヲ知ラハ之ヲ約束手形トシテ取扱フヘク又事實ヲ知ラサルトキハ其書式カ爲替手形ナルヲ以テ之ヲ爲替手形トシテ取扱フヘシ故ニ此場合ニハ振出人ニ於テハ存在セサル人ノ姓名ヲ記載シタル過失アルヲ以テ其利益ヲ圖ラズシテ手形所持人即チ權利者ノ權利ヲ保護シ其利益ヲ圖ランカ爲メ右ニ述ヘタル如キ選擇ノ權利ヲ附與シタルナリ又振出人ニシテ結約ノ能力ヲ欠ク場合ハ到底假設人ヲ設ケタルト一般ニシテ契約ヲ締結スルノ能力ヲ有セサルモノナレハ別ニ説明ノ勞ヲ取ラサルモ明々白々

ノコトナルヘシ

以上ノ講義ニ於テ屢々所持人 (Holder) ナル言詞ヲ掲ケタリ今其解釋ヲ爲サンニ現行爲替手形條例第二條ニ曰ク所持人トハ手形ヲ占有スル受取人 (Payee) 又ハ讓受人 (Indorsee) 若シハ其持參人 (Bearer) ヲ稱スト即チ所持人トハ畢竟手形上ニ占有權ヲ有スル人ヲ云フニ過キサルナリ然ラハ手形ニ付テ占有權ヲ有スル者ハ何人ナリヤト云フニ即チ持參人讓受人及ヒ受取人ナル三種ノ人ナリトス又持參人ト所持人トハ頗ル相類似スル名稱ナリト雖モ其間ニ區別ナキ能ハス條例第二條ノ解釋ニ曰ク持參人トハ持參人ニ支拂フヘキ爲替手形又ハ約束手形ヲ占有スル者ヲ稱スト蓋此解釋タル少シシ不穩當ノモノナレトモ一應ハ持參人ノ何タルヤヲ知ルヲ得ヘシ而シテ第一回ノ講義ニ於テ爲替手形並ニ約束手形ノ雛形ヲ掲ケタルトキ受取人ノ姓名ヲ記載スヘキ場所ニ某殿又ハ其指圖人若クハ持參人ト記載セリ斯ノ如ク受取人ヲ記載スル手形ヲ稱シテ持參人拂ノ手形ト云フ前ニ述ヘタル條例ノ解釋ニ從ヘハ此持參人ノ手形ヲ有スルモノハ即チ持參人ナリト云フニアリ即チ手形ノ占有權ヲ有スル者ナルヤ疑ナシトス又持參人ト所持人ト相異ナル所



ノ他ノ點ハ持參人ハ手形ノ裏書ヲ要セスシテ其所有權ヲ獲得スルモノナリ換言  
 スレハ單ニ手形ノ引渡ニヨリ其所有權ヲ移轉スルヲ得ルモノトス尙ホ權利義務  
 ニ關スル詳細ノ區別ハ後章ノ講義ニ於テ詳論ス可シ之ヲ要スルニ持參人ハ所持  
 人ノ一種ナルコトハ茲ニ記憶セサルヘカラサル必要ノ點ナリトス  
 現行爲替手形條例第二條ニ曰ク支拂人ノ姓名ハ必ス券面ニ記入セラル、ヲ要ス  
 然ラサレハ確カニ之ヲ辨知スルニ足ル可キ事柄ヲ券面ニ記入セサル可カラスト  
 即チ第二回ノ講義ニ於テ述ヘタルカ如ク英國爲替手形法ハ大陸ノ手形法カ書式  
 ニ拘泥スルニ似スシテ其點ニ付テハ實ニ自由ナリトス故ニ券面ニ記載スルニ支  
 拂人ノ姓名ヲ以テスルコトヲ必要トナセトモ必スシモ其姓名ナラサルヘカラス  
 ト云フニアラス法律ノ精神トスル所ハ單ニ其人カ他人ニ知ラレ得ヘキヲ以テ足  
 レリトスルコアリ從テ他人ニ知ラレ得ヘキ記載アレハ可ナリトス故ニ或場合ニ  
 於テハ支拂人ノ屋號又ハ其綽名ヲ記載スルノミヲ以テ足レリトスルコトアリ加  
 之唯其住居スル所ノ町又ハ村ノ番地ヲ書スルノミニテ可ナル場合ナキニアラス  
 之ヲ要スルニ支拂人ハ何人ナリヤヲ知リ得ル程度ノ記載ナカルヘカラス例ヘハ

以前横濱ニ於テ有名ナル糸平ト呼ハレタル豪商アリシカ其實名ハ糸平ニアラサ  
 レトモ之ヲ以テ世上ニ通稱セラル、カ故ニ若シ手形ヲ振出ストキハ仕拂人糸平  
 ト記載スレハ可ナリ又例ヘハ錦町二丁目二番地ト記載セラル、ノミニシテ仕拂  
 人ノ姓名ヲ顯ハサ、ル場合ニ於テ該番地ニ住居スル者單ニ一家族ニ過キサルト  
 キハ之ヲ以テ仕拂人ノ誰ナルヤヲ知リ得ヘキカ故ニ右ノ記載ハ有効ナリトス之  
 ニ反シテ余ノ住居スル牛込矢來町三番地ノ如キ其戸數三百軒ニ過ル所ニ在テ  
 ハ唯町名番地ノミヲ認ムルモ三百名ノ戸主ノ中果シテ何人ヲ指スマ實ニ漠然ト  
 シテ知リ得ヘカラサルカ故ニ斯ノ如キ記載ハ無効ナリ  
 凡シ仕拂人ノ組合員タルト否トヲ論セス二人以上ニ對シテ手形ヲ振出スコトヲ  
 得ヘシ然レトモ支拂人ノ一人ハ代ル交ル又ハ其三人以上ノ者順次ニ其手形ヲ仕  
 拂フヘシト云フ差圖アルトキハ爲替手形ノ効チ有セス是條例第六條第二項ノ規  
 定スル所ナリ余カ上來講述シタルハ支拂人チ一人ト見做ス場合ナレトモ若シ二  
 人以上ノ支拂人ヲ記載シタルトキハ有効ナリヤ否ヤト云フニ英國法律ニ於テハ  
 之チ有効トスル場合アリ又之チ無効トナス場合アリ即チ支拂人カ連帶義務ヲ負

擔シテ手形ノ所持人ナル權利者ハ何レノ支拂人ニ對シ支拂ヲ請求スルモ一ニ其隨  
 意ナル場合ハ是有効ノ場合ナリ之ニ反シテ四名ノ支拂人甲乙丙丁ヲ券面ニ記載  
 シ甲者ニ於テ支拂ハサレハ乙者ニ請求スヘク又乙者ニ於テ支拂ハサレハ丙者ニ  
 請求スヘク丙者又支拂ハサルトキハ丁者ニ請求スヘシト指圖スル場合ニハ其手  
 形ハ無効ナリトス然ラハ何故ニ一方ハ有効トシ一方ハ無効トナスヤト云フニ爲  
 替手形ノ定義ヲ一讀シテ明カナルカ如ク此手形ハ條件ナキ指圖ナルヲ要スルヲ  
 以テ右ノ場合ニ在テ支拂期日ニ至リ甲者ナル支拂人ニ對シテ請求シタルニ之ヲ  
 拒絕セラレタルトキハ乙者ニ向ヒ更ニ之ヲ請求セサルヘカラス是一個ノ條件ト  
 見做サ、ルヘカラサルナリ從テ右ノ定義ト抵觸スルヤ明カナリト云フヘシ則チ  
 之ヲ無効トナス所以ナリ以上ハ一般ニ通スル原則ナリト雖モ茲ニ一ノ例外アリ  
 應急支拂人 (Case of Need) ノ場合はナリ即チ條例第十三條ニ曰ク振出人又ハ裏書  
 人ハ支拂人ニ於テ手形ヲ引受ケサルカ又ハ支拂ハサルトキニ當リ受取人カ之ニ  
 付テ擔當ヲ要求スヘキ所ノ人ノ姓名ヲ記入スルコトヲ得ト又其第二項ニ曰ク此  
 記入セラレタルモノヲ名ケテ應急支拂人ト云フ然レトモ所持人ノ應急支拂人ニ

對シテ支拂ヲ請求スルト否トハ其擇フ所ニ任スト抑此場合タルヤ一人ノ支拂人  
 ナ定メ若シ其者ニ於テ仕拂ハサルトキハ應急支拂人ニ請求スヘシト云フニアレ  
 ハ單ニ丙又ハ丁ナル支拂人ヨリ支拂ヲ請求スヘシト云フニ比セハ其趣ヲ異ニス  
 ル頗ル大ナリ即チ此場合ニ於テハ支拂人カ手形ヲ支拂ハサルトキハ拒絕證書ヲ  
 作爲シ應急支拂人ニ至リ支拂ヲ請求ス苟クモ斯ノ如キ手續ヲ經ル以上ハ支拂人  
 二名ニ過クコトアルモ有効ナリトス然レトモ斯ノ如キ例外ノ存スルハ全ク商業  
 上ノ習慣ヨリ生ジタルモノニシテ縱令此手續ヲ經ルモ又單ニ丙又ハ丁ヲ以テ支  
 拂人トナス場合ト雖モ其條件ヲ成スニ至テハ二者ノ間毫モ區別ナシ故ニ爲替手  
 形法ノ精神ヨリ論究セハ應急支拂人ノ場合モ亦認ムヘカラスモノト云ハサル  
 ナ得ス唯商業上ノ習慣之ヲ設定スルニ至レリ拒絕證書 (Protest) ノ詳細ハ後回ノ講  
 義ヲ待テ明カナルヘシ

條例第七條第三項ニ曰ク若シ受取人假設人ナルトキハ持參人ニ支拂フヘキ手形  
 トシテ之ヲ取扱フコトヲ得ヘシト是即チ受取人カ存在セサル場合ナルカ故ニ方  
 式上之ヲ嚴正ニ解釋スルトキハ無効ト爲サ、ルヘカラサル手形ナリトス然レト

モ前ニ述ヘタルカ如ク書類ハ成ルヘク有効ニ解釋セサルヘカラサルヲ以テ所持人ノ權利ヲ保護シ之ヲ爲替手形トスルモ又ハ約束手形トシテ取扱フモノニ其擇フ所ニ任ス而シテ爲替手形トシテ取扱フトキハ持參人拂ノモノト見做スコトヲ得ルカ故ニ前ニ述ヘタル解釋ヨリハ一步ヲ進メタルモノトナサ、ルヘカラス蓋其趣旨タルヤ所持人ヲ保護スルニアリ

爲替手形ナルモノハ流通ヲ主トナスモノナルヲ以テ通常ノ約束證書ト異ナリ自由ニ所有權ヲ移轉シ得ヘキモノナラサルヘカラス即チ通常ノ證書ヨリ其性質ヲ異ナラジメ流通ノ性質ヲ帶ハシメシハ之ニ必要ナル所ノ異ナリタル方式ナカ、ルヘカラサルナリ其方式トハ何ソヤ第一回ノ講義ニ於ケル雛形ニ示シタルカ如ク受取人又ハ其差圖人ト記載スルコト是ナリ又受取人若クハ持參人ト認メ或ハ單ニ持參人ト記載スルモ可ナリトス此三種ノ文字アルニ於テハ之ニ依テ其證書ハ爲替手形ナリト解釋ス換言セハ是即チ爲替手形ノ徵憑ナリ之ニ反シテ斯ノ如キ記載ナク單ニ某殿ニ仕拂フヘシト認ムル場合則チ唯支拂人ノ姓名ノミヲ認メタルトキハ是通常ノ證書ト毫モ異ナル所アルヲ見ス之ヲ作爲シタル者ニ於テ其

證書ヲ流通セシムルノ意思アリシヤ否ヤ更ニ認定シ得ヘキ點ナキカ故ニ他ノ方式ノ如何ニ拘ハラヌシテ之ヲ通常ノ證書ト見做スルモノナリ勿論此場合ニハ爲替手形トシテ有効ナラサレトモ決シテ無効ノ証書ニアラス即チ普通ノ証書トシテハ充分ノ効力アリトス而シテ我邦ニ於ケル銀行ノ振出切手ハ英國法ノ所謂爲替手形ナルコトハ諸君ノ記憶セラルヘキ必要ノ點ナリ

受取人カ假設人ナル場合ニ關スル規定ハ前ニ講述シタルカ如シ然ルニ持參人カ受取人ナル場合ニ於テハ其人ハ現ニ生存スル者ナルヲ要ス若シ其人ニシテ死亡シ又ハ生存セサル者ナルトキハ其手形ハ無効ナリ何トナレハ爲替手形ハ亦一種ノ契約ニ過キス從テ對手カ存在セサレハ契約ハ成立セサルヲ以テナリ是契約法ノ原則ナリトス之ニ反シテ裏書ヲ以テ讓渡ス場合ニ於テハ所持人ハ右ノ如キ手形ヲ約束手形又ハ爲替手形トシテ取扱フコトヲ得ヘシ又持參人拂ノ手形ヲ振出スニ當リ振出人ハ受取人ノ死亡シタルコトヲ知ラサリシトキハ其死者ノ管財人ハ死者ニ代テ受取人トナルコトヲ得以上二個ノ場合ハ共ニ例外ニ屬スルモノニシテ殊ニ第二ノ場合ノ如キハ習慣上ヨリ發生シタルモノナリ

對手ニ關スル法規大略左ノ如シ是ヨリ指圖ニ付テ講述セントス

第三項 指圖 (Order) (條例第三條第一項及第三項)

現行爲替手形條例第三條第一項ハ先回ニ於テ講述シタルカ如ク爲替手形ノ定義ヲ掲ケタリ其定義ニ依レハ此手形ハ條件ナキ指圖ナルヲ要ス故ニ振出人ヨリ支拂人ニ對シテ指圖ヲ爲スニ當リ之ニ條件ヲ附着シムルコトヲ得ス無條件ノ金錢支拂ヲ指圖スルモノナラサルヘカラス例ヘハ若シ英國ヨリノルマントン號到着セハ金百圓ヲ支拂フヘシ或ハ余カ死亡セハ支拂フヘシト云フカ如キハ有條件ナルヲ以テ無効ナリ

又指圖ハ一定ノ金額ヲ仕拂フコトヲ命スルモノナルヲ要ス故ニ貨物ヲ與ヘシムルノ命令或ハ勞力ヲ爲サシムルノ命令ハ無効ナリトス到底貨幣 (Money) ノ支拂ヲ命令スルモノナラサルヘカラス例ヘハ余カ手形ヲ振出シ大坂ノ某ニ宛テ、此手形ヲ所持スル者ニ太物百反ヲ交付セヨト命令スルモ爲替手形タルノ効ナシ何故ニ斯ノ如キ狹隘ナル制限ヲ設定シタルヤト云フニ則テ流通証書法ノ目的ハ手形ノ支拂ヲ確實ニスルニアレハナリ而シテ金錢ト云フ以上ハ我邦ノ如キ金

貨ト紙幣ノ區別アリト雖モ兎ニ角百圓ト云ハ、之ニ關シテ紛議ノ生スルコトナカルヘシ之ニ反シテ太物百反ト云フトキハ實ニ漠然タルノミナラス例ヘハ結城紬百反又ハ二子縞百反ト云フモ其織方并ニ品質ノ好惡ハ更ニ一定セサルナリ既ニ一定セサルトセハ紛議發生スルニ容易ナルヘク紛議發生スルニ容易ナレハ從テ支拂ハ不確定ナルヘシト斯ノ如キモノ、融通ヲ自由圓滑ナラシムルニ於テハ却テ經濟上ノ信用ヲ妨害スルヤ尠ナラス即チ此理由ニ基キテ金錢以外ノ物件ヲ支拂フヘキ指圖ヲ無効ト規定シタルナリ

指圖ハ依頼或ハ願望ヲ含蓄セス即チ依頼若クハ願望ハ爲替手形ノ所謂指圖ニアラサルナリ故ニ金百圓ヲ仕拂フコトヲ望ムト云フ如キ語ハ爲替手形トシテハ無効ナリトス必ス之ヲ仕拂フヘシト命令セサルヘカラス例ヘハ振出人ヨリ支拂人ニ對シテ希望ヲ云ヒ顯ハシ又ハ依頼スルトキハ仕拂フト仕拂ハサルトノ撰擇權ハ支拂人ニ存スヘク又文面上撰擇スヘシト云フ意味ヲ含蓄スルカ故ニ撰擇權ハ既ニ最初ヨリ支拂人ニ存在スヘシ然ラハ其支拂ハ實ニ不確定ナリト云ハサルヲ得ス是即チ依頼又ハ希望ノ語ヲ無効トスル所以ナリ

條例第一條第三項ニ曰ク特別ノ資金ノ中ヨリ支拂フヘシトノ指圖ハ條件ナキモノト見做サス但シ一定ノ金額ヲ支拂フヘシトノ單純ナル指圖ナルトキハ支拂人ノ辨償スヘキ資金又ハ定記ノ金額ヲ拂入ルヘキ格段ナル計算ヲ記入シ又ハ振出ノ事故ヲ記入スルモ妨ケナシト是實際手形ヲ振出スニ必要ノ個條ナリ例ヘハ銀行ニ於テハ勘定帳簿ハ種々ニ分ル、モノニシテ之ニ金錢ヲ預ケタル人百名アリトセハ其各人ニ付キ一々勘定ヲ異ニシ各別ニ記載シテ一ヨリ百ニ至ル迄甲ノ勘定及乙ノ勘定ヲ列記スルモノナリ此場合ニ於テ甲者ハ手形ヲ振出シ其銀行ニ宛テ、甲ノ計算中ヨリ乙某ニ金百圓ヲ支拂フヘシト命令スルトキハ爲替手形トシテ無効ナリ尙ホ適例ヲ舉ケンニ甲者カ其家屋ヲ銀行ニ抵當トシテ金錢ヲ借受ケ其後同銀行ニ充テ、手形ヲ振出スニ當リ豫テ抵當ニ差入レタル家屋ヲ賣拂ヒ其代金ヨリ金百圓ヲ支拂フヘシト指圖スルトキハ其手形ハ無効ナルコト前例ト異ナルナシ何トナレハ銀行ハ其家屋ヲ賣却セサルヘカラサル制限即チ一ノ條件附若スルヲ以テナリ之ニ反シテ例ヘハ甲者ニ於テ右ノ銀行ニ宛テ、手形ヲ振出スニ當リ乙某若クハ其指圖人ニ金百圓ヲ支拂フヘシ但シ其金圓ハ余ノ預ケ金ヨリ

決算スヘシト命令スルトキハ其手形ハ有効ナリトス此場合ノ以上ニ述ヘタル所ト異ナル點ハ後例ノ場合ニ於テハ乙者ニ金錢ヲ支拂フニ付キ銀行ハ何レノ金額ヲ以テスルモ更ニ制限セラレス唯條件ト見ユルモノハ銀行ニ於テ金錢ヲ支拂フタル後甲者ト勘定スルニ當リ其預ケ金ト決算スヘシト云フ點ニアリ故ニ前例ニ在テハ銀行カ乙者ニ金錢ヲ支拂フトキニ條件附着スレトモ後例ニ於テハ金錢支拂ノ一點ニ付テハ條件ナク唯其後ニ於ケル決算カ條件ナリト見ラル、ノミ既ニ支拂ノ時ニ條件ナクレハ之ヲ以テ手形ハ有効トナルヘシ何トナレハ手形ノ支拂ハ確實ナルヲ以テナリ

### 第五回

#### 第四項 金額 (Sum of money)

本邦爲替手形約束手形條例第四條ニ曰ク爲替手形ノ金額ハ五圓以上ニ限ルモノトス又其第四十四條ニ曰ク約束手形ハ定期拂ニシテ金額ハ二十五圓以上ニ限ルモノトスト之ニ依テ見レハ我邦ニ於テハ手形ニ付テ金額ニ制限アリト云フヘシ即チ二圓又ハ三圓ノ金額ニ付テハ爲替手形并ニ約束手形ヲ振出スコトヲ得サルモ

ノコシテ之ヲ振出ストキハ無効ナリトス英國ニ於テモシヨルシ第三世第四十八年ノ布告ニ依リ二十シリング以下ノ金額ニ付キ爲替手形ヲ發スルコトヲ禁シタリ二十シリングハ我邦ノ五圓ニ當ル現今ハ金貨ノ價格騰貴セルカ故ニ殆ソト七圓ニ當ルヘシ然ルニビクトリヤ第二十二年及二十四年ノ布告ヲ以テ獨リ振出切手ニ付テハ此制限ヲ廢止シタルカ現行爲替手形條例即チ一千八百八十二年ノ條例ニ依リ右二個ノ布告ヲ全廢シ手形ノ金額ニ付テハ更ニ制限ナキコト、ナレリ畢竟爲替手形ナルモノハ金錢ノ仕拂ヲ約束スル處ノ一種ノ證書ニ過キスジテ契約ヨリ成立スルモノナリ故ニ契約ニ必要ナル要素ヲ具備セサルヲ得ス即チ對手間ノ合意ヲ要スルハ無論ナリトス而シテ既ニ雙方ノ合意アル以上ハ金額ニ制限ヲ設クルノ必要ヲ見サルナリ此理由ニ基キ英國ニ於テハ遂ニ此制限ヲ廢止スルニ至レリ然レトモ歐洲大陸ニ於ケル或國ノ法律及本邦法律ニ於テハ金額ニ制限アルカ故ニ此點ニ付テハ特ニ諸君ノ注意アラソトナ請フ英國現行爲替手形條例第九條第一節ニ曰ク凡ソ手形ニ依リ支拂フヘキ金額ハ左ノ場合ニ於テモ尙ホ一定ノ金額ナリトス

第一 利息ヲ附シテ支拂フヘキトキ

第二 定期割拂ニテ支拂フヘキトキ

第三 定期割拂ノ外一期タリトモ支拂ヲ怠ルコトアルトキハ其期ノ支拂高ト

殘額トチ併セテ皆濟スヘシトノ指圖ヲ記載シタルトキ

第四 特別ニ記載セラレタル爲替相場ノ割合又ハ券面指圖ノ方法ヲ以テ定ムル爲替相場ノ割合ニテ支拂フヘキトキ

現行條例ニ於テ金額ニ關スル規定ハ此一個條アルノミニシテ他ニ其規定ヲ見サルナリ故ニ金額ニ付テハ英法上制限ナシト解釋スルヲ得ヘシ元來爲替手形ニ記載スル金額ハ何レノ國ノ法律ヲ問ハス必ス一定シタル金額ナルヲ要シ決シテ曖昧ナルヲ得サルモノトス右第一節ノ規定亦此精神ニ出ツルニ外ナラサルナリ即チ或ハ金五圓又ハ金拾圓ト云フカ如ク其額ヲ確定シテ記載セサルヘカラス故ニ金拾圓又ハ二拾圓ヲ支拂フヘシト記載シ或ハ金拾圓及太物ヲ引渡スヘシト命令シ又ハ金百圓及若シ手形ニ付テ訴訟起ルアラハ之ニ關スル費用ヲ併セテ支拂フヘシト記載スルコトアラハ其手形ハ無効タルヘシ是即チ前ニ手形ノ定義ヲ下ス

ニ當テ述ヘタルカ如ク手形ハ或一定金額ノ支拂ヲ差圖スルモノナラサルヘカラ  
 サル原則ニ基キタルモノニシテ條例第九條第一節ハ之ヲ註釋シタルニ過キサル  
 ナリ要スルニ右ニ講述シタル三個ノ場合ノ如キハ無効ナリト雖モ條例第九條第  
 一節ニ列舉セラレタル場合ノミハ有効ナリトス今之ヲ例解センニ金百圓及之ニ  
 年一割ノ利子ヲ附シテ支拂フヘシト指圖シ(第一ノ場合)或ハ千圓ノ手形ヲ振出シ  
 百圓宛ノ年賦ヲ以テ支拂フヘシト指圖シ(第二ノ場合)又ハ在橫濱ノ人ヨリ在倫敦  
 ノ者ニ對シテ金額百圓ノ爲替手形ヲ振出シ支拂當時ノ爲替價ヲ併セテ支拂フヘ  
 シト差圖スル(第四ノ場合)如キ即チ是ナリ然ラハ何ヲ以テ之ヲ有効トナスヤ請フ  
 其理由ヲ述ヘン

元來金額ノ確定スルコトヲ要スルハ手形ノ支拂ヲ確實ニスル目的ヲ達センカ爲  
 メナリ故ニ其金額ニシテ容易ニ知り得ヘキ場合ニ於テハ支拂ヲ不確實ナラシム  
 ル患ナカルヘシ即チ百圓ノ爲替手形ニ對シテ一割ノ利子ヲ附スヘシトスル利足  
 附ノ場合ノ如キ容易ニ之ヲ計算シ得ヘク又百圓ノ年賦ヲ以テ千圓ノ金額ヲ支拂  
 フヘシト指圖スル場合ノ如キ十年ヲ閱シテ完済スルヲ得ヘシ是亦容易ニ知り得

ヘキノ事ナリトス從テ斯ノ如キ手形ヲ有効トセルナリ  
 序ニ一言セサルヘカラサルコトハ利足附ノ場合ニ於テ其利足ハ何時ヨリ計算ス  
 ヘキヤ手形ノ日附ニヨルヤ或ハ振出ノ日附ニヨルヤノ疑問是ナリ蓋手形ニ記載  
 セラレタル日附ト實際振出人カ其手形ヲ受取人ニ交付シタル振出日附トハ同一  
 ナルコトアリ又相異ナルコトアリ例ヘハ余カ十一月一日ニ手形ヲ認メ十二月一  
 日ニ至リ之ニ裏書シテ他人ニ交付スルトセンニ其間一ヶ月ノ差異アルヲ以テ計  
 算ノ方法如何ニ依リ利足ノ額ハ一ヶ月ニ對スル金額ノ差異ヲ生スルヤ明カナリ  
 此場合ニ於テハ法律ノ明文ナシト雖モ慣習上手形ノ日附ヨリ計算ス其理由タル  
 ヤ手形ハ自由且ツ頻繁ニ數多ノ對手間ニ流通轉轉スルヲ以テ數人ノ手ヲ經タル  
 後占有ヲ得タル最後ノ對手ハ實際振出ノ日附ヲ知ラサルコトアリ又振出人ト雖  
 トモ手形面ニ日附ヲ記載シタル以上ハ茲ニ意思アリトセサルヘカラサレハナリ  
 而シテ手形面ニ日附ヲ記載スルヲ以テ通常トナセトモ先回ノ講義ニ於テ講述シ  
 タルカ如ク英國法律ハ手形ノ方式如何ヲ問ハサルカ故ニ縱令手形ニ日附ナキモ  
 無効トナサズシテ此場合ニハ實際振出シタル日ヨリ計算スルモノトス

手形ハ日附ナキモ有効ナルコトハ右ニ述ヘタルカ如シ即チ日附ハ手形ノ要素ニ  
 アラサルカ故ニ之ヲ記載セサルモ手形ノ効力ニ影響ヲ及ホスコトナシトス然ル  
 ニ金額ニ至テハ手形ノ一要素ナルヲ以テ必ス之ヲ手形ニ記載セサルヘカラス故  
 ニ後日ニ至リ記入スルノ意思コト振出ノ當時金額ヲ記載セサルコトアラハ其手  
 形ハ無効タルヘシ又金額記載ノ方法ニ付キ本邦ノ慣例ハ之ヲ一個處ニ記スルコ  
 アリ然ルニ英國ニ於テハ二様ニ記スルヲ以テ慣例トス即チ我邦ニ於テハ一金百  
 圓也ト認メ直ニ右ノ金額何ノ某又ハ其指圖人ニ御支拂可被下候ト記載ス之ニ反  
 シテ英國ニ於テハ手形ノ冒頭ニ羅馬數字ヲ以テ金額ヲ記載シ加フルニ本文ニ於  
 テ又言語ニ依リ反覆シテ記載スルヲ例トス而シテ我邦ノ如ク一樣ノ記載法ナル  
 トキハ聊カ紛議ヲ生スルコトナシト雖モ英國ノ如ク二様ナルニ於テハ一方ニ百  
 圓ト記載シ一方ニハ二百圓ト誤記スルノ憂ナキヲ保セス此場合ニハ如何ニ解釋  
 スルヤト云フニ羅馬數字ヲ取ラスシテ通常ノ文字ニヨル金額ヲ以テ真正ナリト  
 ス何トナレハ言辭ハ筆者ニ於テ意ヲ用ヘテ認メタルモノナレハ之ニ眞ヲ置クコ  
 足ルヲ以テナリ然レトモ言辭ニヨル記載ナク單ニ羅馬數字ノミヲ記スルカ或ハ

言辭ノ記載ハ曖昧ニシテ明瞭ヲ欠ク場合ニ於テハ數字ノ金額ヲ以テ真正ナリト  
 看做スヘシ是解釋上止ムヲ得サルニ出ツルナリ即チ條例第九條第二節ニ曰ク語  
 及數字ノ同様ヲ以テ記載シタル支拂金額ノ間ニ差異アルトキハ語ヲ以テ記載シ  
 タル金額ヲ相當ノモノナリトスト又其第三節ニ曰ク利足ヲ附シテ支拂フヘキ旨  
 ナ記載シタル手形ノ利足ハ其券面ニ於テ別ニ指定スル所アラサレハ手形ノ日附  
 ヨリ計算スルモノトス若シ券面ニ日附ナキトキハ振出シタル日ヨリ計算スルモ  
 ノトスト是即チ前ニ述ヘタル所ノ利足計算法ナリ

第五項 約報 (Consideration)

爲替手形ハ約報ヲ記載セサルヘカラサルヤ否ヤノ點ハ學者ノ間ニ議論アル所ナ  
 リ佛國法律ニ於テハ之ヲ記載セサレハ手形ハ無効ナリトス然ルニ英國法律ハ約  
 報ノ記載ヲ以テ必要トナサス縱令其記載ナシト雖モ法律上約報アリト推測ス米  
 國法亦同シ然レトモ此記載ハ單ニ手形ノ要素ニアラサルノミ之ヲ記載スルヲ以  
 テ通常トス而シテ之ヲ記載セサル場合ハ措テ論セス苟モ之ヲ記載スル場合ニ於  
 テハ何人カ其約報ヲ領収シタルモノト解釋スルヤト云フニ手形ヲ振出シタル者



即チ振出人カ領收シタリト解釋ス換言スレハ振出人ニ於テ約報ヲ領收シタルカ故ニ手形ヲ振出シタルモノト看做スナリ約報ノ記載法ニ關スル難形ハ後回ニ於テ示ス所アルヘシ

手形ニ約報ヲ記載スルト否トヲ問ハス約報アリト解釋スルハ法律ノ推測之ヲ然ラシムルノミ實際ニ至テハ或ハ金錢ノ支拂ナカリシヤ知ルヘカラス又信用ヲ得ンカ爲メニ約報ノ記載ヲ爲シ其實之ヲ領收セサリシヤ知ルヘカラス此場合ニ當リ其實際如何ノ證明ヲ許スト否トハ對手ノ利害ニ影響ヲ及ホスヤ尠少ナラサルヘシ此事ハ證據法ニ屬スルカ故ニ之ヲ講述スルニ及ハスト雖モ序ニ一言セサルヲ得サルナリ即チ右ノ證明ハ第三者ニ對シテ之ヲ爲スチ許サス唯直接ノ對手(Mediate Parties)間ニ於テノミ之カ證明ヲ許スモノトス直接ノ對手トハ中間ニ他人ノ介入スルコトナクシテ對手互ニ自ラ取引シタル者ヲ云フ然レハ甲者カ百圓ノ手形ヲ振出シ手形面ニ約報ヲ受取タル旨ヲ記載シテ之ヲ乙者ナル受取人ニ裏書シタリ然ルニ其實ハ甲者ニ於テ乙者ヨリ百圓ノ金額ヲ受取リタルコトアラサルナリ此場合ニ乙者カ其手形ヲ丙者又ハ丁者ニ讓渡ストセンニ約報ノ存在セサル

コトノ證明ハ丙者又ハ丁者ニ對シテ爲スチ得サレトモ甲者及乙者即チ直接ノ對手間ニ在テハ之ヲ證明スルヲ得ヘシ尙ホ直接對手ノ詳解ハ後章ニ至リ明カニシ

第六回

第六項 振出及支拂ノ期日



現行爲替手形條例第三條第四節ニ曰ク手形ハ左ノ理由アルカ爲メニ無効シラスニ日附ナキコト 此日附トハ即チ振出ノ日附ヲ云フ然レトモ單ニ振出日附ト云ハソヨリハ寧ロ一層之ヲ廣ク解釋シテ手形面ニ記載シタル日附ヲ指シタルモノト云フヲ以テ至當トス我邦爲替手形約束手形條例第二條ニ於テハ手形ニ振出ノ日ヲ記入セサルヘカラサルコトヲ規定セリ即チ同條第二項ニ曰ク振出ノ年月日及場所ト又英國ニ於テハ右ニ述ヘタル條例ノ規定アルカ爲メ一般ニ日附ヲ記載スルヲ以テ通常トスレトモ敢テ之ヲ必要トナスニアラス縱令之ヲ記載セサルモ手形ノ効力ニ影響ヲ及ホサ、ルナリ之ニ反シテ歐洲大陸各國ノ法律ニ依レハ多クハ日附ノ記載ヲ以テ一ノ要素トナセリ抑モ手形ニ日附ヲ記載スルコトハ敢テ必要ナルニアラスト雖モ手形振出ノ日ハ金錢ノ支拂或ハ對手ノ權利義務ニ關シテ

頗ル必要ノモノナリ然ラハ其日附ハ何ニ依テ之ヲ知ルヤト云フニ苟モ反對ノ證據ナキ以上ハ手形ノ日附ニ依リ之ヲ知ル可キモノトス然レトモ手形ノ日附ト手形振出ノ日附トハ必スシテ相一致スルモノニアラサルナリ何トナレハ手形ヲ認メ之ニ日附ヲ記載シ實際之ヲ振出スコトナクシテ久シク藏置スルコトナキニアラス即チ前回ニ於テ利息ノ計算法ヲ講述セルニ當リ述ヘタル如ク手形ヲ作為シタル後一ヶ月又ハ二ヶ月ヲ經テ振出スコトアレハナリ而シテ振出ノ日ハ手形日附ノ如何ニ關セス別ニ證明スルコトヲ得ヘシ即チ此場合ニ於テハ手形ニ日附アルモ之ニ對スル反證ノ提出セラレタルカ故ニ手形振出ノ日ハ手形ノ日附ト同一タラサルモノトス

手形ノ日附ハ振出日ヨリハ後トナスコトヲ得ヘク又前トナスコトヲ得ヘシ例ハ實際本年十一月廿一日ニ於テ振出シタル手形ニ記載スルニ本年十二月一日ナル日附ヲ以テスルヲ得ヘク又ハ九月一日ナル日附ヲ以テスルコトヲ得ヘシ英國法ニ於テハ此點ニ付テ條例ノ頒布前ハ商業上ノ慣習ニ依リ條例頒布後ノ今日ハ條例ノ解釋上ヨリ實際ノ振出期日ノ證明ヲ許スカ故ニ日附ノ如何ハ必要ナルコト

トニアラサルナリ例ヘハ甲者五月一日ノ日附ヲ以テ乙者ニ對シ手形ヲ振出シ丙者ヲ受取人トナセリ丙者ハ手形ニ裏書シテ之ヲ丁者ニ讓渡シ丁者ハ振出人甲者ニ對シテ手形金ノ支拂ヲ請求シタルコト丙者ナル受取人ハ既ニ四月一日ニ於テ死亡シタルコト明瞭トナレリ今之ヲ手形上ヨリ觀察スレハ手形ハ五月一日ニ振出サレ其受取人ハ四月一日マテ生存シタルヲ以テ其手形ハ當然無効タラサルヲ得ス然レトモ實際振出期日ノ證明ヲ許スカ故ニ讓受人ナル丁者ニ於テ手形ハ五月一日ノ日附ナレトモ其實三月十五日ニ振出サレタルモノニシテ即チ受取人タル丙者ノ生存中ニ振出サレタルモノナルコトヲ證明スルヲ得ヘシ上來講述シタル所ハ手形振出ノ期日ニ關スルモノナリ今手形支拂ノ期日ニ付キ講述スル所アルヘシ

條例第十條第一節ニ曰ク請求次第支拂フヘキ手形トハ請求次第(On demand)又一覽次第(At sight)若シハ提示次第(On presentment)支拂フヘキトノ指圖アルモノ又ハ支拂期限ヲ明記セサルモノヲ云フト我邦ノ新聞紙ハ時トシテ倫敦參着二三シリング二三ペンス云々ト報告スルコトアリ其參着トハ即チ爲替手形ノ一覽拂ノ

コトヲ云フ今支拂期日ヨリ手形ノ種類ヲ區別セハ概テ之ヲ二種トナスコトヲ得ヘシ請求次第支拂フヘキ手形及定期拂ノ手形是ナリ請求次第支拂フヘキ手形トハ條例第十條第一項ニ記載セル種類ヲ稱ス例ヘハ手形ニ於テ請求次第御支拂可被下候下記載スルコトアリ是即チ請求次第支拂フヘキ手形ニシテ之ヲ所持スル處ノ受取人ハ何時ニテモ支拂人ノ所ニ到リ直チニ手形面ノ金錢支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘシ本邦ニ於ケル銀行カ發スル所ノ切手ハ概チ此種ノ爲替手形ナリトス換言セハ其切手ヲ銀行ニ持參スレハ何時ニテモ其切手面ノ金額ヲ支拂ハシムルヲ得ヘシ

一覽拂ノ手形トハ其實右ト同種類ノモノニシテ此手形御一覽ノ上御支拂可被下候下記載シタル手形ヲ云フ即チ受取人ヲ支拂人ニ手形ヲ一覽セシメタルトキ支拂フヘシト云フコトアリ又提示拂ノ手形モ同一ナルモノニシテ手形ヲ提示シタルトキコ支拂フヘキコトヲ命令スルヨリ此名アリトス即チ受取人ノ地位ヨリ觀察シテ此名ヲ下シタルモノナリ

請求次第支拂フヘキ手形ニシテ少シク異様ナル種類ノモノアリ即チ條例第十條

第二節ニ曰ク若シ支拂期限満限ノ後ニ於テ引受又ハ裏書アルトキハ之ヲ引受ケ又ハ裏書シタル人ニ對シテハ請求次第支拂フヘキ手形ト看做スヘシト抑モ此種ノ手形ハ既ニ支拂期限ノ經過シタルニ拘ハラズ尙ホ之ヲ流通セシメタルモノナリ彼ノ通常貸金ノ場合ニ於テ返済期限經過スルトキハ權利者ハ何時ニテモ其返済ヲ請求スルコトヲ得ヘシ右ノ規定ハ必竟此精神ニ出テタルモノナルヤ明カナリ尙ホ此種ノ手形ニ關スル詳細ノ性質ハ後章ノ講義ニ讓ル

定期拂ノ手形トハ現行條例第十一條ニ規定セラル、モノヲ云フ即チ同條ニ曰ク將來ニ確定スルコトヲ得ヘキ期限ニ於テ支拂フヘキ手形トハ其日附後又ハ提示ノ後ニ於ケル一定セラレタル時日若シハ豫メ其期限ヲ確定シ難シト雖モ必ス發生スヘキ事柄ニ屬スルトキ又ハ其以後ニ於ケル一定ノ時日ニ於テ支拂フヘキモノヲ云フト凡ソ通常ノ貸借證書ニ於テハ支拂ノ期限ヲ一定スルヲ以テ常トス之ト同シク手形ニ於ケルモ手形ノ日附ヨリ三十日ヲ經テ支拂フヘシ又ハ手形ノ提示ヨリ三十日ノ後ニ支拂フヘシ或ハ權利者ヨリ通知シタル後六十日ヲ經テ支拂フヘシト云フ如ク總テ支拂期限ヲ一定スルコトヲ得ヘシ借又手形ノ定義ヲ下ス

ニ當リテ述ヘタル如ク手形ハ無條件ノ指圖ナルヲ要ス故ニ支拂ノ期日モ亦有條件タルヲ得ス何トナレハ支拂期日ノ有條件ナルトキハ支拂ヲ不確實ナラシムルヤ最モ甚シキモノナレハナリ例ヘハ振出人甲者カ支拂人乙者ト結婚スルトキニ支拂フヘシト命令スル所ノ手形ハ無効ナリトス何トナレハ甲者及乙者ハ果シテ結婚ヲ爲スヤ否ヤ或ハ未ダ結婚セサルコ先ダ甲者又ハ乙者カ死亡スルヤ否ヤ知ル可カラサレハナリ又桑港ヨリ大平洋汽船會社ノ船舶カ横濱ニ到着シタル日ニ於テ支拂フヘシト指圖スル所ノ手形ノ如キ其條件ハ極メテ不確實ナルモノニシテ或ハ其船舶ハ颶風ノ爲メニ沈没スルコトナキヲ保セス故ニ此場合ニ於テモ亦其手形ハ無効ナリトス之コ反シテ縱令手形振出ノ當時其支拂期限ヲ確定スルコト能ハサルモ後來必ス發生スヘキモノナルトキハ其手形ハ有効ナリトス何トナレハ其支拂期日トセル事柄ハ後來必ス發生スルカ故ニ極メテ確實ナルコトナレハナリ例ヘハ振出人甲者カ死亡シタルトキニ支拂フヘシト命令スル手形ノ如キ人生僅カ五十年ハ必ス早晚死亡スルモノナレハ此期限ハ確實ナルモノナリ之ト同一ノ理由ニ依リ甲者ノ死亡後一年ヲ經テ支拂フヘシト云フ如キ手形モ亦

有効ナリトス

以上講述シタル所ノ支拂期日ニ付テハ本邦爲替手形約束手形條例第二節ニ於テ精密ニ規定セラレタレハ參考ノ爲メ茲ニ一言セントス即チ其第五條ニ曰ク爲替手形ノ仕拂期限ハ左ノ如ク區別ス

一、一覽拂、二、定期拂、三、一覽後定期拂

又其第六條ニ曰ク一覽拂ノ手形ハ其提示ヲ受ケタルトキ直チニ支拂フヘキモノトスト是即チ一覽拂ノ手形ノ解釋ナリ又第七條ニ曰ク定期拂ノ手形ハ手形ニ定メタル期日ニ支拂フヘキモノトスト是蓋當然ノ規定ナリ尙ホ第八條ニ於テ一覽後定期拂ノ手形ヲ説明シテ曰ク一覽後定期拂ノ手形ハ一覽濟ノ日ヨリ其日數ヲ起算シ手形ニ定メタル期日ニ支拂フヘキモノトスト本邦ノ條例ニヨレハ手形支拂期日ノ種類ハ右ノ三種ニ限レリ故ニ英國法ニ比スレハ其數少シト云フヘシ

第七回

前回ニ於テハ振出期日及支拂期日ノ概略ヲ講了シタルカ故ニ今回ハ支拂期日ノ勘定法ヲ講スルヲ順序ナリトス然レトモ猶其前ニ猶豫期日ニ付キ一言スヘシ

燈臺下暗トノ諺ノ如ク我帝國日本ニ於テハ所謂猶豫日ナルモノアルヤ否ヤ余ハ之ヲ知ラサルナリ尤モ歐洲大陸各國ニ於テハ何レモ猶豫期日ノ規定アリト云フニアラス或ハ此規定ナキ國アリ然レトモ一般ニ之ヲ云フトキハ概テ慣習上或ハ法律上此規定アリト云フヲ得ヘシ曾テ各國委員會ニ於テ之ヲ廢止スルノ議論起リタレトモ其効ヲ奏セスシテ遂ニ消滅ニ歸セリ扱テ猶豫期日トハ如何ナルモノト云フ乎

凡ソ如何ナル富豪家ナリト雖モ常ニ金員ヲ懷ニスルモノニアラサレハ即時ノ支拂ヲ請求セラルトキハ時ニ或ハ差支ナキニアラス況ンヤ商業ノ隆盛流通ノ頻繁ナル現今ニ在テハ苟クモ所有ノ金員アレハ之ヲ銀行等ニ預クルニアラサレハ他人ニ貸附シ寸時モ無益ニ掌握スルコトナク必ス殖利ヲ計ルモノナレハ法律ハ手形金額ノ支拂準備ヲ爲サシメシカ爲メ或期日ヲ與フ此期日ヲ英語ニテ (Days of Grace) ト云フ此語ハ德義上ノ期日ト謂フ意義ナリ蓋受取人ハ支拂人ニ對シテ德義上若干ノ猶豫期日ヲ附與シ支拂金調度ヲ爲サシムルヲ謂フナリ而シテ一度此慣習ノ起生シタルヨリ漸次ニ商業上ノ慣習トナリ遂ニ現今ハ法律上ノ權利トナ

ルニ馴致セリ

現行條例第十四條ニ曰ク請求次第支拂フヘキ手形ニアラサルトキハ左ノ如ク支拂期限ヲ定ム

第一、券面ニ猶豫期日ノ記入アラサルトキハ支拂期限ニ更ニ三日ノ猶豫期日ヲ加ヘ其最終ノ日ニ支拂フヘキモノトス但シ猶豫期日ノ最終日若シ國祭日又ハ休業日ナル時ハ其前日ニ支拂フヘキモノトスト例ヘハ二十一年一月一日ニ於テ手形ヲ振出シ一ヶ月ノ後支拂フヘシト指圖スルトキハ即チ一月三十一日ヲ超ヘ二月一日ヲ以テ支拂期限ノ到達スル譯ナレトモ之ニ三日ノ猶豫期日ヲ加フルトキハ其支拂日ハ二月四日トナル可シ然ルニ同日ハ日曜日ナルカ或ハ國祭日即チ我邦ニテ云ハ、天長節又西洋コテ云ハ、クリスマスナル時ハ支拂期日ハ其前日即チ二月三日ナリトス斯ノ如ク支拂期日ノ休日ナルニ於テハ其前日ニ仕拂フヘシトスルハ蓋理由ノ存スルアリ元來猶豫期日ナルモノハ受取人ニ於テ德義上之ヲ附與シタルモノナリ即チ右ノ場合ニ於ケル約定ニ從ヘハ二月一日ニ支拂ヲ請求シ得ヘキモノナレトモ義務者ノ利益ノ爲メ恩惠上ヨリ猶豫ヲ與ヘタルナリ夫

レ斯ノ如ク不意ノ利益ヲ義務者カ得タルモノナレハ尙ホ一日間其期日ヲ延引ス  
 ルニ於テハ義務者ノ利益ハ實ニ其度ヲ失シタルモノト云ハサルヲ得ス故ニ右ノ  
 如キ規定アルニ至リタルモノニシテ誠ニ當然ノコトナリトス  
 是ト同時ニ講述スヘキコトハ支拂定期(Due Date)即チ是ナリ支拂定期ナルモノハ商  
 業上ノ慣習ヨリシテ存在スルモノニシテ法律ノ當然認ムル所ニアラス然レトモ  
 一般證據法ニ依リ其慣習ノ成立ヲ證明スルヲ得ヘシ蓋支拂定期トハ振出地及支  
 拂地ノ間ニ於テ慣習上一定セラレタル爲替金ノ支拂ヲ催促スヘキ期限即チ是ナ  
 リ此慣習ハ我邦ニ於テ存在セサレトモ假リニ存在スルモノトシテ之ヲ説明セン  
 ニ在東京ノ甲者カ在坂ノ乙者ニ對シテ一月一日ニ爲替手形ヲ振出シ一ヶ月後ニ  
 支拂フヘシト指圖スル場合ニ於テ東京及大坂ノ間ニ十五日間ノ催促猶豫期限ア  
 リトセハ前述セル猶豫期日ニ換フルニ支拂定期十五日ヲ以テスルカ故ニ二月十  
 五日ニ支拂フヘキモノトナルヘシ斯ノ如キ期日ニシテ慣習上成立スルトキハ之  
 ナ支拂定期ト稱ス此慣習ハ前ニ述ヘタルカ如ク歐洲諸國ニ於テハ存在スレトモ  
 本邦ニハ之アラサルナリ之ヨリ支拂期限ノ計算法ヲ述フヘシ

條例第十四條第二項ニ曰ク若シ手形日附後又ハ一覽後若クハ或一定シタル事柄  
 ノ起リタル後ニ到來スル所ノ期限ニ於テ支拂フヘキモノナルトキハ其支拂期日  
 ナ定ムルニハ期限ノ初日ヲ除キ支拂日ヲ加ヘテ計算スヘキモノトス例ヘハ日附  
 ノ後一ヶ月ヲ經テ支拂フヘキ手形ヲ一月一日ニ振出ストキハ一日ハ之ヲ算入セ  
 ス最後ノ日ヲ算入シ支拂日ハ二月一日トナルヘシ而シテ此計算法タルヤ實際之  
 ナ知ラサルヘカラサルモノナレトモ爲替手形ノ如キハ煩劇ナル取引ニ使用セラ  
 ル、カ故ニ右計算法ノ爭論ノ基トナルコト尠少ナラス

第七項 振出及支拂地

本邦爲替手形約束手形條例第二條ニ於テ振出地及支拂地ハ必ス之ヲ記載セサル  
 ヘカラサルコトヲ規定セリ佛國手形法及日耳曼手形法亦同シ然レトモ英國法ニ  
 於テハ斯ノ如キ記載ヲ必要トセス何トナレハ手形ナルモノハ支拂ノ確實ナルア  
 レハ充分ニシテ毫モ支拂地ヲ知ルノ必要アラサレハナリ若シ又或場合ニ於テ振  
 出地ノ記載ヲ以テ手形方式ノ要件トナサン平若シ之カ記載ヲ遺忘スルニ於テハ  
 其手形ハ無効ナルニ至ルヘシ然ルニ斯ノ如キ記載ノ遺忘ハ手形ヲ無効ナラシム

ルニ足ル重大ナルモノニハアテサルヘシ又支拂地ニ付テモ英國法ニ於テハ之ヲ記載スルト否トナ問ハサルナリ例ヘハ東京ニ於テ手形ヲ振出シ大坂ニテ支拂フヘシ又ハ神戸ニテ支拂フヘシト云フ記載ハ我邦及佛國等ノ法律ニ在テハ之ヲ必要トスレトモ英國法ニ於テハ之ヲ必要條件トナサ、ルナリ然レトモ英國ニ於テモ之ヲ記載スルヲ以テ通常トス而シテ之ヲ理論上ヨリ云ヘハ或ハ手形支拂ヲ確實ニセンカ爲メニ之ヲ記載スルヲ以テ可ナリトセサルヘカラス

英國法律ニ於テハ手形ニ二個以上ノ支拂地ヲ記載スルヲ得ヘシ例ヘハ甲者東京ニ於テ在坂ノ乙者ニ對シ手形ヲ振出スニ當リ四日市又ハ神戸ニ於テ支拂フヘシト指圖スルヲ得ヘシ斯ノ如キ規則ハ英國法ノ特有ナレトモ二個以上ノ支拂人ヲ記載スルト同シク手形ニ條件ヲ付スルコト、ナルカ故ニ受取人ハ常ニ煩勞ヲ蒙ムルニ至ルヘシ故ニ便宜上之ヲ許サ、ルヲ以テ可ナリトス斯ク述ヘ來レハ支拂地ノ記載ナキ場合ニハ如何ニシテ支拂ヲ爲スヤト云フ疑問ヲ生スレトモ是ハ後章ニ讓リ茲ニ唯方式ニ關スルコトヲ述フルノミ

### 第八項 引受 (Acceptance)

本邦爲替手形約束手形條例第一章第六節ニ於テハ引受ノコトヲ規定セリ而シテ引受ヨリ生スル權利義務及責任等ノ事柄ハ後回ノ講義ニ於テ別章トシテ講述スヘキカ故ニ本項ニ於テハ單ニ方式ニ關スル概略ノコトヲ述ヘントス

我邦ノ條例ニ於テハ引受ノ方式ニ關スル規定ナキヲ以テ茲ニ之ヲ述ヘス然レトモ英國爲替手形條例第十五條第一項ニ於テハ手形引受トハ支拂人カ振出人ニ對シ其指圖ヲ承諾スル旨ヲ表明スルコトヲ云フト規定セリ諸君カ知ラル、如ク手形ハ甲者ナル振出人ヨリ乙者ナル支拂人ニ對シ金錢支拂ヲ指圖スル書面ニシテ之ヲ第三者ナル受取人丙者ニ交付スルモノトス此場合ニ於テ權利義務ノ關係ハ甲者及丙者ノ間ニ生スルニ止マリ支拂人ハ概テ其事柄ヲ知ラサルモノナリ又之ヲ知ルモ何等ノ關係ヲモ有セサルモノトス然ルニ受取人丙者ハ不安心ナルヨリシテ其手形ヲ支拂人乙者ニ提供シ乙者ハ之ヲ支拂フノ意思ヲ發表スルトキハ之ヲ引受ト稱ス而シテ乙者ニ於テ一度引受ヲ爲スニ於テハ始メテ甲者ノ指圖ノ如ク手形タル効力ヲ生スルナリ尤モ此場合ニ於テ乙者ハ甲者ノ指圖ヲ承諾スルト又之ヲ承諾セサルトハ一ニ其擇フ所ナレハ茲ニハ唯乙者ノ支拂ヲ承諾シタル場

合ニ於ケル方式ニ付テ講述スヘシ  
 抑モ引受ナルモノハ支拂人カ振出人ノ指圖ヲ承諾スルノ意思ヲ發表スルモノナ  
 レハ第三者カ爲シタル引受ハ其効力ナキコト無論ナリト雖モ或場合ニ於テハ之  
 チ混同スルノ患ナキニアラス故ニ此點ハ宜シク記憶セサルヘカラサルナリ例ヘ  
 ハ甲者カ手形ヲ振出シ乙者ヲ支拂人トシテ之ヲ丙者ニ交付シタリトセンニ丁者  
 ナルモノカ其手形支拂ヲ承諾シタル旨ヲ記載スルモ其引受ハ無効ナルヲ以テ更  
 ニ引受ナカリシト一般ナリトス若シ又此場合ニ於テ乙者及丁者ナル二人カ共ニ  
 引受ヲ爲シタリト假定センカ乙者ノ爲シタル引受ハ無論有効ナリト雖モ丁者ノ  
 爲シタル引受ハ其効力ナキコト前例ト敢テ異ナルナシ又甲者カ丁者ナル會社ノ  
 社長ニ對シ手形ヲ振出シタル場合ニ於テ社長ニアラスシテ其會社ノ理事カ之ヲ  
 引受ケタルトキハ其引受ハ無効ナリトス何トナレハ甲者ノ指圖ニ從フダルモノ  
 ニアラサレハナリ然レトモ組合ノ場合ニ於テハ右ニ述ヘタル會社ノ場合ト異ナ  
 リ一組合員ニ宛テ、振出サレタル手形ヲ他ノ組合員カ引受クルモ有効ナリトス何  
 トナレハ組合法ノ原則ニ從ヘハ組合員ハ相互ニ本人代人ノ關係ヲ有スルモノナレ

ハナリ

上來述ヘタル所ノ引受記載ノ方式ハ如何ナリヤト云フニ英國法ニ於テハ支拂人  
 カ承諾ノ旨ヲ記載シ之ニ署名スルヲ以テ足レリトシ本邦條例ノ規定ノ如ク敢テ  
 調印スルニ及ハサルナリ又承諾ノ旨ヲ記載スルコトナク單ニ署名シタルノミニ  
 シテ法律上有効ナリトス然レトモ支拂承諾ノ旨ヲ記載スルニ當リ若シ指圖ニ反  
 シテ之ヲ爲ストキハ全ク其効力ナシ

### 第八回

前回ニ於テハ引受ニ關スル概畧ノ事項ヲ講述シタリ然レトモ尙ホ盡サ、ル所ア  
 ルカ故ニ今回モ引續キ引受ニ就テ講述スル所アラントス  
 條例第十七條第二項ニ曰ク引受ハ左ノ條件ニ從フニアラサレハ正當ノモノニア  
 ラス

- 一、券面ニ其旨ヲ記載シ支拂人自ラ之ニ記名スヘシ但シ其記名ノミニテ他ニ引  
 受ノ文字ナキモ可ナリ
- 二、支拂人ニ於テ券面ノ約束ヲ履行スルニ金額ノ支拂ヨリ他ノ方法ヲ以テスヘ



シトノ記入ヲ爲スコトヲ得ス

引受ノ書式ハ前回ニ於テ講述シタルカ如ク支拂人カ振出人ノ指圖ニ從ヒ金錢支拂ヲ承諾スル旨ヲ手形ニ記入スルコトアリ然レトモ此記入ノミニテハ未ダ足レリトセズ必ス之ニ記名セサルヘカラスナルナリ而シテ本邦爲替手形約束手形條例ニ依レハ引受ヲ爲スニハ必ス支拂人ノ記名調印ヲ要ス然ルニ諸君ノ熟知セラル、如ク英國ニ在テハ普通ノ證書ニ調印スルコトナク唯同國法ノ所謂有式證書即チ「デッド」(Dead)ヲ作爲スル場合ニ限り捺印ノ必要アルノミ換言スレハ普通一般ノ證書ニ於テハ單ニ記名ノミヲ以テ足レリトス又現今本邦ニ於テハ驛遞局ノ爲替金ヲ受取ル場合モ亦爲替証書ノ裏面ニ受取人ノ記名調印ヲ必要トスレトモ英國ニ於テハ此場合ニモ亦調印ヲ必要トセスシテ單ニ受取人ノ姓名ヲ記スレハ充分ナリ」右ニ述ヘタルカ如ク引受ヲ爲スニハ支拂人ニ於テ其姓名ヲ署シ且ツ支拂承諾ノ旨ヲ記載スルヲ以テ通常トナセトモ商業上ノ慣習ニ依リ成ルヘク手數ヲ省略シ唯支拂人ノ姓名ヲ記載スルノミニテ法律上有効ナル引受ト見做サル、モノトス故ニ尙モ支拂人タル位置ニ在ル者カ手形ノ何レノ部分ナルヲ問ハス其姓名ヲ記

載スルトキハ即チ引受ヲ爲シタルコト、ナルヘシ例ヘハ甲者カ乙者ヲ支拂人トシテ手形ヲ振出シタル場合ニ於テ乙者ハ其手形ニ記載スルニ支拂承諾ノ旨ヲ以テシタレトモ自己ノ姓名ハ之ヲ記載セサルトキハ縱令支拂承諾ノ旨ヲ記載シタル者ハ乙者ナリト云フ證明アルモ裁判所ハ之ヲ有効ナル引受トハ爲サ、ルヘシ即或訴訟事件ニ於テ斯ノ如キ引受ハ無効ナルモノト判決セリ

前ニ述ヘタル條例第十七條第二項第二ノ規定ハ余カ爲替手形ノ定義ヲ下スニ當リテ述ヘタル如ク爲替手形ナルモノハ金錢ヲ支拂フヘキ指圖ナルヲ要シ他ノ勞働ノ指圖或ハ物件ノ引渡ヲ指圖スルモノナルヘカラスト云フ規則ニ該當スルモノニシテ振出人ノ指圖ニ從ヒ金錢ヲ支拂フヘキ引受ナラサルヘカラスルコトヲ定メタルモノナリ本邦條例ノ規定亦之ニ同シ

右ニ述ヘタルカ如ク引受ナルモノハ必ス文章ヲ以テセサルヘカラス即チ之ヲ手形ニ記載セサルヘカラスシテ口頭ノ引受ハ無効ナリトス是現行法ノ定ムル所ナリ然レトモ往時ニ溯リ英國法ヲ探究スルニ普通法ハ縱令口頭ノ引受ト雖モ有効ナルモノトセリ又現今合衆國中二三ノ州ニ於テハ英國ノ古代法律ニ從ヒ此制度

ヲ實行スル所アリ左レトモ手形ノ支拂ヲ確實ニスルヲ以テ其目的トナサハ口頭ノ引受ヲ許サ、ルヲ穩當ナリト云ハサルヘカラス倍一度手形ニ記名シ又ハ承諾ノ旨ヲ記載シ以テ引受ヲ爲ストキハ其後ニ至リ之ヲ取消シ得ルヤ否ヤト云フコト佛國法律ニ依レハ之ヲ取消シ得サルナリ之ニ反シ英國法律ニ於テハ其手形ヲ他人ニ交付スルマテハ之ヲ取消スコトヲ得ルモノトス換言セハ手形ニシテ引受人ノ手裡ニ存在スル間ハ一度記載シタル引受ト雖モ自由ニ取消スコトヲ得ヘキナリ

次ニ條例第十八條ニ依リ引受ノ期限ニ關シテ講述スヘシ同條ニ曰ク左ノ場合ニ於テモ手形ノ引受ヲ爲スコトヲ得

一、振出人ノ記名スル前又ハ他ノ要件ニ付キ手形ノ完備セサルトキ

二、支拂期限到達ノ後又ハ一度引受若クハ支拂ヲ拒マレタル後

抑モ通常ノ手續ニ依レハ先ツ振出人ニ於テ手形ノ要件ヲ具備シタル完全ノ手形ヲ振出シ然ル後支拂人カ其指圖ニ從ヒ之ヲ引受クルモノトス而シテ其引受ケラレタル手形ヲ以テ所持人ハ請求次第或ハ支拂期限ニ至リ金錢支拂ヲ請求ス然レ

トモ往々變則ノ行ハル、コトアリ例ヘハ振出人ニ於テ其粗忽ノ爲メ已レノ姓名ヲ記入スルコトヲ遺忘シ或ハ金額ヲ記載スルコトヲ遺忘シテ其結果手形ノ未ダ完全ナル能ハサルコトアリ換言スレハ全ク無効ノ手形ニハアラサレトモ又全ク有効ノ手形ニモアラサレナリ此場合ニ於テ支拂人ハ引受ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤハ一ノ疑問ナリトス之ヲ英國法ニ照スニ斯ル不完全ノ手形ト雖モ尙ホ引受ヲ爲スコトヲ得ヘシ其理由ノ來ル所ハ凡ソ証書ヲ作爲スルニ無効ノモノヲ作ルモノアラサルヘク又証書ハ成ルヘク有効ニ之ヲ解釋セサルカラス况ンヤ商業上頻繁ニ使用スル手形ノ如キニ至テハ縱令引受カ手形完備以前ニアルモ之ヲ無効トスルヲ得サルノ點ニアリ又第二項ノ規定ニ至テハ茲ニ之ヲ講述スルモ諸君ハ了解ニ苦シマル、ヤ測リ難シト雖トモ先ツ其大体ヲ講述スヘシ尙ホ後回拒絶ノ章ニ至テハ充分ニ了解セラル、ナラン

第二項ノ規定申請期限ノ到達シタル後ニ於ケル引受ノコトハ茲ニ之ヲ説明セサルモ明瞭ナリトス例ヘハ二月十五日ニ於テ支拂ヲ爲スヘキ手形ヲ同月二十日ニ至リ引受ヲ爲ス場合即チ是ナリ此場合ニハ既ニ支拂人カ支拂ノ期日ヲ違ハシ

メタルヲ以テ振出人ノ指圖ニ違背シタルヤ無論ナリ然レトモ斯ル引受ハ之ヲ無効トスルヨリハ寧ロ之ヲ有効トスルヲ以テ商業上ノ取引ノ爲メ利益アリトス次ニ支拂人カ一度引受ヲ拒ミタル後ニ於テ更ニ引受ケタル場合ニハ其引受ハ有効ナリ即チ右ノ例ニ付テ云ハ、手形所持人ハ支拂人ニ對シ二月十五日前ニ於テ引受ヲ請求セシガ支拂人ハ之ヲ拒ミタリ所持人ハ其儘手形ヲ所持シ同月二十日ニ至リ之カ引受ヲ請求シタルニ支拂人ハ異議ナク之ニ應ジテ其引受ヲ爲シタル場合はナリ又支拂ヲ拒ミタル後ニ於ケル引受ノ例ヲ擧ケンニ請求次第支拂フヘキ手形又ハ一覽次第支拂フヘキ手形ノ所持人カ其手形ヲ支拂人ニ示シテ支拂ヲ請求シタリ然ルニ支拂人ハ之ニ應セサルヲ以テ其儘該手形ノ轉帳融通シタル後最後ノ所持人ハ再ヒ支拂人ノ所ニ其手形ヲ持參シテ之カ引受ヲ請求シタルニ其時ハ異議ナク之ニ應ジ引受ヲナシタル場合即チ是ナリ上來講述シタルハ引受ノ期日如何ニ依リ其有効及無効ニ關スル規定ノ概畧ナリトス然ルニ通常支拂人ニ於テ手形面ニ引受ノ旨ヲ記載シタル場合ニ於テ其引受ノ年月日ヲ記入セサル場合ニハ其引受ノ時日ハ如何ニシテ解釋スルヤト云ハ、此場合ニ於テハ右ニ述ヘタル條

例第十八條ノ規定ニ拘ハラヌ手形支拂期限ノ到達前ニ引受ケタルモノト見做スモノナリ何トナレハ支拂期限前ニ支拂ヲ請求スルハ一般ノ手續ナルカ故ニ本條ノ規定ノ如キハ例外ニ屬スルヤ明カナリ從テ反證ナキ以上ハ之ニ依ルヲ得サレハナリ引受ノ効力ニ關スル概畧ノ講述ハ茲ニ之ヲ結了シ是ヨリ引受ノ種類ニ就キ講述スル所ヲラントス

引受ハ大体之ヲ區別シテ二種トス一般ノ引受(General acceptance)及特別ノ引受(Special acceptance)是ナリ一般ノ引受トハ即チ振出人ノ指圖ニ從ヒ引受ヲ爲スヲ云フ是レ普通ノ場合ナリ之ニ反シテ特別ノ引受トハ支拂人カ異議ヲ主張シ振出人ノ指圖ノ如ク引受ケスシテ或條件ヲ附シ以テ引受クルヲ云フ斯ノ如ク條件ヲ附着セシムル特別引受ニ付テハ或國ノ法律ハ之ヲ許サス然ルニ英國法其他二三ノ國ノ法律ハ之ヲ許セリ特別引受ヲ許サ、ル法律ノ理由トスル所ハ元來手形振出ニ付テ條件ヲ附スルコトヲ許サ、ルカ故ニ其引受ニ付テ若シ之ヲ許ストキハ或ハ支拂ヲ不確實ニスルノ恐レアルヲ以テナリ又特別引受ヲ許ス所ノ法律ノ理由トスル所ハ手形ヲ振出ストキノ契約ト支拂人カ之ヲ引受クルトキノ契約トハ各々

別種ノモノニシテ二個獨立ノモノナリ而シテ手形ニ條件ヲ附スルヲ許サ、ルハ即チ振出ノ時ニ於ケル契約ニ限リ之ト全ク相異ナル所ノ契約タル引受ニ付テハ條件ヲ附スルヲ許サスト云フニアラス故ニ引受ハ有條件タルヲ得ヘシト云フニアリ英國ニ於テハ普通法以來商業上ノ慣習ヲ認メテ條件附ノ引受ヲ許セリ

第一 條件引受 (Conditional acceptance)

第二 一部引受 (Partial acceptance)

第三 變地引受 (Local acceptance)

第四 變期引受 (Acceptance Qualified as to the time)

第五 對手ヲ減スル引受

第一、條件引受 條件引受トハ即チ引受ト云フ一種ノ契約ニ附着セシムルニ契約法ノ所謂條件ヲ以テスルモノヲ云フ例ヘハ前ニ述ヘタル例ニ於テ二月十五日ニ支拂フヘシトノ指圖アル手形ニ付キ支拂人ハ二月ノ十五日ニ於テ支拂フコトヲ得サレトモ若シ亞米利加ヨリ飛脚船到達スルアラハ其日ニ之ヲ拂フヘシ或ハ若

シ所持人ニ於テ某ノ約束手形ヲ交付スルナラハ其時ニ支拂フヘシト云フカ如キハ即チ條件引受ナリトス尙ホ其詳細ハ契約法ニ於ケル條件ノ篇ヲ參考セハ明瞭ナルヘシ

第二、一部引受 一部引受トハ支拂金額ニ制限ヲ設クル引受ヲ云フ例ヘハ手形面ニ於テハ金百圓ヲ支拂フヘキ指圖アリトセンニ支拂人ハ之ニ對シテ金五拾圓ヲ支拂フコトヲ承諾スル旨ヲ記載スル場合即チ是ナリ

第三、變地引受 元來手形ナルモノハ一般ニ支拂人ニ宛ツルカ故ニ支拂人ノ住居ノ場所ハ何レニ存在スルヲ問ハス何レノ所ニ至ルモ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘシ即チ場所ヲ擇ハサルナリ然ルニ茲ニ東京ニ於テ本店ヲ有シ西京及大坂ニ其支店ヲ有スル所ノ支拂人アリテ手形ヲ引受クルニ當リ大阪ノ支店ニテ支拂フヘシト特ニ場所ニ關スル制限ヲ設クル場合アリ是即チ變地引受ナリトス

第四、變期引受 變期引受トハ支拂ノ期限ヲ變シタル引受ヲ云フ此引受ハ別ニ例解ノ勞ヲ取ラサルモ諸君ハ充分其何タルヤヲ了解セラルヘシ

第五、對手ヲ減スル引受 先回ニ於テ講述シタルカ如ク手形ヲ作爲スルニ當リテ

ハ數人連帶ノ支拂人ヲ指名スルコトヲ得例ヘハ甲者カ手形ヲ振出シ乙丙丁ノ三人ヲ以テ連帶支拂人トナスコトヲ得ヘシ此場合ニ於テ戊ナル手形所持人ハ右三名ノ引受ヲ得ントシタルコ乙丙兩人ハ引受ヲ拒ミ丁者獨リ之ヲ引受ケタリトセシカ是即チ對手ヲ減スル引受ナリトス

上來講述シタル特別引受ノ種類ハ條例第十九條ニ規定セラル諸君參考アレ元來特別引受即チ制限引受ナルモノハ右ニ述ヘタルカ如ク或點ニ於テ振出人ノ指圖ヲ變更スルモノナリ然ルニ手形ノ受取人ハ如何ナル意思ヲ以テ手形ヲ受取リ之ヲ融通スルヤト云フニ即チ振出人カ振出シタル當時ニ於ケルカ如ク其手形ハ無條件ニシテ其指圖ニ從ヒ引受アリ又支拂アルモノト思惟シテ之ヲ輾轉スルニ外ナラス既ニ斯ノ如キ意思ヲ以テ手形ヲ輾轉スルコモ拘ハラズ之ヲ變更セラレトキハ如何ナル結果ヲ生スヘキカ思フニ結約當時ノ意思ニ反スルモノニアラスヤ結約當時ノ意思ニ反スルノ事項ヲ以テ結約對手ヲ檢束スルハ法律ノ許サレル所ナリ況ンヤ手形ノ振出ト其引受トハ別種獨立ノ契約ナル以上ハ支拂人カ一般ノ引受ヲ爲ス場合ハ格別尙モ制限アル引受ヲ爲ス場合ニ於テハ其引受ヲ受

クルト否トハ一ニ手形所持人ノ擇フ所ニアリトス換言セハ所持人ハ制限引受ヲ拒ムノ權アリ

第九回

第九項 引渡 (Delivery)

手形ノ引渡トハ一人ヨリ他人ニ對シ實際若クハ解釋上手形ノ占有權ヲ移轉スルヲ云フ抑モ手形ナルモノハ單ニ之ヲ作爲シタルノミニシテ其効力ヲ有スルモノナルヤ否又ハ之カ引渡ヲ爲サレハ未タ効力ヲ生セサルモノナルヤ否ヤ是今日リ講述セントスル所ノ問題ナリ

英吉利法律ノ判決録ヲ繙キ之ヲ閱スルニ茲ニ甲者アリ乙者ニ對シテ百圓ノ負債アルカ故ニ之ヲ償却センカ爲メ乙者ニ宛テ、金額百圓ノ手形ヲ認メタリ然ルニ甲者ハ未タ之ヲ交付セスシテ死亡シ其遺族ハ甲ノ筐中ニ於テ之ヲ發見セリ幾クモ無クシテ其手形ハ乙者ノ占有ニ歸シタルヲ以テ乙者ハ裁判所ニ出訴シ手形面ノ金額百圓ノ支拂ヲ請求シタリ此場合ニ於テ果シテ原告ノ申立ハ其満足ヲ得ルヤ否ヤト云フニ當該判事ハ原告ノ請求ヲ排斥セリ又丙者ナル手形所持人カ手形

ニ裏書シ丁者ヲ讓受人トシテ之ヲ戊ナル代人ニ送附シ丁者ニ送ルヘキコトヲ命シタルニ戊ハ其手形ヲ送附スルニ先チ丁者ニ手紙ヲ送リテ斯々ノ手形カ自己ノ手裡ニ存在スルコトヲ通知シタリ然ルニ丙者ハ其思考ヲ變シタルニヨリ其手形ヲ戊者ヨリ取戻シタル所丁者ハ戊者ニ對シテ其手形ノ引渡ヲ請求セリ此場合ニ於テ裁判所ハ亦其請求ヲ採用セシテ丁者ノ取訴トナレリ

以上ニ掲タル二個ノ判決ニ關スル理由ヲ考察スルトキハ手形ナルモノハ之カ引渡ヲ待テ始メテ其効力ヲ生シ振出人裏書人若クハ引受人ノ手裡ニ存在スル間ハ未ク手形タルノ効力ヲ有セサルモノナルコトヲ知ルヘシ而シテ現行條例第二十一條ハ實ニ此原則ヲ規定シタルモノナリ則チ其第一項ニ曰ク振出人又ハ引受人若クハ裏書人ニ於テ券面ノ約束ヲ有効ナラシメンカ爲メ其証券ヲ引渡スマテハ其約束ハ不完全ニシテ且ツ取消シ得ヘキモノトス但シ券面ニ引受ノ記入ヲ爲シタル後支拂人ヨリ手形ノ所有權ヲ有スル者又ハ其指圖人コ引受ヲ爲シタルコトヲ通知シタルトキハ縱令手形ノ引渡ナキモ其引受ハ完全ニシテ且取消シ得ヘカラサルモノナリト蓋此但書タルヤ獨リ引受ノミニ關スル規定ニシテ裏書并ニ振

出ノ場合ニハ之ヲ適用スヘカラス然ルニ振出裏書又ハ引受ハ皆一個ノ約束ナルヤ更ニ疑フヘカラサルナリ夫レ然ラハ如何ナル理由ニ基因シ獨リ引受ニ付テ斯ノ如キ規定ヲ爲シタルヤ毫モ了解スヘカラス唯英國商業上ノ慣習ニ基キタリト云フノ外ナシ尙ホ茲ニ諸君ノ參考トナルヘキ二三ノ判決例アルカ故ニ是ヨリ之ヲ講述セントス

丙者アリ一ノ手形ヲ丁者ニ讓渡スノ意思ヲ以テ之ニ裏書シ且書狀ニ封入シテ其店ノ郵便函ニ投セリ然ルニ丙者ノ番頭竊カニ盜奪シテ他人ニ融通シタル場合ニ於テハ其手形ノ所有權ハ裏書人タル丙者ニ在リヤ又ハ其番頭ニ在リヤ或ハ丁者ニ在リヤト云フニ之ヲ右條例第二十一條第一項ニ照セハ其所有權ハ丙者ニ在リト云ハサルヘカラス何トナレハ番頭ハ既ニ竊盜罪ヲ犯シタルモノナレハ之ニ所有權ノ移轉セサルヤ論ヲ俟タヌ又丁者ハ縱令手形面ニ於テハ讓受人トセラルレトモ丙者ハ未ダ曾テ之カ占有ヲ實際上(Actually)又ハ解釋上(Constructively)引渡シタルコトナキヲ以テ丁者ハ未ダ其所有權ヲ得タルモノニアラサレハナリ實際上ノ引渡トハ實際感知スルヲ得ヘキ引渡ヲ云ヒ解釋上ノ引渡トハ實際一手ヨリ一

手ニ受取ルニアラスシテ法律上引渡アリタルモノト解釋スルモノヲ云フ是等ノコトハ既ニ諸君カ財産法ノ講義ニ於テ知ラレタルナルヘシト雖モ尙ホ簡略ナル例ヲ擧ケテ之ヲ説明セシメ例ヘハ甲者カ乙者ニ時計ヲ賣渡スニ當リ其時計自体ヲ引渡スニ是則チ實際ノ引渡ナリ然ルニ之ニ反シテ甲者ハ其時計ヲ乙者ノ代理人ニ引渡シ實際乙者ニ引渡サ、ル場合ニ於テハ是實際ノ引渡ニアラスシテ則チ解釋上ノ引渡ナリトス蓋代理人ニ交付スルトキハ本人ニ交付シタルニ同シト云フ原則ハ手形ノ場合ニモ亦適用セラル、モノナリ、

又右ニ述ヘタル所ノ條例第廿一條第二項ニ曰ク直接對手及正當所持人外ノ間接對手ニ對シテ手形ノ引渡チ有効ナラシメシメハ(一)振出又ハ引受若クハ裏書ヲ爲シタル對手ノ委任ヲ以テ引渡チ爲シタルヲ要ス(二)條件ヲ附シ又ハ特別ナル目的ヲ以テ引渡チ爲シタルモノニシテ手形ノ所有權ヲ移轉スルカ爲メニ引渡チ爲シタルコトヲサレコトヲ證明スルヲ得ヘシ然レトモ正當所持人ニ於テ手形ヲ占有スルトキハ其人ニ先チテ手形ノ對手トナリタル者ヨリ其引渡ノ正否ヲ爭フコトヲ得ス必ス券面ノ責任ヲ受クルノ義務アル者ト確認スヘシト夫レ此規定ノ意義

タルヤ之ヲ了解スルニ困難ナルヘシト雖モ先ツ手形ノ正當所持人(Holder in due Course)ノ何タルヤヲ概畧説明セサルヲ得ス則チ正當所持人トハ手形ノ所有權ヲ得ルニ付テ約報ヲ供給シ且其手形ニハ條件并ニ不正ノ事項ノ附著セラル、旨ノ通知ヲ受ケサリシ者ヲ云フ又直接對手(Immediate party)トハ先回ノ講義ニ於テ述ヘタル如ク直接ニ取引ヲ爲シタル者ヲ稱ス例ヘハ振出人ノ受取人ニ於ケルカ如キ裏書人ノ讓受人ニ於ケルカ如キ振出人ノ引受人ニ於ケルカ如キ即チ是ナリ何トナレハ是等ノ人ノ間ニ成立スル所ノ約束ハ直接ニ對手雙方ヲ檢束スルモノニシテ即チ是等ノ人ハ直接ニ權利ヲ享有シ且義務ヲ負擔スルモノナレハナリ例ヘハ甲者ニ於テ手形ヲ振出シ乙者ヲ以テ引受人即チ支拂人トナシ丙者ヲ以テ受取人トナス場合アリトセンニ受取人タル丙者ハ其手形ニ裏書シテ之ヲ丁者ニ讓渡シ丁者ハ之ヲ戊者ニ裏書スルトキハ甲者及丙者、丙者及丁者、丁者及戊者ハ各々直接對手ナリトス而シテ若シ支拂人タル乙者ニシテ引受ヲ爲ストキハ甲者及乙者ハ亦直接對手トナルヘシ之ニ反シテ甲者ト丁者トハ間接ノ對手(Remote party)ナリトス丙者及戊者甲者及戊者亦同シ然ラハ何ヲ以テ間接對手ト稱スルヤト云フニ必

スヤ其對手ノ間ニ一名又ハ二名ノ對手ノ介入スルアリ其約束モ又決シテ直接ナルモノニアラスシテ概テ互ニ其容貌ヲモ知悉セサルモノナレハナリ而シテ直接對手ト間接對手トハ其權利義務ニ付キ大ナル差異アルモノナレハ此點ハ常ニ記憶セサルヘカラサルナリ尙ホ其詳細ニ至テハ之ヲ後章ノ講述ニ讓ルコト、ナシ是ヨリ前述ノ條文ニ付キ説明スヘシ

凡ソ爲替手形ニ付テ直接ニ取引シタル者ハ互ニ面晤シテ充分相談ヲ爲シタルモノナレハ或ハ其約束ニ關シテ特別ノ約項ヲ設ケ或ハ條件ヲ附スルコトナキニアラス又其事實ノ證明ニ至テモ實ニ容易ナルヤ明カナリ之ニ反シテ間接ノ對手トナリ多額ノ約報ヲ供給シ加之其手形ハ決シテ強竊盜ノ手ヲ經タルコトナク又條件ノ附着セルモノニアラスト正意ヲ以テ信用シテ其所有權ヲ得タル所ノ正當所持人タル者ハ其手形ノ最初ノ取引ニ關係シタルニアラサルヤ論ヲ俟タス元來手形ノ融通ヲ自由ナラシメンニハ勉メテ之ニ條件ヲ附着セシメサルニアリ則チ現今ニ於テ吾人カ紙幣ヲ融通スルニ當リ決シテ條件ノ附着シ來ルモノアラサルナリ左レトモ直接ニ之ヲ授受スル者ノ間ニ在テハ或ハ條件ヲ附着セシメテ之ヲ引渡

スコトナシトセス例ヘハ甲者アリ其子乙者ニ若干ノ紙幣ヲ與ヘテ曰ク之ヲ以テ學校ノ教科書ヲ購求スヘシト然ルニ乙者ハ其金員ヲ以テ書籍ヲ購ハスシテ之ヲ遊興ノ費用ニ供シタリトセハ甲者及乙者ノ間ニ於テハ違約ノ行爲トナリ乙者ハ其金額ヲ甲者ニ返辨セサルヘカラスト雖モ一タヒ他人ノ手裡ニ歸スル以上ハ決シテ條件ハ附着セサルモノトス手形モ亦斯ノ如キ作用ヲ爲サ、ルヘカラスト即チ右ニ述ヘタル紙幣ノ場合ト同シク其手形ニシテ直接ノ對手ノ手裡ニ存在スル間ハ尙クモ違約ノ行爲アル以上ハ何時ニテモ之ヲ取戻スヲ得ヘシ又其手形ニシテ第三者ニ輾轉スルトキハ其直接對手ニ對シテ其取戻又ハ損害要價ノ訴ヲ起スヲ得ヘキナリ此理由ニ基キ直接對手間ニ於テハ手形ヲ引渡シタル時ノ條件又ハ約束ニ從ヒ其履行ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ直接ノ對手間ニ於テハ法律ハ單ニ手形面ノ約束ノミナラス其他ノ約束ヲモ尙ホ履行スヘキコトヲ責ムルモノトス之ニ反シテ間接對手間ニ在テハ單ニ手形面ノ約束ノ履行ヲ責ムルノミニシテ勉メテ正當所持人ノ權利ヲ保護ス蓋其目的ハ手形ノ流通ヲシテ自由ナラシムルニアリ而シテ前述セル第二項ノ規定ハ畢竟此精神ニ出テタルニ外ナラサルナリ



則チ直接對手間ニ於テ手形ニ効力ヲ有セシムル所ノ引渡ハ必ス其引渡ヲ思惟セ  
 ル手形所持人ノ爲シタルモノナラサルヘカラス苟クモ其意思ナクシテ誤ツテ引  
 渡ヲ爲シタル場合又ハ盜奪ニ係ルノ場合ニ於テハ其引渡ハ有効タルヲ得ス是第  
 二項第一ニ規定スル所ナリ今其例ヲ擧ケンニ例ヘハ丙者カ手形ヲ丁者ニ讓渡サ  
 ント欲シテ之ニ裏書ヲ爲セシカ未タ之ヲ引渡サスシテ丙者ハ死亡セリ然ルニ其  
 後丙者ノ管財人タル戊者ハ其手形ヲ丁者ニ引渡シタル場合ニ於テハ其引渡ハ有  
 効ナルヲ得サルナリ何トナレハ其引渡タルヤ戊者ナル管財人一己ノ意見ニ出テ  
 タルニ過キスシテ死亡セル丙者ノ意思コアラヌ又其命令ニ出テタルニアラサレ  
 ハナリ而シテ盜奪ニ係ル場合ノ引渡ノ無効ナルコトハ特ニ例解ヲ待タスシテ明  
 瞭ナルヘシ

右第二項第二ハ直接ノ對手ニ限り手形ノ引渡ヲシテ有條件ナラシムルコトヲ得  
 ヘシト規定シタルモノナリ例ヘハ甲者乙者ニ手形ヲ引渡シテ曰ク此手形ハ汝ノ  
 所有スル所ノ時計ヲ引渡シタル時ニ其効力ヲ生スヘシト此場合ニ於テハ乙者ハ  
 實際其手形ヲ占有スレトモ乙者ニ於テ其時計ヲ甲者ニ引渡スマテハ法律上未ダ

手形タルノ効力ヲ生セサルモノトス何トナレハ未タ其條件ヲ充サ、ルモノナレ  
 ハナリ又同項但書ニ付テハ前ニ述ヘタル正當所持人ニ關スル説明ニ依リ其要領  
 ナ了解スルコトヲ得ヘシ終ニ臨ンテ一言スヘキハ本項引渡ノ事タルヤ他ノ章ニ  
 關係ヲ有シ頗ル錯雜セルモノナルカ故ニ後回ノ講義ニ於テ正當所持人及其他ノ  
 對手ニ關スル講述ヲ俟テ始メテ明晰ナルニ至ルヘシ

第十回

第十項 不完全手形 (Inchoate bills)

不完全手形ハ現行爲替手形條例第二十條ノ規定スル所ナリ其條文頗ル長キヲ以  
 テ茲ニ唯其要領ヲ述ヘントス而シテ本邦ノ條例ニ於テハ此種ノ手形ニ關スル規  
 定ナキカ故ニ之ヲ參照スルヲ得ス僭不完全手形トハ其名稱ヲ一見シテ明カナル  
 カ如ク上來講述シタル所ノ各項ノ要素ヲ欠キタル手形ヲ云フ例ヘハ金額ノ記入  
 ナキカ如キ或ハ振出人ノ姓名又ハ支拂人ノ姓名ヲ記載セサルカ如キハ各々手形  
 ノ要素ヲ欠キタルモノニシテ即チ不完全手形ナリトス

振出人引受人又ハ裏書人カ此種ノ手形ニ其姓名ヲ記入シ且之ニ印紙ヲ貼用シタ

ルモ未タ金額及日附ノ記入ナキ所ノ不完全ナル手形ヲ引渡シタル場合ニ於テハ法律ハ之ヲ有効ナラシメズト雖モ又全ク無効トナスニアラス然ラハ斯ノ如キ手形ハ如何ナル効力アリヤト云フニ法律ハ振出人引受人等ニ於テ其手形ノ引渡ヲ受ケタル者ニ對シ不完全ノ部分ヲ補充スル所ノ代理權ヲ附與シタルモノト推測ス然レトモ此推測ハ完結ノモノニアラスシテ一應ノ推測 (Prima facie presumption) ニ過キサルナリ今極メテ簡畧ナル例ヲ擧ケ以テ上來講述セル所ノモノヲ明カナラシメシニ例ハ振出人カ手形ニ金額ノ記入ヲ爲サスシテ唯百圓ノ價格ニ相當ナル印紙ヲ貼用シ之ヲ受取人ニ引渡シタル場合ニ於テハ振出人及受取人ノ間ニ特別ノ約束ナケレハ其受取人ハ該手形面ニ金百圓ト記入シテ之ヲ融通スルコトヲ得ヘシ又金額ノ記入アルモ受取人ノ姓名ノ記載アラサル場合モ亦同シ茲ニ又少シク異ナリタル例アリ則チ乙者ナル引受人ハ甲者ニ對シテ千圓ノ負債アルヲ以テ之ヲ返濟センカ爲メ手形ヲ作爲シ千圓ニ相當スル印紙ヲ貼用シ且之ニ引受ノ旨ヲ記載シテ甲者ニ引渡シタリトセハ甲者ハ自ラ振出人トシテ其姓名ヲ記入シ且金千圓ノ記入ヲ爲シ以テ之ヲ流通スルヲ得ヘシ夫レ通常ノ場合ニ於テハ先

ッ振出人カ其姓名ヲ署シ然ル後ニ引受人ニ於テ其姓名ヲ署スルト雖モ此場合ハ其反對ニ出テ先ッ引受人カ記名シタル後ニ於テ振出人カ記名シタルナリ然レトモ敢テ手形タルヲ妨ケサルモノトス而シテ現今本邦ニ在テ斯ノ如キ變例ヲ認容スルヤ否ヤ未タ其判決例ナキカ故ニ之ヲ斷言スルヲ得サルナリ茲ニ注意スヘキハ縱令不完全ノ手形ナルモ必ス振出人引受人若クハ裏書人ノ記名アルヲ要シ且之ニ印紙ヲ貼用セサルヘカラサルノ制限アルコト是ナリ抑モ此制限タルヤ千八百八十二年ノ頒布ニ係ル現行條例ニ於テ始メテ規定セラレタルモノナリ即チ此條例頒布以前ハ決シテ斯ル制限ナカリシカ此條例以來不完全手形ハ必ス右ノ二要素ヲ具備セサルヘカラサルコトナレリ前ニ述ヘタルカ如キ不完全手形ノ代理權ニ關スル一應ノ推測ハ單ニ手形ノ直接對手間ニ適用セラル、ノミニシテ若シ其手形カ正當所持人ニ轉轉スルトキハ確定ノ推測トナルモノトス例ハ甲者金額ノ記入ナキ手形ヲ乙者ナル受取人ニ引渡シ且約スラリ余カ後刻ニ於テ金額ヲ記入スル迄之ヲ融通スヘカスト然ルニ乙者ハ其約束ヲ破リ金額百圓ノ記入ヲ爲シ有報酬ニテ丁者ニ之ヲ引渡シタリ其後事發

覺シタルカ故ニ甲者ハ乙者ニ對シテ手形取戻ノ訴訟ヲ起シタリシカ乙者ハ手形  
 ノ既ニ丁者ニ轉シタル旨ヲ以テ抗辨セリ故ニ甲者ハ亦丁者ヲ參加人トシテ起  
 訴シタル場合ニ於テハ甲者及乙者ハ則チ直接對手ニシテ其約束ヲ爲シタルモノ  
 ナルカ故ニ甲者ノ勝訴トナルヘシト雖モ丁者ハ其約束ヲ知ラス加之金員ヲ拂フ  
 テ其手形ヲ讓受ケタルモノナリ則チ間接ノ對手ニシテ善意ノ所持人ナルカ故ニ  
 參加被告タルノ義務ヲ負擔スルコトナシ夫レ然リ然ラハ法律ハ一方ニ於テ一應  
 ノ推測ヲ下シ一方ニ於テ確定ノ推測ヲ下スノ規則ハ頗ル明瞭ナルヘシ倍又本項  
 ニ於テ講述スル所ノ手形ハ不完全ノモノナルカ故ニ最初ヨリ手形タルノ効力ナ  
 キコト論ヲ俟タス然ラハ何時ヨリ其効力ヲ得ルヤト云フニ則チ其手形カ方式上  
 完全トナリタル時始メテ其効力ヲ生スルモノトス又其完全トナルハ手形ニ必要  
 ノ諸件ヲ記入スルトキニアリ決シテ手形ヲ引渡シタル人カ其姓名ヲ記入シ又ハ  
 印紙ヲ貼用シタル時ニハアラサルナリ則チ前例ニ於テ甲者カ乙者ニ對シ手形ノ  
 引渡ヲ爲スニ先チ其姓名ヲ記入シ又印紙ヲ貼用シタルヤ明カナリ然レトモ此  
 時ハ未ダ手形タルノ効力ナクシテ乙者カ之ニ金額ノ記入ヲ爲シタルトキ始メテ

其効力ヲ生スルナリ

### 第十一項 手形ノ種類

抑モ手形ニハ數種類アリト雖モ大体之ヲ區別シテ國內手形(Inland bills)及國外手  
 形(Foreign bills)ノ二種トナスコトヲ得ヘク又之ヲ普通手形及組振出手形ノ二種ト  
 ナスコトヲ得ヘシ國內手形トハ振出人支拂人共ニ同國內ニ在ル場合ヲ稱ス例ヘ  
 ハ甲者東京ニ居リ手形ヲ振出シ大坂ノ乙者ヲ以テ支拂人ト爲ス場合ヲ云フ之ニ  
 反スル場合ハ總テ國外手形ナリトス例ヘハ在横濱ノ甲者カ手形ヲ振出シ在紐育  
 ノ丙者ヲ以テ支拂人トスル所ノ手形則チ是ナリ此二種ノ區別タルヤ唯對手住居  
 ノ場所ノ差異ニ基因スルモノナレトモ法律ノ規定ニ至テハ二者ノ間多少ノ差異  
 ナキニアラス後章ノ講義ヲ待テ其詳細ヲ知ルヲ得ヘシ儲吾人カ通常流通スルモ  
 ノハ概チ國內手形ナリ又手形ニ支拂地ヲ記載セサルトキハ法律上之ヲ國內手形  
 ト見做スモノトス尤モ是一應ノ推測クルニ過キサレナリ  
 組振出手形トハ本邦爲替手形約束手形條例第三條ニ規定スルモノヲ云フ曰ク爲  
 替手形ハ一ノ爲替ニ付キ同文ノ手形二通又ハ三通ヲ振出スコトヲ得此場合ニ於

テハ各通ニ番號ヲ附シ内一通ニ對シ支拂ヲ爲シタルトキハ他ノ各通ハ無効タル  
 ヘキコトヲ記載スヘシト則チ手形ナルモノハ百圓ノ金額ニ付二葉又ハ三葉ヲ振  
 出スコトヲ得ヘキモノニシテ斯ノ如キ手形ハ國外手形ノ場合ニ尤モ多ク用ヒラ  
 ル、モノトス蓋斯ノ如キ慣習ノ起リタルハ遠隔ノ地ニ手形ヲ送致スル場合ニハ  
 盜難紛失又ハ火災ニ罹ルノ患アルヲ以テ數通ノ手形ヲ振出セハ其内ノ一葉ハ必  
 ス受取人ノ手裡ニ達スヘキカ故ナリ而シテ本邦ノ條例ニ從ヘハ右ニ述ヘタルカ  
 如ク其數通ノ内一通ヲ支拂フトキハ他ノ各通ハ無効タルヘキ旨ヲ記載セサルヘ  
 カラス然レトモ英米二國ノ法律ニ在テハ必スシモ斯ノ如キ記載ヲ爲スヲ要セサ  
 ルナリ是我法律ト異ナル點ナリトス

英米ノ法律既ニ右ノ如シ故ニ振出人ニ於テ三通ノ組爲替手形ヲ受取人ニ引渡シ  
 タル場合ニ於テ其受取人カ之ヲ裏書シテ他人ニ流通スルニ當リ其三通ヲ悉ク引  
 渡ストキハ論ナキモ若シ其一通ヲ或者ニ裏書シテ他ノ一通ヲ他ノ者ニ裏書スルト  
 キハ其受取人ハ各通ニ對シテ責任ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ振出人ハ唯其  
 一通ニ對シテ責任アルノミ支拂人モ亦同シ唯其三通又ハ三通ヲ引受クルトキハ

其各通ニ對シテ責任アルノミ左レトモ是例外ノ場合ニ屬シ普通ノ場合ハ單ニ一  
 通ニ對シテ支拂ヲ爲スヲ以テ足レリトス

第十一項 保證

英國ノ現行爲替手形條例ハ手形ニ關スル保證ニ付キ一モ規定スル所ナシ之ニ反  
 シテ本邦條例ニ於テハ其第一章第五節即チ第十七條乃至第十九條ニ保證ノコト  
 ナ規定セリ其第十七條ニ曰ク振出人裏書人及支拂人ハ他人ヲシテ手形ノ支拂ヲ  
 保證セシムルコトヲ得保證人ハ其保證ノ旨ヲ手形又ハ別紙ニ記載スヘシト

抑モ英米ノ流通證書法ヲ講述スルニ當リ其兩國ノ法律ニ規定セラレスシテ本邦  
 ノ法律ニ規定セラル、事項ハ之ヲ述フルニ及ハサルカ如シト雖モ諸君ノ參考ニ  
 供スル爲メ且我邦人トシテハ之レ亦知ラサルヘカラサルモノナルカ故ニ本項ニ  
 於テ保證ノ講述ヲ爲シタルナリ其大體ハ左ニ掲グル所ノ書式ニ依リ之ヲ知ルヘ  
 シ余ハ第一回ノ講義ヨリ今回ニ至ル迄ニ先ツ爲替手形ニ關スル方式ノ概畧ヲ  
 講了シタリ依テ是ヨリ手形ヨリ生スル對手ノ權利義務手形流通ノ手續手形ノ引  
 受支拂及出訴期限等ニ關マテ逐次講述スヘキ順序ナレトモ之ヲ來年度ニ讓ルコ

ト、ナ、茲ニ手形ノ方式ニ關スル諸君ノ了解ヲ容易ナラシメンカ爲メ二十餘通ノ雛形ヲ示サントス

第壹號 爲替手形書式 (條例第二條)

明治十六年一月二十九日大藏省告示

堅四寸八分

表

金、  
、  
、  
圓

番號	支拂人	受取人	日附	期限

爲替手形

「受取人氏名」  
何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印

「振出人氏名」  
何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印

「印紙」  
一金、  
、  
、  
圓也  
右金額  
何年何月何日  
何某殿又ハ同人指圖人ハ此手形引換ニ御支拂可  
被成候也  
御一覽次第  
御一覽後幾日

年月日

面

本文金額ノ下ニ西洋數字ヲ以テ更ニ其金額ヲ複記スルモ妨ナシ尤モ數字ハ字々密接ニ認メ改竄ノ弊ヲ防クニ注意スヘシ

第二號 同

(條例第三條)

表

番號

爲替手形 組之一

「印紙」  
一金、  
、  
、  
圓也  
右金額何年何月何日何某殿又ハ同人指圖人ハ此手形引換ニ御支拂可被成候也  
但此手形御支拂之上ハ(組之二組之三)ハ無効タルヘキ事

年月日

何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某殿

何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印

「支拂人氏名」  
何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某殿

「振出人氏名」  
何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印

面

此手形若シ組ノ二ナルトキハ但書ニ組之一二三云々ト記シ組ノ三ナルトキハ但書ニ組之一二云々ト記スヘシ

流通證書法

第三號 裏書ノ書式 (條例第十四條)

裏  
表面之金額何某殿又ハ同人指圖  
人ハ御支拂可被成候也

買受人又ハ讓受人ノ氏名

何府何郡何村何番地  
何 某印

賣渡人又ハ讓渡人氏名

面

第四號 裏書補箋ノ様式 (條例第十六條)

裏書

裏書ノ書式ハ本紙ノ裏面ニ  
同シ  
補箋ヲ附シタル者ノ印

本紙

實印 補箋

第五號 別紙保證ノ書式 (條例第十七條)

番號 爲替手形  
印紙

一金、〃、〃、〃、圓也  
右金額何年何月何日何某殿又ハ同人指圖人ハ此手形引換ニ  
御支拂可被成候也

年月日

何府何郡何村何番地  
何縣何區何村何番地

右ニ騰寫スル本手形ノ金額何某殿ニ於テ若シ支拂無之節ハ拙  
者ニ於テ無相違支拂可申候也

何府何郡何村何番地  
何縣何區何村何番地

年月日

保證人氏名  
何府何郡何村何某地  
何縣何區何村何某地

保證ノ旨ヲ手形面ニ記載スルトキハ其保證ヲ受クル者ノ氏名ノ  
次ニ左ノ如ク記載スヘシ

右何某保證人  
何府何郡何村何某地  
何縣何區何村何某地  
何 某 印

流通證書法



第八號 拒ミ証書ノ書式(條例第三十二條)

九〇

本手形之金額(此ニ拒却ノ事由ヲ記スヘシ)拙者ニ於テ(引受支拂)ノ請求ニ應シ難ク候也

年月日 何 某 印  
「支拂人ノ氏名

第九號 條例第三十三條始末書(支拂人拒ミ証書ヲ作ルコトヲ肯セサル時ノ文例)

別紙爲替手形(規定期限内ニ於テ引受期日ニ至リ支拂)ヲ請求セシニ支拂人何某ニ於テ之ヲ拒ミ且ツ拒ミ証書ヲ作ルコトヲ肯セサルニ付條例第三十三條ニ據リ此ニ其始末ヲ自記致候也

何府何郡何町何番地  
何縣何區何村何番地  
何 某 印

年月日 前書之趣相違無之候也  
「手形所持人氏名

年月日 郡區役所若クハ戶長役場証印

第十號 同(支拂人住所分明ナラサル時ノ文例)

別紙爲替手形(引受支拂)請求ノ爲メ本手形ニ指示シタル支拂人何某住所町村何番地ニ差越候所住所不分明ニ付條例第卅三條ニ據リ此ニ其始末ヲ自記致候也

何府何郡何町何番地  
何縣何區何村何番地  
何 某 印  
「手形所持人氏名

年月日 前書之趣相違無之候也

年月日 郡區役所若クハ戶長役場証印



第十一號 同 (支拂人不在ナル時ノ文例)

別紙爲替手形(引受)支拂)請求ノ爲メ支拂人何某方へ差越候處同人不在ニテ代理人無之ニ付條例第三十三條ニ據リ此ニ其始末自記致候也

年月日

何府何郡何町何番地

何某印

○手形所持人氏名

前書之趣相違無之候也

年月日

郡區役所若クハ戸長役場證印

第十二號

(約束手形書式(條例第四十三條)寸方爲替手形ニ同シ)

金、、、圓

番號	受取人	期限	日附

割印

番號

約束手形

印紙

一金、、、圓也

右金額何年何月何日貴殿又ハ貴殿ノ指圖人へ此手形引換ニ無相違支拂可申候也

年月日

何府何郡何町何番地

何縣何區何村何番地

何府何郡何町何番地

何縣何區何村何番地

印

振出人氏名

受取人氏名

流通證書法

約束手形ニ關スル裏書同補箋保證領収拒ミ證書始末書等ノ書式ハ總テ爲替手形ノ文例ニ準スヘシ  
右第一號ヨリ第十二號ニ至ル書式ハ吾邦現行條例ニ付キ大藏省ヨリ發シタル告示ニ係ルモノナリ  
今左ニ尙現今ノ吾邦實業者間ニ行ハル、所ノ二三ノ雛形ヲ示サントス

第十三號 手形面一覽濟記載ノ書式

番 號	爲替手形
印紙	
一金、、、、圓也	
年月日	何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某殿
何年何月何日一覽濟	何某印

第十四號 振出人ノ爲メ手形面ニ保證ノ書式

番 號	爲替手形
印紙	
一金、、、、圓也	
年月日	何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印
右何某保證人	何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某印
何府何郡何町何番地 何縣何區何村何番地 何某殿	

流通證書法

第十五號 裏書人ノ爲メ手形裏面ニ保證ノ書式

裏		面	
御支拂可被成候也			
表面ノ金額何某殿又ハ同人指圖人ハ			
年月日			
何府何郡何町何番地 何區何村何番地 何某		右何某保證人	
印		印	

第十六號 支拂人ノ爲メ手形面ニ保證ノ書式

表		面	
一金、〃、〃、圓也			
印紙			
番號			
割印			
年月日			
何府何郡何町何番地 何區何村何番地 何某		右何某保證人	
印		印	
何年何月何日一覽濟			
本文ノ金額支拂ノ儀引受候也			
年月日			
何府何郡何町何番地 何區何村何番地 何某		右何某保證人	
印		印	

第十七號一 組振出手形

九八

爲替券

一金千圓也

此第一號爲替券(第二及第三號仕拂未濟ナレハ)御一覽後四ヶ月目ニ前記金千圓丙殿又ハ其差圖人ニ御仕拂可被下候右金額ハ當方ニ於テ正ニ領収仕候間御通知申上候通リ貴殿ノ御勘定ニ夫々御記入可被下候也

明治廿年一月十五日

甲

上海日本町

乙殿

第十七號二 同

爲替券

一金千圓也

此第二號爲替券(第一及第三號仕拂未濟ナレハ)御一覽後四ヶ月目ニ前記金千圓丙殿又ハ其差圖人ニ御仕拂可被下候右金額ハ當方ニ於テ正ニ領収仕候間御通知申上候通リ貴殿ノ御勘定ニ夫々御記入可被下候也

明治廿年一月十五日

甲

上海日本町

乙殿

第十七號三 同

爲替券

一金一千圓也

此第三號爲替券(第一及第二號仕拂未濟ナレハ)御一覽後四ヶ月月ニ前記金一千圓也丙殿又ハ其差圖人ニ御支拂可被下候右金額ハ當方ニ於テ正ニ領收仕候間御通知申上候通リ貴殿ノ御勘定ニ夫々御記入可被下候也

明治二十年一月十五日

甲

上海日本町

乙殿

第十八號

第 號

金 年 月 日

明 治

期限	期日	受取人	名宛人

第 號

爲替手形

一金、、、圓也

右金額、、、、丙殿又ハ同人指圖人ニ此手形引換ニ御支拂可被成候也

明治 年 月 日

甲

乙殿

流通證書法

第十九號

金

番號	支拂人	受取人	日附	期日

第 號

荷爲替手形

一金、、、圓也

右金額、、、丙殿ヨリ正ニ受取候ニ付來ル 月

日丙殿又ハ其指圖人若クハ持參人ハ此手形引換ニ御

仕拂可被成候也

年 月 日

乙 殿

本文仕拂之儀引受申候也

年 月 日

乙

甲

裏書スルトキ

ハ「表面ノ金

額、、、又

ハ全 指圖人

ハ御仕拂可被

成候也

年 月 日

ト本證書ノ裏

面ニ記載スヘ

1011

第二十號

小切手		明治 年 月
高金	先渡	

當座小切手

渡先

金、、、圓也

右金、、、圓也丙殿又  
ハ其名指人又ハ此切手持  
參ノ人ハ引換ニ御拂渡有  
之度候也

明治 年

月 日 甲

乙銀行御中

流通證書法

第二十一號

第 號	金 第 號	明治 年 月 日
期限	仕拂期日	受取人

第 號

約束手形

一金、、、圓也

右金額、、、貴殿  
又ハ貴殿ノ指圖人ハ此手形引  
換ニ無相違仕拂可申候也

明治 年 月 日

甲

乙殿

1013

50  
三五

第二十二號

番號	姓名
金額	職業
月日	住所

第 號

約束手形

一金、〆、圓也

右金額正ニ預申候貴殿又ハ貴殿指圖人へ此手形引換ニ御拂渡可申候也

明治 年 月 日 甲

乙 殿

第十一回

今回ノ講義ニ入ルニ先ク一言諸君ニ注意スヘキコトアリ客臘余ハ諸君ニ手形ノ雛形ヲ示スコトヲ約シ第一章ノ終ニ於テ之ヲ掲載シタルカ故ニ諸君ハ十分ニ該雛形ヲ熟覽セラレシコトヲ請フ其雛形ノ第一號ヨリ第十二號ニ至ル迄ハ我邦ノ現行法ニ於テ規定シタルモノナレハ吾人カ手形ヲ振出スニ當リテハ之ニ依ラサルヘカラサルナリ然レトモ該雛形ハ布達ヲ以テ達セラレタルモノニアラスシテ單ニ大藏省ノ告示ニ止マルモノナレハ其書式ノ如キ悉ク之ニ準據セサルヘカラサルニアラサルナリ概シテ商業者間ニ於テハ取引ノ簡便ナルヲ貴フカ故ニ常ニ簡畧ナル書式ヲ用ユル者多シトス即チ第十三號以下第十九號ニ至ル雛形ハ吾邦實業者間ニ行ハル、モノニ係ル斯ノ如ク雛形ヲ記載スルハ甚ク必要ナラサルカ如シト雖モ諸君カ本回ヨリノ講義ニ於テ手形面ノ對手、其能力及權限、手形ノ融通、手形面ノ對手ノ權利義務等ヲ研究セラル、ニ當テ流通証書ノ實物ノ何タルヲ十分ニ承知セラレサルニ於テハ諸君カ如何ニ權利義務ニ通セラル、モ流通証書ニ於ケル實際ノ活用ヲ理解スルコト能ハサルナリ是レ余カ諸君ニ手形ノ雛形ヲ

熟覽セラレシコトヲ希望スル所以ナリ

## 第二章 能力及權限 (Capacity and Authority)

### 第一項 對手ノ能力

對手ノ能力ノ何モノタルカハ諸君カ既ニ契約法ノ講義ニ於テ充分ニ研究セラレタル所ナルヘシ此點ニ關スル流通證書法ノ原則ハ總テ契約法ニ於ケル能力ノ規則ト同一ナリトス又權限ノコトハ元來代理法ニ於テ論述スヘキモノニシテ手形ノ場合ニモ其原則ノ基ヲ所ハ毫モ代理法ノ規則ニ異ナル所ナキナリ故ニ本章ニ於テハ能力及權限ニ關スル大理原則ハ姑ク之ヲ置キ流通證書ニ於テ特ニ注意スヘキ諸件ヲ講述セントス然レトモ講義ノ順序トシテ先ツ能力權限ノ何モノタルヤニ付キ一言スヘシ

能力トハ法律上自己ニ責任ヲ生セシムル所ノ契約ヲ締結スヘキ權力ヲ云フ之ニ反シテ權限トハ他人ニ責任ヲ生セシムル所ノ行爲ヲ爲スノ權力ヲ云フ即チ能力トハ人カ自己ノ爲メニ法律上或行爲又ハ取引ヲ爲スノ權力ヲ有スルノ謂ニシテ此權力ヲ有セサル者ハ即チ無能力者ナリ然ルニ權限トハ人カ他人ヨリ附與セラ

ル、所ノ權力ノ謂ニシテ之ヲ代理法ニテ云ハ、代人カ本人ヨリ附與セラレタル權限ニ從ヒ或行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ代人自身ハ責任ヲ負擔セサルモ權限ヲ附與シタル本人ニ責任ヲ生スルノ性質アルモノナリ故ニ今權限ト能力トノ大體ノ區別ヲ云ハ、能力トハ法律ノ附與スル所ノモノナレトモ權限ハ原則上一私人カ他人ニ附與スルモノナリ從テ若シ能力ノ欠乏スル場合即チ無能力者ノ場合ニ於テハ如何ナル手段ヲ盡スモ之ヲ能力者トナスコトヲ得ス強テ之ヲ能力者トナサント欲セハ其法律ヲ變更セサルヘカラサルニ至ランノミ之ニ反シテ權限ナルモノハ之ヲ附與スル一私人ノ意思ニ屬スルカ故ニ其一私人ノ意思ノ變更ニ依リ隨意ニ無權限ヲ轉シテ有權限トナスコトヲ得ヘシ代理法ニ於ケル追認ノ如キ即チ是ナリ又訴訟上ニ於ケル右二者ノ區別ヲ云ハ、能力ノ有無ノ問題ハ法律上ノ問題 (Question of Law) ナリト雖モ權限ノ有無ノ問題ハ事實上ノ問題 (Question of Fact) トス

右ハ權限ト能力トノ大體ノ區別ナリ是ヨリ能力ニ關シテ詳述スル所アラントスレバ何人カ流通證書ヲ振出ス能力ヲ有スルヤ是本章ニ於テ講述スヘキ所ノ肝要ナ



ル問題ナリトス凡ソ契約ヲ締結スルコトヲ得ル能力ヲ有スル者ハ亦爲替手形及  
 其他ノ手形ヲ振出スノ能力ヲ有スルコトハ條例第二十二條ノ規定スル所ナリ又  
 何人カ爲替手形ヲ移轉シ之ヲ流通シ及之ヲ賣買スルノ能力ヲ有スルヤト云フニ  
 總テ動産物(Personal Property)ヲ賣買移轉スル能力ヲ有スル者ハ亦此能力アリトス  
 何トナレハ流通證書ト雖モ亦一種ノ動産物タルニ外ナラサレハナリ右ニ述ヘタ  
 ルカ如ク爲替手形ヲ振出スノ能力アル者ハ結約能力ヲ有スル者ニ限ルカ故ニ無  
 能力者ハ勿論手形振出ノ能力ヲ有セサルナリ則チ幼者ノ如キハ幼者救護條例  
 (Infants' Relief Act) 頒布以後ニ於テハ全ク契約ヲ締結スルノ能力ヲ失シタルヲ以  
 テ條例第二十二條ニ依リ爲替手形ヲ振出シ流通シ又ハ之ヲ引受シルコトヲ禁セ  
 ラレタリ然ルニ茲ニ一言スヘキハ手形ノ振出流通并ニ引受ヨリ生スル責任ヲ負  
 担スルコト、之ヲ流通シ之ヲ振出シ及之ヲ移轉スルコト、ハ全ク別問題タルコ  
 ト是ナリ例ヘハ甲カ乙ナル未丁年者ヲ受取人トシテ一通ノ手形ヲ振出シタル場  
 合ニ於テ乙ハ其手形ニ裏書シテ之ヲ丙ニ移轉シタリ而シテ丙ハ丁ナル支拂人ニ  
 對シ支拂ヲ請求シタルニ之ヲ拒絕セラレタルニ依リ更ニ乙ニ對シテ支拂請求ノ

訴訟ヲ起シタルニ裁判所ハ乙者ハ支拂ノ義務ナシト判決セリ茲ヲ以テ丙者ハ更  
 ニ振出人ナル甲者ニ對シテ支拂ヲ請求シタリシカ裁判所ハ甲者ハ支拂ノ義務ア  
 リト判決セリ則チ此場合ニ於テ法律ハ未丁年者タル乙者カ丙者ニ對シテ爲シタ  
 ル裏書ヲ認メテ之ヲ有効視スルモノナリ換言セハ幼者ト雖モ手形ノ所有權ヲ移  
 轉スルコトヲ得ヘシ然レトモ之ヨリ生スル所ノ責任ヲ負担スルコトヲ得サルナ  
 リ  
 會社モ亦條例第廿二條第二項ニ依リ手形ヲ振出スノ能力ヲ有セス然レトモ條例  
 ナ以テ特ニ此能力ヲ附與スル場合ハ例外ニ屬スルモノニシテ諸君ハ既ニ之ヲ會  
 社法ニ於テ研究セラレタルヘシ而シテ茲ニ一言スヘキコトハ約束手形ノ一種タ  
 ル銀行紙幣濫出ノ効果是ナリ若シ夫レ銀行ニシテ無限ニ斯ノ如キ約束手形ヲ發  
 行スルコトヲ得ルトセハ十萬圓ノ資本金ヲ有スル銀行ニシテ百萬圓ノ金額ニ對  
 スル約束手形ヲ振出スコトナキヲ保セス從テ爲替準備金ヲ備ヘスシテ資本不相  
 當ノ振出方ヲナスニ至ルヘシ果シテ斯ノ如クナラハ商業上ノ取引ハ誠ニ危險ニ  
 シテ爲メニ商業上ノ恐慌ヲ惹起スルコト屢々ナルニ至ルヤ疑フヘカラサルナリ

是レ會社就中銀行等ニ付キ手形振出能力ニ制限ヲ設クル所以ナリ此事タルヤ少シク法律講義ノ範圍外ニ渉ルノ嫌ナキニアラサレトモ之ヲ注意スルコトハ實ニ肝要ナリトス

既婚婦ハ英國ノ古代法ニ依レハ全ク流通證書ヲ振出スル能力ヲ有セザリシ者ナリ然ルニ現今ニ於テハ既婚婦カ特有產(Separate property)ヲ所有スルトキハ其金額ニ對シテハ自ラ責任ヲ負擔スルコトヲ得ルニ至レリ而シテ契約法ノ規定ト同シク夫カ重罪ノ刑又ハ追放ノ刑ヲ受ケ或ハ外國ヨリ歸來セサル場合ニ於テハ既婚婦ト雖モ一般ニ手形ヲ振出スル能力アリトス又瘋癲人或ハ醉在人ノ如キハ手形ヲ振出スル能力ヲ具有スレトモ其手形面ノ契約ハ取消シ得ヘキ性質ノモノナルコトモ亦契約法ノ規定ニ異ナル所アラサルナリ或ハ幼者ト雖モ必要品ニ就テハ手形ヲ振出スコトヲ得ヘシト謂フト雖モ現行法律ハ決シテ之ヲ許サ、ルナリ即チ幼者ハ爲替手形ニ關スル取引ニ就テハ更ニ責任ヲ負擔セサルモノト謂フ可シ蓋此規定ハ幼者救護條例ニ依リ幼者ヲ保護スルノ精神ニ出テタルナリ又或國ノ法律ニ於テハ手形振出ノ能力ニ付キ商人及非商人ノ間ニ區別ヲ設ケタレトモ英國

ノ法律ニ於テハ其區別アラサルカ故ニ此點モ亦注意スヘキモノナリ前段ニ於テ幼者ハ手形面ノ責任ヲ負擔スルコトヲ得サレトモ手形ノ所有權ヲ移轉スルヲ得ヘキ旨ヲ講述シタルカ此原則ハ亦一般ノ會社ニモ適用スルコトヲ得ヘシ然ラハ如何ナル理由ニ依リテ幼者及會社ハ手形ノ責任ヲ負擔セサルモ之ヲ移轉スルノ能力ヲ有スルヤト云フニ是即チ流通證書ノ融通ヲ自由ナラシメンカ爲メナリ若シ夫レ此場合ニ於テ全ク其取引ヲ無効トスルトキハ手形ニシテ一度幼者又ハ他ノ無能力者ノ手裡ヲ經過シ來レハ其後ハ恰モ假造紙幣ヲ所持スルト同シク其所持人ハ非常ニ迷惑セサルヲ得サルヘク而シテ所持人ニ迷惑ヲ蒙ラシムルハ則チ手形ノ信用ヲシテ薄弱ナラシムルモノナリ手形ノ信用ヲ薄弱ナラシムルハ則チ手形ノ流通ヲ不自由ニスルノ結果ヲ來スヘシ

## 第十二回

### 第二項 對手ノ權限

對手ノ權限如何ハ條例第二十五條ノ規定スル所ナリ諸君ハ既ニ代理法ノ講義ニ於テ代人カ本人ニ代リ流通證書ヲ作爲スル場合ニ於テハ如何ナル方式ニ依テ之

ヲ作為スヘキヤ又其規定ニ從テ作為シタル所ノ流通證書ヨリ發生スル所ノ權利義務如何ナルモノナルヤノ大体ヲ研究セラレタルヘシ而シテ法律ナルモノハ何レノ部分ニ至ルモ同一ナルモノナルカ故ニ流通證書法ニ於テモ亦權限ニ關スル大体ノ原則ハ代理法ノ規定ト同一ナリトス故ニ本項ニ於テハ其詳細ノコトヲ省略シ唯斯法ニ於テ特ニ注意ヲ要スヘキ諸點ニ就テ講述スル所アラントス

諸君ノ熟知セラル、如ク英國法律ニ於テハ證書ニ無式證書ト有式證書トノ二個ノ區別アリ有式證書ハ英語之ヲ「デード」(Deeds)ト云フ之ヲ除キ其他ノ證書類ハ濶合一括之ヲ無式證書ト稱ス英語ニ所謂(Informal instruments)ナルモノ即チ是ナリ而シテ書類ノ解釋並ニ其他契約法上ニ於ケル規定ニ就テモ右二種ノ證書ノ間大ニ差點アリトス今其最モ著シキモノヲ舉ケンニ有式證書ニ於テハ約因ヲ要セサレトモ無式證書ハ單純契約ニ屬スル故ニ約因ヲ要ス借流通証書ハ此二種ノ証書中何レニ屬スルヤト云ハ、先回ノ講義ニ於テ述ヘタルカ如ク無式證書ニ屬スルモノナリ即チ契約法ニテ云ハ、單純ノ契約ニ屬スルモノナリトス然レトモ流通証書ノ解釋法ニ至リテハ有式證書ト同シク極メテ嚴格ナルヲ要ス蓋無式證書ノ解

釋法ハ極メテ寛大ニシテ証書ノ全体ヨリ對手双方ノ意思ヲ探究スルヲ以テ主眼トナセトモ流通証書ハ有式證書ト同シク對手双方ノ意思ヨリハ寧ロ證書面ノ文字ノ意義ヲ主トシ其解釋ヲ下スヘキモノトス是流通証書ニ就キ注意ヲ要スヘキ第一點ナリ偕如何ナル理由ニ依リ證書ノ解釋ニ關スル規定ヲ本項ノ下ニ講述シタルヤト云フニ元來權限ニ就テ講述スヘキコトハ專ラ代人カ本人ニ代テ流通証書ヲ振出シ之ニ裏書シ又ハ之ヲ引受ケタル場合ノ權義如何ニアリ而シテ書類ノ書方ニ依リ本人又ハ代人ノ責任ヲ異ニスルモノナレハ書類ノ書方ノ如何ヲ知ルハ實ニ必要ナルヤ疑フヘカラス然ラハ之ヲ知ルハ何ニ依ルヘキヤト云ハ、則チ書類ノ解釋ニ依ラサルヘカラサルナリ

故ニ是ヨリ此解釋ニ關スル點ニ就テ講述センニ先ツ第一ニ肝要ナル規則ハ流通証書ニ於テハ手形面ニ記名シタル人カ其手形ニ對シテ責任ヲ負擔スルニアリ換言セハ實際如何ナル關係ノ成立スルヤヲ論セスシテ其手形ニ記名セサル者ハ責任ヲ負擔セサルモノトス例ヘハ甲及乙ノ間ニ本人ト代人ノ關係アル場合ニ於テ代人タル乙カ本人タル甲ノ爲ニ手形ヲ振出スニ方リ單ニ自己即チ乙ノ姓名ノミ

チ其手形ニ記載シタリトセンニ此場合ニ於テハ乙ハ事實代人ナリト雖モ流通證書法ニ於テハ本人甲チシテ其手形面ノ責任ヲ負ハシメス乙即チ署名人タル代人チシテ其責任ヲ負ハシムルナリ又此場合ニ於テ乙カ手形面ニ記載スルニ甲ノ代人乙カ其手形ヲ振出シタル旨ヲ以テスルモ尙ホ乙ハ其手形面ノ責任ヲ負擔セサルヘカラス即チ此場合ニ於テモ乙カ手形ヲ振出シタルモノト見做サル、ナリ又會社ノ頭取カ某會社頭取甲ト記名シタル手形ヲ振出ストキハ其責任ハ何人カ負擔スルヤト云フニ英國法律ニ從ヒハ此場合ニ於テ手形面ノ責任ヲ負擔スル者ハ其會社ニアラスシテ頭取甲ナリトス僭斯ノ如キ規定ハ本邦人ノ思考ニ反シテ實ニ奇怪ナルカ如シト雖モ此規定ハ英國古法以來現今ニ至ル迄襲踏セラレタルノミナラス元來流通證書ナルモノハ流通ノ自由ト責任ノ明確トヲ要スルカ故ニ證書面ニ顯然記名シタル者チシテ責任ヲ負擔セシムルノ精神ニ基キタルモノナリ蓋英國法律ニ於テハ何會社ノ社長又ハ何某ノ代人ト云フカ如キ肩書ハ日本ニ於ケル姓名ノ肩書ニ東京府士族ト記載スルト一般ナリト解釋スルヲ以テナリ

借代人カ其本人チシテ責任ヲ負ハシメシモノニハ如何ナル書式ニ從テ記名スルヲ要

スルヤト云ハ、其本人ノ姓名ヲ明カニ證書面ニ現ハシ代人ハ單ニ代人トシテ手形ニ記名シタルコトヲ記載セサルヘカラス本邦ノ法律ニ於テハ專ラ委任狀ヲ主トシテ未ダ證據法ノ完全セサルカ故ニ有式證書ト無式證書ノ間ニ採證上及解釋上ノ區別アラサルナリ故ニ委任狀ニ於テ甲ガ乙ニ代理權ヲ附與シタルコト明カナルトキハ手形面ノ署名ハ單ニ某甲ノ代人乙或ハ某會社頭取甲ト記スルヲ以テ足レリトス即チ本邦ノ法律ニ於テハ委任狀アル場合ニハ代人又ハ頭取ナル名稱ヲ以テ單純ナル肩書ト見做サル、ルナリ是英國法ノ本邦法律ニ異ナル所ノ一點ナリトス

手形ニ記名スルニ就テハ記名者ノ自筆ヲ以テスルヲ要スルヤト云フニ敢テ其必要ナク尙モ代理權ノ成立スルコト明カナル以上ハ代理人チシテ記名セシムルコトヲ得ヘシ則チ此規則ハ前述ノ規則ヲ寛大ナラシメタルカ如シト雖モ流通證書法ノ精神ヨリ云フトキハ決シテ前述ノ規則ニ反シタルモノニアラスシテ却テ同一ノ精神ヨリ出テタルモノナリ何トナレハ流通證書ナルモノハ最初ニ手形ヲ振出シタル者ト之ヲ受取ル者トノ二個ノ對手間ニ停滯スルモノニアラスシテ結約

當時ノ對手入ノ意思并ニ其情態ヲ知悉セサル所ノ數人又ハ數十人ノ對手間ニ流通スルモノナレハ政府カ發行スル紙幣ト同シク其證書面ノミヲ以テ責任ヲ負擔スル者ヲ定メサルヲ得ス是即チ手形面ニ記名シタル者ヲシテ責任ヲ負擔セシムルヲ以テ足レリトスルノ理由ニシテ且又其姓名ハ必スシモ本人自身カ記載スルヲ要セサル所以ナリ

前ニ述ヘタルカ如ク流通證書ナルモノハ無式證書ニシテ專ラ或ハ殆ント商業上ニ用ヘラル、モノナリ即チ之ヲ振出シ之ニ裏書シ及之ヲ引受クルモノハ十中八九ハ商人ナリトス然ルニ商人カ取引ヲ爲スニ方リテハ自己ノ姓名ヲ以テスルヨリハ寧ロ其店ノ屋號(例ヘハ越後屋大丸ト云フカ如シ)或ハ其商標ヲ用ユルヲ常トス例ヘハ糸平、兎屋或ハ國益ノ親玉ト云フトキハ世人ハ問ハスシテ何人ノ屋號ナルカ又ハ綽名ナルカヲ知悉スルヲ以テ前ニ述ヘタル所ノ記名者ヲシテ手形面ノ責任ヲ負擔セシムルト云フ窮屈ナル規定アルニ拘ハラズ手形面ノ姓名ハ縱令實名ナラサルモ其人ヲ知ルニ足ルヘキ符號ナルヲ以テ充分ナリトス是亦商業者ノ便利ヲ計ルノ精神ニ出テタルナリ又代理法ノ規定ニ依レハ代人カ本人ニ代テ有

式證書ヲ作爲スヘキ代理權ヲ享有セシニハ有式ノ委任狀ヲ以テ其權限ヲ附與セラル、ヲ要ス然レトモ流通證書ナルモノハ余カ屢々講述シタルカ如ク無式證書ナルヲ以テ之ヲ作爲スヘキ權限ヲ他人ニ附與セシニハ敢テ其委任狀ノ有式タルヲ要セス口頭或ハ書類ヲ以テ委任スルヲ得ヘキモノナリ  
 講步茲ニ進ンテ諸君ノ注意スヘキ疑問アリ則チ乙カ甲ノ代人トシテ手形ニ甲ノ姓名ヲ署シ自己ハ代人トシテ記名シ之ヲ流通シタル場合ニ於テハ其解釋上ヨリ見レハ甲ナル本人ノ位地ニ在ル者カ責任ヲ負擔セサルヘカ、ラス然ルニ事實甲ハ乙ニ代理權ヲ附與シタルコトナシトセハ甲ハ其手形ニ對シテ責任ヲ負擔セサルハ勿論ナリト雖モ乙ハ責任ヲ負擔スヘキヤ否ヤ疑問ヲ生スヘシ然ルニ英國現行法ノ規定ニ依レハ此場合ニハ乙ハ敢テ責任ヲシトス蓋此規定ハ契約法ノ原則ニ基キタルモノナルヘシ何トナレハ既ニ代人カ本人ノ姓名ヲ現ハシ第三者ト取引シタル以上ハ第三者ハ當然其本人ヲ信用シテ取引シタルモノト云ハサルヘカラズ從テ其代人ハ結約當時ノ對手ニアラサルナリ結約對手ニアラサルモノハ手形面ノ契約ニ就キ責任ヲ負擔スルノ理由ナキヤ明カナレハナリ然レトモ此規則ハ

契約法ノ原則ヨリ出テタル已ムヲ得サルノ規定ニ過キヌシテ縱令乙ナル代人ハ手形面ノ責任ヲ負ハサレトモ事實本人ニアラサル甲ヲ本人ナリト虚構シタル詐欺ノ罪ヲ犯シタル者ナリ而シテ若シ乙ニ惡意ナシトセハ人ヲ欺キタル民事上ノ責任即チ詐欺ノ責任アリトス既ニ民事上ノ詐欺ヲ行フタル以上ハ乙ハ之ニ對スル損害賠償ノ責任ヲ免ル、ヲ得ス故ニ諸君カ流通證書法ヲ研究セラル、ニ方リテモ亦契約法ヲ研究セラル、場合ト同シク同一取引同一契約ニ就テ其取引又ハ契約ヨリ發生スル權利義務ト私犯ヨリ發生スル權利義務トハ劃然之ヲ區別セサルヘカラサルナリ

終リニ臨ンテ講述スヘキハ組合ハ手形ヲ振出ス權アリヤ否ヤノ問題ナリトス抑モ組合員ナル者ハ代理法ノ規定ニ依リ相互ニ本人代人タルノ權利義務ヲ有スルカ故ニ各組合員ハ總テ其組合營業ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事柄ヲ實行シ他ノ組合員ニ責任ヲ負擔セシムルヲ得ヘシ從テ流通證書ヲ振出シ之ニ裏書シ又ハ之ヲ引受クルコト、雖モ若シ其組合營業ノ目的ニ適合スルトキハ各組合員ハ之ヲ振出シ又ハ裏書スル等ノ代理權ヲ享有スルモノトス然レトモ營業ニハ金錢ヲ儲

クルモノト金錢ヲ取扱フモノトノ二種アリ換言セハ商賣ヲ以テ主眼トスル組合ト製造工藝ヲ主トスル組合トノ二種アリ例ヘハ銀行、問屋、又ハ藥種屋ノ如キ營業ハ之ヲ商賣ト云フヲ得レトモ摩附木又ハ紙ヲ製造スルヲ以テ主トスル營業ノ如キハ之ヲ商賣ト云フヲ得サルナリ此二種ノ區別ニ依リ手形振出ノ權限ノ有無ヲ生シ營業ノ目的上金錢ノ貸借ヲ必要トスル銀行又ハ問屋ノ如キハ其社員ニ於テ流通證書ヲ振出シ之ニ裏書シ及之ヲ引受クルノ權アリト雖モ之ニ反シテ摩附木製造會社製糸會社又ハ鑛山會社ノ社員ハ其會社ヨリ特別ノ委任ナキ以上ハ手形振出ノ代理權ナキモノトス換言スレハ反證ナキ以上ハ一應ノ推測ハ此代理權ナキモノト見做サル、ナリ尙ホ其詳細ノコトハ組合法ニ譲リ茲ニ之ヲ贅セス

### 第十三回

#### 第三章 約報 (Consideration)

余ハ先回ノ講義ニ於テ手形面ニ約報ノ存在ヲ記載スルコトノ必要ナルヤ否ヤノ點即チ方式ニ關シテ約報ノコトヲ講述シタリ故ニ本章ニ於テ亦約報ノコトヲ講述スルハ或ハ重複ニ渉ルモノ、如シト雖モ本章ニ於テハ流通證書法ニ於ケル所

謂約報トハ如何ナルモノヲ云フヤノ點即チ約報ノ本性ニ就テ講述ス所アラントス

抑モ流通證書法ニ於ケル所謂約報ナルモノハ契約法上ノ約報トハ別種ノモノナルカ如シト雖モ敢テ然ラサルナリ何トナレハ流通證書ニ關スル取引ト雖モ亦一種ノ契約ニ過キサレナリ以テ之ニ必要ナル約報モ亦通常ノ契約ト同一ナルヘケレハナリ即チ現行條例第廿七條第一項ニ曰ク流通證書法ニ於ケル有價約報ハ通常ノ單純契約ニ必要ナル約報ヲ以テ足レリトス

借單純契約ニ必要ナル約報ハ權利者ノ損失又ハ不利益或ハ義務者ノ便宜又ハ利益ナルコトハ契約法ノ講義ニ依テ明カナルヘシ故ニ爲約者ヨリ金錢又ハ物品ヲ附與スルコトハ勿論契約ノ對手人ニアラサル第三者ヨリ相手ノ借受シタル金圓ヲ償却スルコト或ハ出訴期限ノ既ニ經過シタル貸金若クハ爭訟中ニ於ケル未ダ權利ノ確定セサル所ノ訴權ノ如キハ總テ有價約報トス其他約報ノ多寡及其適當ト否トチ問ハサルノ點ニ至テハ悉ク契約法ノ規定ト同一ナリ故ニ拾圓ノ價格アル物品ヲ與ヘ金額百圓ノ手形ト換フルモ決シテ無効ニアラサルナリ然レトモ約

報ノ僅少ナル場合即チ壹圓ノ價格アル物品ニ換フルニ金額百圓ノ手形ヲ以テスルカ如キ場合ニ於テハ證據法上詐僞ノ推測ヲ下サル、ノ恐レナキニアラス其詳細ノ事ハ證據法ノ講義ニ屬スルヲ以テ茲ニ贅セス

右ニ述ヘタル如ク流通證書法ノ所謂約報ナルモノハ契約法上ノ約報ト同一ナルヲ以テ其原理大則ニ至テハ別ニ茲ニ之ヲ講述スルノ必要ナキカ故ニ余ハ本章ニ於テハ爲替手形ニ關シ約報ニ就キ特ニ注意スヘキ點ノミヲ講述スヘシ

抑モ流通證書法ニ於テハ手形ノ所持人即チ手形ノ所有權ヲ得タル者カ其所有權ヲ得ルニ當リ之ニ約報ヲ附與シタルト否トニ付所持人ノ權利義務ニ大ナル差異ヲ生スルモノトス其差異ノ詳細ハ之ヲ後章ノ講義ニ讓ルコト、シ兎ニ角此二者間ニ權利義務ノ差異アル以上ハ如何ナル者カ約報ヲ與ヘタル所持人ト見做サル、ヤチ知ルモ亦實ニ肝要ナルヘシ現行條例第二十七條第二項ニ依レハ手形所持人ハ手形ノ所有權ヲ得ルニ方リ必ス之カ約報ヲ附與セサルヘカラサルニアラス即チ約報ヲ附與スヘキ期限ハ法律之ヲ規定セサルヲ以テ何時ニテモ一度約報ヲ舊所持人ニ附與スルトキハ自己ノ後ニ來ル所ノ手形ノ對手人即チ自己ヨリ後ニ

手形ヲ融通シタル人及引受人ニ對シテハ約報ヲ附與シタル所持人ト云フ名稱ヲ附セラルヘシ例ヘハ乙カ丙ヨリ百圓ノ金額ヲ借受ケ之ヲ償却センカ爲メ乙ハ甲ニ托シテ甲者ノ名義ヲ以テ手形ヲ振出サシメ乙ヲ支拂人トナシ丙ニ其手形ヲ交付シタリトセンニ此場合ニ於テ丙カ其手形ヲ得ルニ方リ特ニ甲ニ交付スルニ約報ヲ以テシタルト否トナ問ハス丙者ハ約報ヲ附與シテ手形ノ所有權ヲ得タルノ對手ナリトス何トナレハ既ニ丙ハ乙者即チ支拂人ニ對シテ百圓ノ金額ヲ貸附シタレハナリ

若シ又甲カ手形ヲ振出シ乙ヲ支拂人即チ引受人トナシ丙ヲ受取人トナシタル場合ニ於テ丙ハ丁ヨリ百圓ノ金額ヲ受取リ其手形ヲ讓渡シタリ其後戊ナル者金錢ヲ仕拂ハスシテ丁ヨリ其手形ヲ讓受タリトセハ戊ハ如何ナル資格ヲ得ルヤト云フニ此場合ニ於テハ戊ハ丁ニ對シテハ約報ヲ與ヘサル對手ナリト雖モ丁ヲ除キ他ノ對手人ニ對シテハ約報ヲ與ヘタル對手ト見做サザルモノナリ何トナレハ手形所有權ノ移轉ヲ受クル者ハ亦通常動産物ノ所有權ノ移轉ヲ受クル者ト同シク前所有者ノ享有シタルヨリ大ナル權利ヲ讓受クルモノニアラス又之ヨリ少キ權

利ヲ讓受クルモノニアラスシテ全ク同一ノ權利ヲ讓受クルモノナレハ右ノ例ニ於テ丁ハ丙ニ百圓ノ金額ヲ附與シテ手形ヲ讓受ケタルモノニシテ則チ約報ヲ附與シタル所ノ對手ナリトス從テ有約報ノ對手ノ享有スヘキ權利ヲ得タルハ論ヲ俟タス而シテ此權利ヲ附與セラレタル戊ハ丁ト同一ノ權利即チ約報ヲ附與シテ所有權ヲ得タル對手ノ享有スルヤ明カナリ然レトモ戊カ丁ニ對シテ百圓ノ金額ヲ與ヘサリシコトハ雙方ノ知悉スル所ナレハ丁ノミニ對シテハ約報ヲ附與セサル對手ト見做サル、モノトス

次ニ實際約報ヲ附與セサルモ手形ヲ抵當ニ取り又ハ計算上手形ニ差止權ヲ有スル場合ニ於テハ其差止權ノ價格丈ハ約報ヲ附與シタルモノト見做サルヘシ此規則ハ之ヲ法理上ヨリ觀察スレハ實ニ理由ナキモノナリト雖モ銀行者問屋又ハ會社等ノ如ク互ニ繁劇ナル取引ヲ爲ス者ハ手形ニ對シテ此差止權ヲ享有セサルニ於テハ手形ノ融通ノ澁滯ヲ來スヘク從テ商業上ノ取引ハ圓滑ナラサルニ至ルヘキヲ以テ特ニ右ノ規定ヲ爲シタルモノナリトス

手形ニ對シテ最モ強固ナル權利ヲ享有スル者ハ正當所持人(Holder in due course)ナ



リトス正當所持人トハ如何ナル者ヲ指スカト云フニ現行條例第二十九條ハ左ノ要件ヲ具備スル者ヲ以テ正當所持人ナリト規定セリ

(第一)支拂期限前ニ手形ノ所有權ヲ得タルコト

(第二)引受ヲ拒絶セラレタル事實ヲ知ラスシテ手形ノ所有權ヲ得タルコト

(第三)約報ヲ附與シテ所有權ヲ得タルコト

(第四)其手形ハ詐欺又ハ錯誤ニ出テタルコト方式ノ欠乏スルコト或ハ代理權ナ

キ者ヨリ融通シタルモノナリト云フ如ク手形ノ所有權ニ瑕疵ヲ生スヘキ

事實ノ通知ヲ受ケスシテ其所有權ヲ得タルコト

此四要素ヲ摘言スレハ金錢ヲ附與シ善意ニ有効ナル手形ト思慮シテ手形ノ所有權ヲ得タル者ハ即チ正當所持人ナリトス其如何ナル強固ノ權利ヲ有スルヤノ點ハ後章對手ノ權利義務ヲ講述スルヲ待テ明カナルヘシ

又融通對手(Accommodation party)ナルモノアリ則チ總テ振出人、裏書人又ハ引受人ニシテ約報ヲ受ケス自己ノ名前ヲ手形面ニ記載シタル者はナリ蓋斯ル對手ノ生スルハ畢竟自己ノ姓名ニ對スル信用ヲ他人ニ貸與シ其人ノ爲メニ金圓ノ融通ヲ爲

スニ由ルモノトス例ヘハ戊ナル者金百圓ヲ要スレトモ之ヲ所有セサルヲ以テ甲ヨリ該金圓ヲ借受ケント欲シ之ヲ甲ニ請求シタルニ甲ハ現金ヲ以テ貸與スルコト能ハサルモ引受人又ハ振出人トシテ右金額ニ對スル手形ヲ振出スヘシト云ヒ自己ノ姓名ヲ手形ニ記載スルトキハ其手形ハ九十八圓若クハ九十九圓ノ價格ヲ以テ世上ニ融通セラルヘシ戊ニ於テハ實際甲ヨリ百圓ノ金額ヲ借受シタルト同一ノ効果ヲ見ルヘシ而シテ此場合ニ於テ戊ハ甲ヨリ一厘ヲモ借受ケタルニカラズ唯甲カ自己ノ姓名ヲ手形ニ記載シタルノミ然ルニ甲ノ姓名ハ世間ニ信用アルヲ以テ其手形ハ輾轉シテ戊ノ爲メニ百圓ノ金額ヲ得セシメタルモノナリ此甲ノ如キ者ヲ融通對手ト稱ス

融通對手及融通ヲ受ケタル人ノ間并ニ融通對手ト他ノ手形對手トノ間ニハ稍通常ノ場合ニ異ナル所ノ權利義務アルモノナレハ融通對手ノ如何ナルモノナルヤハ豫メ記憶セサルヘカラサルナリ

### 第十四回

前回ニ引續キ今回ハ手形ノ振出、裏書、引受等ニ付キ詐欺或ハ脅迫ノ手段ヲ用ヒタ

ル時又ハ之カ約因ノ不適法ナル時ニ於テハ手形上ノ取引ニ如何ナル影響ヲ及ホスヘキヤ若シ又影響ヲ及ホスヘキモノトセハ其影響ニ付キ直接對手間ト間接對手間トニ於テ如何ナル差異アルヤヲ講述スヘシ

先回ニ述ヘタル如ク手形ノ正當所持人ハ手形面ニ付テハ完全ナル權利ヲ有シ如何ナル事柄アルモ此正當所持人ニ對シテハ決シテ影響ヲ及ホスコトナキナリ即チ手形取引チナスニ當リ振出裏書引受等ニ付キ詐欺脅迫等ノコトアルモ一旦其手形ニシテ正當取持人ノ手裏ニ歸シタルトキハ決シテ他人ヨリ其權利ヲ害スルヲ得スシテ對手人ヨリ裁判所ニ起訴スルニ當テ之ヲ答辯ノ材料トナスヲ得ス故ニ其手形ハ最初振出或ハ裏書引受等チナスノ際ニ詐欺脅迫等ノ手段ニ據リタルモノナリトノ申立チナスモ其後ニ來ル所ノ正當所持人ノ權利獲得ノ事實ニ影響ヲ及ホスコトナシ斯ノ如ク正當所持人ハ完全無缺ナル權利ヲ有スルモノナレハ此正當所持人ヨリ手形ノ所有權ヲ得タル者ハ例令約報ナリ正當所持人ヨリ其手形ヲ貰受ケタルモ正當所持人ト同様ノ權利ヲ有スヘシ何トナレハ約報有無ノ問題ハ正當所持人ナル讓渡人ト前ノ裏書人トノ關係ニ屬シ一タヒ正當所持人ニ於テ

完全ナル所有權ヲ得タル以上ハ其完全ナル所有權ヲ貰受ケタル者ナルヲ以テ他人ハ之ヲ爭フヲ得サルナリ是レ即チ今日講述セントスル所ノ大体ナリ

是ヨリ講步ヲ進メ詳細ノ點ニ入ル前ニ一言スヘキハ前回ニ於テ手形面ニ約報ノ記載ハ必要ナリトノコトヲ述ヘタリシカ約報ノ記載チキハ法律ハ約報ヲ與ヘタルモノト推測スルヤ否ヤト云フニ此場合(條例第三十條第一項)ハ證據法上約報ヲ與ヘタルト一應推測スヘシ何トナレハ通例何人ト雖モ約報ナクシテ手形ヲ讓渡スコトナキヲ以テナリ去レトモ是レ一應ノ推測ニ過キサルヲ以テ反證ヲ舉ケテ抗辨スルヲ得ルモノナリトス今一ツハ通常手形ヲ所持スル者アルトキハ正當所持人トノ推測ヲ下スヤ又ハ反對ノ推測ヲ下スヤノコト是ナリ此場合ハ(條例第三十條第二項)總テ一般ノ解釋法ニヨリ一應ハ正當所持人ナリト推測スルナリ何トナレハ此手形ナルモノハ金員ヲ代表スル所ノモノニシテ紙幣ト異ナルナキナリ此金員ノ代表者タル手形ヲ所持スル者ハ必ス約報ヲ與ヘテ之ヲ得ルハ普通ニシテ約報ナク物品ヲ贈與スルハ極メテ變則ニ屬シ父カ其子ニ物品ヲ與ヘ男子カ其愛スル所ノ婦人ニ金員ヲ贈リタルカ如キ場合ニ外ナラスシテ且又他人ノ物

品ヲ盜取シテ所持スルノ如キハ最モ例外ナリトス故チ以テ一ノ取引アリタルトキハ正當ノ取引ナシタルモノト解釋スルハ當然ノコトナルヘシ然レトモ是レモ亦タ一應ノ推測ニ過キサルナリ今例ヲ以テ之ヲ示サハ乙ヨリ丙ニ約束手形ヲ讓渡シテ又丙ヨリ之ヲ丁ニ裏書シテ讓渡シタリ此際ニ丁ハ手形ノ所有權ヲ得タルヲ以テ乙ヲ訴ヘテ金員ノ要求ヲナシタルニ裁判所ニ於テ乙ノ手形ヲ丙ニ振出シタルハ博奕ニ敗チ取リタル爲メニ生シタル負債ニ對シテ振出シタルモノニシテ即チ約報ノ不法ナルコトヲ發見セリ此時ニ當リテハ丁ハ裁判所ニ向テ己レカ正當所持人ナルコトヲ證明スルノ義務アルモノニシテ此證明ヲナスニハ丁ハ丙ニ對シ約報ヲ與ヘタルコトヲ證明スレハ可ナルモノトス尙ホ例ヲ示サハ手形ノ所持人ヨリ手形ノ振出人ニ對シテ金員ノ要求ヲナシタリ然ルニ其手形曾テ融通シアリタル間ニ一度盜取サレタルコトアリシ此時モ亦タ手形ハ不法ノ元素ヲ含有スルモノナレハ所持人ハ此事實ニシテ發見セラレタル以上ハ自己カ約報ヲ出シテ讓受ケタルコト并ニ盜兒ノ手ヲ經由シタル手形ナルヲ知ラスシテ讓受ケタルコトヲ證明セサルヘカラス之ヲ換言スレハ自己ノ正當所持人ナルコトヲ證明

ナルノ責任アルモノナリトス是等ノ例ニ據リ類推セハ大ニ自得スル所アルヘキナリ

是レヨリ講歩ヲ轉シ先ツ第一ニ直接對手ト間接對手ノコトヲ講述スヘシ前來述ヘタル詐欺脅逼又ハ約報ノ不法ナルコト等ノアリタルトキハ直接ノ對手間ニアリテハ之ヲ以テ法廷ニ於テ拒辯ノ材料トシ手形ノ所有權ヲ爭フコトヲ得即チ通常盜兒ヨリ贓品ヲ取戻スコトハ其公商公買ノ手ヲ經サル間ハ飽マテ追及スルコトヲ得ヘシ然レトモ若シ其贓品ニシテ羅賣ニヨリ公商公買ノ手ヲ經タル以上ハ之ヲ取戻スヲ得ス手形ノ場合ニ於テモ一タヒ正當所持人ノ手ヲ經タルトキハ其不正ノ原因ノ消滅スルハ同一ノ事柄ナリトス

借直接對手トハ振出人ノ受取人若シハ引受人ニ於ケルカ如キ裏書人ノ讓受人ニ於ケルカ如キ即チ是レナリ先キニ述ヘタル如ク此等ノ對手間ニアリテハ詐欺脅逼不法ノ約因等ヲ理由トシテ抗辨シ得ルモ此直接對手ヲ除キ他ノ間接ナル對手ニ對シテハ此答辯ヲナシ得ルヤ否ヤト云フニ此場合ニ於テ若シ間接對手カ其事實ノ通知ヲ受クルカ又ハ約報ヲ與ヘサルモノナルトキハ此答辯ヲナスコトヲ得

ルナリ例令ハ甲ハ手形ヲ振出シ乙ヲ以テ受取人トナシタリ然ルニ乙ノ手形ヲ所持スル間丙ハ之ヲ盗取シ丁ニ譲渡シ丁ハ約報ナシニ之ヲ戊ニ譲渡セリ此場合ニ於テ丙カ丁ニ手形ヲ譲渡スニ當リ此手形ノ贓物ナルコトヲ通知シタルトキハ丁ハ到底完全ナル所有權ヲ得サルモノトス併シナカラ其通知ナカリシトキハ正當所持人トナルナリ今假リニ丁ハ通知ヲ受ケテ手形ヲ譲受ケタルモノトシ戊ハ丁ヨリシテ此手形ヲ貰受ケタリトセハ戊ノ所有權ヲ得タルハ正當所持人ヨリ得タルニ非スシテ丁ナル通知ヲ受ケナカラ譲受ケタル不完全所有者ヨリ貰受ケシモノナレハ戊自身ハ曾テ贓品ナリシ事實ヲ知ルト否トニ關セズ完全ナル所有權ヲ得ル能ハサルナリ何トナレハ其取引間ニ約報ノ存スルナキヲ以テナリ故ニ戊ハ此場合ニ於テ引受人ニシテ且ツ振出人ナル甲若シハ乙ナル裏書人ノ何レニ對スルモ間接對手ナリト雖モ尙ホ反對々手ノ抗辯ノ爲メニ己レノ所有權ヲ傷害セラレ、ノ點ニ付テハ丁ト同一ノ地位ニアルモノナリ

次ニハ約報ノ一部ヲ缺キタル場合例令ハ百圓ノ手形ヲ振出シ其約報ノ半額五十圓ヲ渡シタルノミニシテ未ダ殘額ヲ仕拂ハサルトキモ手形面ノ百圓ナル以上ハ

其所持人ハ約報ノ如何ニ拘ラス百圓ヲ認求シ得ヘキヤ否ヤト云フニ勿論手形面ハ百圓ナルヲ以テ當然認求シ得ヘキカ如シト雖モ既ニ約報アリテ契約ハ成立スルモ正當所持人ニ非サル以上ハ全額ナル百圓ヲ認求スルヲ得ス尙ホ例ヲ擧ケテ之ヲ示サハ甲ハ百圓ノ手形ヲ振出シタル代リニ上等生糸一捆ヲ送附セラル、ノ約束ヲナシタリシ然ルニ生糸荷着ノ上之ヲ改メ見レハ全ク約束ノ目的物ト齟齬シタル下等品ニシテ僅カニ七十圓程ノ價直ヲ有スルニ過キサルトキニ當リ受取人ハ其事實ヲ知リツ、手形ヲ得タルトキハ正當所持人ニ非サルヲ以テ七十圓ヲ認求シ得ルノミニ止マリ百圓ヲ認求スルヲ得サルナリ

今手形ノ所有權ニ瑕疵ヲ生セシムル處ノモノヲ再言セハ第一約報ノ不適法ナル場合、第二詐欺脅逼等ノ手段ヲ用キテ手形ヲ得タル場合、第三有約報ノ手形取引ヲナシ全ク其約報ヲ仕拂ハサル場合、第四約報ノ一部ヲ仕拂ハサル場合、第五ハ融通手形ノ如キ始メヨリ全ク約報ナカリシ場合等ノ五ナリトス茲ニ一言スヘキハ今回述ヘタル所ノ規則ハ此五場合ニ付キ均シク適用シ得ヘキモノナルコト是レナリ必竟スルニ何レ場合ニ於テモ其所持人ノ正當所持人ナリヤ否ヤヲ吟味セハ從

テ所持人ノ權利ヲ爭フヲ得ルモノナルヤ否ヤヲ了知シ得ヘキナリ

以上述ヘタル所コ付キ尙ホ之ヲ概括スレハ手形ノ約報ニ付キ其有リヤ無キヤ并

ニ手形ノ完全ナル所有權ヲ害スヘキ條件タル詐欺脅逼不法ノ約因等ノ有無ニヨ

リ之ヲ四個ニ區別スルヲ得ヘシ即チ甲ヨリ乙ニ手形ノ所有權ヲ移轉スルニ當リ

第一通知ナク約報アル場合

第二通知ナク約報ナキ場合

第三通知アリ約報アル場合

第四通知アリ約報ナキ場合はナリ

此四個ノ場合ニ付キ所有權ノ移轉ヲ受ケタル所持人ノ權利ノ強弱コ付テ述フレ  
ハ第一ノ場合ハ最も強ク以下漸次減少シテ第四ノ場合ハ最も弱キノ順序トナル  
モ手形法ノ規則ニ依レハ直接對手間即チ手形ノ取引ヲナシタル甲ト乙トノ間ノ  
關係ハ暫ク措キ第三者ニ對スル點ニ付テハ第一ノモノト他ノ三種ノモノトハ全  
ク反對ノ位置ニアリ第一ノ場合ニ於テハ即チ先回述ヘタル正當所持人ニ當ルヲ  
以テ完全ナル所有權ヲ得ルモ他ノ三種ノモノハ總テ他人ニ對シテ完全ナル權利

ヲ得ル能ハスシテ其權利ノ或點ニ於テ瑕瑾アリテ存ス

今四個ノ場合中第一ト第二トヲ比較セハ通知ノ點ニ於テハ同一ニシテ又タ讓受  
人ニ惡意ナキ點モ亦タ然リトス唯タ其異ナルハ約報有無ノ一點ナリ然ルニ約報ノ  
有無ハ直接對手間ニ就テ論スヘキコトニシテ第三者間ノ關係ニ對シテハ法理上  
論セサルモ可ナル點ナリトス去レトモ一般ノ場合ニ於テモ贈與ト約報アル取引  
トハ之カ規定ヲ殊コシ約報アルモノハ之ヲ保護スル厚キモ無約報ナル受贈者ノ  
權利ハ何時モ之ヲ保護スルノ薄キハ法律ノ通觀ニシテ他國ノ法律ハ措キ英國法  
律ニテハ諸君ノ知ル如ク契約法上約報ハ最も緊要ナルモノニシテ此手形ニ付テ  
モ亦タ約報ノ有無ハ大ニ規定ヲ殊ニスルモノニシテ今述ヘタル處ノモノモ其一  
ナリトス第三ノ場合ニ至リテハ約報ノ點ヨリ見ルトキハ其存スルアルヲ以テ第  
二ノ場合ノ無キモノニ比スレハ此點ニ付テハ所持人ノ權利ヲ強ムカ如キモ通知ア  
リタルコトハ是レ即チ第三ノ取引ノ弱點ナリ既ニ通知アリタルモノナル以上ハ  
如何ニ高價有力ナル約報ヲ與フルモ全ク無効ニシテ尙ホ盜見ハ物品ヲ盜取シタ  
ル家ニ金員ヲ置クモ罪ノ輕重ニ關係ナキト同一ナリトス又手講歩ヲ轉シテ第二

ト第三ノ場合ヲ甲乙直接對手間ニ付テ述フレハ第三ノ場合ニ於テハ約報アルヲ以テ其通知ノ有無ヲ問ハス金員ヲ認求シ得ルモ第二ノ場合ニ於テハ約報ナキヲ以テ直接對手ニ對シテハ金員ヲ認求スルヲ得ス即チ金錢其他諸般ノ物品ノ贈與ハ遺言ノ場合ヲ取除キテハ約束ノミニテハ未ダ以テ完全ナリトセス金錢若クハ物品自身ノ引渡ナキ以上ハ無効ナルカ此第二ノ場合ニ付テモ亦タ夫レト同一様ノ性質ヲ有スル取引ナリトス前ノ三種ニ就キ是レマテ講述シタル處ニヨリ第四種ニ付テハ特ニ説明ノ勞ヲ取ラスシテ可ナルヘシ此種ノ場合ニ於テ手形ヲ得タル者ハ決シテ完全ナル所有權ヲ得ルノ道理ナク通知アリ約報ナク全ク徒手千金ヲ懷ニスルニ外ナラサレハ法律ノ之ヲ保護スル極メテ薄カルヘキハ亦タ余ノ講説ヲ待テ後チ知ラサル可キヲ以テナリ

#### 第四章 流通 (Negotiation)

流通トハ手形チ一人ノ手ヨリ他人ノ手ニ渡シ其所有權ヲ移轉スルノ謂ナリ然ルニ爰ニ動産法上賣買ナルモノアリ故ニ賣買ト流通トノ區別如何ヲ知ラサルヘカラス何トナレハ賣買モ亦等シク所有權ヲ移轉スルモノナレハナリ

今先ツ其大体ノ差違ヲ述ヘンニ流通ハ常ニ完全ナル所有權ヲ移轉スルモノニシテ縱令讓渡人ノ所有權ニ瑕疵アルニモセヨ之ヲ知ラサル讓受人ハ完全ナル所有權ヲ得ト雖モ之ニ反シ賣買ニ於テハ公商公買ノ手ヲ經ルカ若クハ公賣法ノ手續ヲ經ルニアラサレハ讓渡人ノ權利ヨリ以外ニ完全ナル權利ヲ得ル能ハサルナリ故ニ讓渡人カ完全所有權ヲ有シタルトキハ讓受人モ亦完全所有權ヲ得ヘシト雖モ若シ讓渡人ノ權利ニ瑕疵アルトキ(即詐欺脅迫等ノ分子ヲ包含セル場合等)ニ於テハ其瑕疵ノ付帶セル權利其物ヲ得ルノミニシテ決シテ瑕疵ナキ完全ナル所有權ヲ得ルコト能ハサルナリ是二者差異ノ主點ナリトス

吾國現行爲替手形約束手形條例第十三條ニ曰ク爲替手形ハ裏書ヲ以テ其所有權ヲ移轉スルコトヲ得トアリ同第十四條ニ曰ク買受人又ハ讓受人ノ氏名及年月日ヲ記載シ賣渡人又ハ讓渡人氏名住所ヲ記シ調印スヘシト在リ之レ則チ手形流通ノ方式ヲ示シタルモノナリ(前掲離形參看)

英吉利爲替手形條例第三十一條第一項ニ曰ク手形ノ流通トハ其讓受人チシテ手形ノ所持人タルコトヲ得セシムル手續ニ依リ一人ヨリ他人ニ之ヲ移轉スルコト

ヲ稱スト是ニ由リ之ヲ觀ルニ手形ノ所有權ヲ移轉シ其所持人ナシテ其所有者トナラシムルハ必ス本條例カ規定スル手續ニ依ラサルヘカラス若シ條例規則ノ之ヲ規定スルモノナキ場合ニ於テハ特別ナル商業上ノ習慣ニ據ラサルヘカラス現ニ吾國ニ於テモ明治十四年爲替手形約束手形條例發布以前ハ東京大阪横濱神戸等ニ於テ行ハレタルモノハ皆商業上ノ習慣ニ由リシモノニシテ英國ニ於テモ亦千八百八十三年以前ハ等シク商業上ノ習慣ニ據リシモノナリ

一、持參人ニ讓渡ス場合

二、指圖人ニ讓渡ス場合

持參人拂ノ手形ナルトキハ其手形ノ占有タニ引渡セハ同時ニ手形ノ所有權モ移轉セラレタルモノナリ換言セハ此種類ノ手形讓渡ハ手形ノ引渡アレハ即足レリ然レトモ指圖人拂ノ手形ナルトキハ引渡及裏書ヲ要ス而シテ吾現行爲替手形約束手形條例ニハ引渡ノコトハ別段規定ナシト雖モ手形ニシテ若引渡ナキトキハ決シテ所有權ノ移轉スヘキモノニアラス故ニ何種ノ手形ニ拘ラス流通ニハ必ス引

渡ナカルヘカラス

又タ手形ノ流通ヲ分テ法律ノ作用ニヨリ生スル移轉及對手ノ合意ニヨリ生スル移轉トナスヲ得ヘシ法律ノ作用ニヨリテ手形ノ移轉ヲ生スル場合ハ相續及結婚ノ場合はナリ尤特別ノ法律ノ規定アル國ニ於テハ其項モ此内ニ加フヘキナリ人アリ死後其人ノ所有セシ手形ハ何人ノ所有ニ歸スヘキヤト問ハ、手形モ亦一ノ動産ナルカ故ニ管財人ニ移轉スト云ハンノミ而シテ其移轉スルニ付テハ持參人拂ノ手形ナルトキハ管財人カ手形ヲ占有シタルノトキニ於テ當然其所有權ヲ得指圖人拂ノ手形ナルトキハ手形所有者已ニ死去セルヲ以テ裏書ヲ得ルニ由ナシ故ニ斯ル場合ニ於テハ裏書ナキモ法律上移轉アリタルモノト見做スナリ婚姻ノ場合ニ於テモ妻カ所有セル所ノ手形ハ夫カ其手形ヲ占有シタルトキニ於テ當然其所有權ヲ移轉スルモノナリ然ラサレハ訴訟等ノ場合ニ於テ大ニ不都合ヲ生スルヲ以テナリ何トナレハ財産法上婦有産ノ管理及其ヨリ生スル収益處分等ハ總テ夫ニ屬セルヲ以テナリ然レトモ若其手形ニシテ妻ノ特有産ニ係ルトキハ夫ノ所有ニ歸セサルモノトス諸君ノ既ニ知レル如ク英國ニテハ妻ノ特有産ヲ

認ムルノ範圍漸ク廣マルノ傾向アルカ故ニ從テ手形ニ就テモ漸次妻ノ特有財産トナルノ形勢ナレハ此點ニ付テハ夫權ハ漸ク以テ減殺セラレ、ニ至ルヘシ

### 第十五回

前回ニ引續キ手形ヲ流通セシムルニ足ル方式ノコトヲ説カシニ元來手形ナルモノハ流通スルヲ以テ其目的トセルモノナレハ之ヲ作為スル上ニ於テモ多少一般ノ證書ト異ルノ方式ナカルヘカラス語ヲ換ユレハ手形流通ニハ一定ノ方式ヲ必要トス

方式トハ手形振出人ニ於テ其手形ヲ流通セシムルノ意思ヲ表明スルコト是ナリ故ニ例ヘハ甲カ手形ヲ振出スニ當リ只乙ニ對シ書面ノ金額ヲ支拂フヘシト云フノミニテハ一般ノ證書若クハ依頼狀等ノ類ト毫モ異ナラサルナリ故ニ手形ニハ必ス指圖人若クハ持參人ニ支拂フヘシトノ文語ナカルヘカラス此文語タニ記載シアレハ流通セシムルノ意思明カナルカ故ニ夫ヨリ以後裏書ニハ此ノ如キ文語ナキモ飽マテ流通シ得ルモノナリ之ニ反シ初メニ其意思ヲ表ハササル證書例之甲カ丙ニ宛テ手形面金額百圓乙殿ニ支拂フヘシト認メタル手形ヲ乙ニ渡シ乙ハ之

ヲ受取り丁ニ讓渡スニ當リ丁又ハ其差圖人ニ支拂フヘシト裏書シタリトセンニ之レ即チ振出ノ場合ニハ移轉ノ意思ヲ明ニセスシテ乙カ之ヲ讓渡スニ當リ初メテ其意ヲ表ハシタルモノナルカ故ニ此ノ如キ證書ハ法律上流通證書トハ云ハスシテ通常一般ノ證書ト見做スナリ

前ニモ述ヘタル如ク手形ハ其振出ノ時換言セハ手形發生セルノ時ニ於テ完全ナル手形ナラサルヘカラス故ニ若其發生ノ時ニ於テ瑕瑾アリタルトキハ其證書ハ手形ニハアテサルナリ遺ハ最モ觀易キ道理コシテ初メ振出ノトキニ於テハ手形ニアラサル一般ノ證書カ一タヒ轉轉シタルタメ直チニ其性質ヲ變シテ流通證書トナルノ理由ナキナリ而シテ其方式ノ認方ニ付テハ英吉利法律ニハ制限ナシト雖モ佛蘭西其他大陸諸國中或國ノ法律等ニ於テハ此振出シ裏書ノ場合ニ於テ對手ノ意思ノミナラス之カ法式ニ制限アリ此點ニ付テハ英吉利法律ハ餘程寛ナルカ故ニ之ヲ作為スル者ニ取りテハ大ニ輕便ニシテ自由ナリ

以下之カ流通ノ方法ヲ説カム手形ヲ流通スルノ方法凡ソ二種アリ一ハ何人ニテモ手形ヲ引渡スニヨリ所有權ノ移轉スルモノ即持參人拂ノ手形ノ場合ニシテ一



ハ引渡及裏書ニヨリテ所有權ヲ移轉スルモノ即差圖人拂手形ノ場合はナリ今日吾國ノ銀行仲間等ニ行ハル、所ハ餘程輕便ニシテ流通自由ナルカ故ニ殆ント此間ニ區別ナキモノ、如キ情勢ナリ然レトモ學術上ニ於テハ劃然之カ區別ヲ爲サ、ルヘカラス而シテ其區別生スル所以ハ手形作爲ノ方法ノ差違ニヨリテ其流通ノ方法ニモ亦差違ヲ生スルナリ

而シテ差圖人拂ノ手形ノ場合ニ於テ裏書讓渡人カ單ニ自己ノ記名ノミヲナシ讓受人ノ姓名ヲ記入セスシテ引渡シタル場合ニ於テハ只其手形ノ引渡ノミニテ直ナニ所有權ヲ移轉スルコトヲ得ヘシ元來正當ノ書式ニヨレハ讓受人ノ姓名モ共ニ記入セサルヘカラスト雖モ這ハ慣習ヨリ來レル一ノ便宜法ノミ例ヘハ甲ナル手形所持人乙ニ百圓ノ手形ヲ讓渡スニ當リ手形ノ裏面ニ自己ノ名ノミヲ記入シ乙ノ姓名ヲ記入セスシテ引渡シタリトセシカ此場合ニ於テハ乙ハ其手形ヲ何人ニ讓渡モ自由自在ニシテ又其受取タル丙モ持參人同等ノ地位ニ立ツカ故ニ別ニ裏書ナクシテ他ニ讓渡スコトヲ得而シテ丙カ最後ニ所持人トナリタルモノト假定セハ甲カナシタル裏書ノ所ヘ自己カ名ヲ記入シ其支拂人タル丁ニ對シ之カ支拂

ヲ請求スルコトヲ得ルカ如シ

儲又持參人拂ノ手形ニシテ記名ナクシテ流通スル手形ヲ後ノ所持人カ裏書記名シタルトキハ其結果如何例ヘハ甲ナル振出人カ持參人拂ノ手形ニ裏書ナクシテ丙ニ讓渡タルニ丙ハ之ヲ丁ニ讓渡スニ當リ只其手形ヲ引渡セハ可ナルヘキニ故ラニ自己ノ姓名ヲ記入シ裏書ヲナシテ丁ニ引渡セリ此場合ニ於テハ手形全体ニハ毫モ影響ヲ生スルコトナシト雖モ只裏書シタル丙丁間ニ裏書人タルノ關係ヲ生スルノミナリ

今一ツノ種類ハ裏書讓渡是ナリ這ハ普通一般ニ行ハル、所タリ裏書トハ英語ノ Indorsement) 譯シタルモノナリ通常裏書ト謂ヘハ誰ニテモ之ヲ知ルト雖モ其法律上ノ性質如何ト謂フニ至テハ通常人ノ知ル所ニアラサルナリ裏書ハ一ノ取引ニシテ二個ノ契約ヨリ成立スルモノナリ例ヘハ甲ナル所持人一ノ手形ヲ乙ニ讓渡シタルトキハ甲カ有セル手形ノ所有權ヲ移轉セルモノニシテ語ヲ換ユレハ手形ノ賣買ニシテ一ハ保證契約ナリ詳言セハ裏書人カ讓受人ニ對シテ支拂人カ其支拂ヲ拒ミタルトキハ之ニ代リ自己カ辨償スルトノ保證契約ナリ故ニ曰ク裏書ハ

所有權移轉ノ取引ト保證契約ノ二種ノ混合物ナリ

今試ミニ之カ定義ヲ下サシニ裏書トハ讓渡人ヨリシテ名宛人若クハ其差圖人又ハ持參人ニ或確定金額ヲ支拂フヘキコトヲ差圖スル記載ニシテ讓渡人ニ依リ記名セラレタルモノナリ元來此裏書ナル名稱ノ由來ハ通常證書ノ裏面ニ記載セラルカ故ニ此稱アリト雖モ英吉利法律ニテハ別段裏書ノ方式トテモアルニアラサレハ表裏孰レニ記載スト雖モ其効力ニ至テハ毫モ異ナルナキナリ而シテ手形面表裏トモ書盡シ餘白ヲ剩サ、ルトキハ付箋ヲナシテ之ヲ記スルコトヲ得然レトモ別紙ヲ以テ之ヲナスコトヲ得ス若シ別紙コトナシタルトキハ流通證書法上之ヲ裏書ト見做サスシテ一種ノ契約ト見ルナリ此點ニ付テハ其規定ヲ異ニシ之ヲ許セルノ國モアリト雖モ果シテ其何レカ可ナルヤハ各國共習慣及實行上ノ便否如何ニ因テ自カラ異ナラサルヲ得ス

手形ノ所有權ヲ移轉スルニ裏書ヲ要スルハ差圖人拂ノ手形タルトキニ限ル故ニ此種ノ手形ニシテ裏書ナキトキハ縱令之ヲ引渡スト雖モ其移轉ハ爲替手形法ニ所謂流通トハナラサルナリ

又此差圖人拂ノ手形ト雖モ裏書アリタルノミナリテ所有權ヲ移轉スヘキモノニアラス必ス之ニ伴ヒ引渡ナカルヘカラス故ニ手形所有權ノ移轉スルハ持參人拂ノ手形タルト差圖人拂タルトナ問ハス引渡ノアリタルトキヨリ所有權ノ移轉ヲ生ス換言セハ引渡ヲ以テ所有權移轉ノ第一要素トス之レ最モ諸君ノ注意ヲ要スル點ニシテ差圖人拂ノ手形ナルトキハ之ニ加フルニ裏書ナルモノヲ要スト云フコアルノミ

而シテ前段手形作爲ノ方式ヲ説クニ當リ手形ニハ是非流通セシムルノ意思ヲ表明セサルヘカラサルコトヲ説キシカ裏書ノ場合ニ於テハ此必要ナシ尤實地ニ行ハル、所ハ等シク記載スルノ慣例ナリト雖モ單ニ裏書人ノ姓名ノミヲ記セハ法律上此意思ヲ推測スルナリ佛蘭西法律ニヨレハ裏書ニハ約報及年月日並ニ裏書人讓受人双方ノ名ヲ記載スルコトヲ要ス若其中ノ一ヲ欠クトキハ法律上裏書ト見ス此點モ亦英法トハ甚寬嚴ノ度ヲ異ニセリ

### 第十六回

前回ニ引續キ裏書中ノ制限裏書 (Restrictive indorsement) ノコトヲ講述スヘシ是即チ

條例第三十三條ニ規定シタル所ノモノナリ  
 制限裏書トハ裏書人手形ヲ讓渡スニ當リ讓受人ヲシテ單ニ其手形面ニ裏書シタルタケノ事柄ヲ爲サシメ其後ノ流通ヲ禁シタル場合ヲ云フ例令ハ丙ナル受取人ハ戊ニ手形ヲ讓渡サントスルニ當リ「戊ハハミニ仕拂フヘシ」ト裏書シ又ハ之ヲ反對ノ點ヨリ制限シテ「戊以外ハ人ニ讓渡ス可ラス」ト裏書シタル場合ノ如キハ是即チ簡單ナル實例ナリ此場合ニハ戊ハ其手形ヲ讓受クルモ流通スルヲ得スシテ單ニ戊自身カ仕拂人ニ向テ手形面ノ金額ヲ請求シ得ルニ止マルモノナリ又或ハ丙ノ手形ニ裏書スルニ當リ「自己ノ爲メニ戊ニ手形面ノ金額ヲ仕拂フ可シ」ト裏書シタルトキノ如キハ總テ制限裏書ナリトス  
 然ルニ裏書人ナル丙カ「手形面ノ金員ヲ戊ニ仕拂フ可シ」ト裏書スルコトアリ此場合ニ於テ該裏書ハ通常ノ裏書ナルヤ將タ又タ制限裏書ナリヤト云フニ其殆ント制限裏書ト書式ヲ同フスルニ關セス法律ハ之ヲ以テ普通ノ裏書ナリト解釋スルモノトス其故ハ流通證書ナルモノハ振出ノ當時ニ於テ完全ナルモノナルトキハ反對ノ意思ヲ表白セサル以上ハ當然流通シ得ルモノナルヲ以テ裏書人ニ於テ特

別ニ流通ヲ禁スル意思ヲ表白セサル限りハ如何ナル書式若クハ差圖ヲナスモ決シテ流通ノ効ヲ失ハサルモノトス  
 然リ而シテ此制限裏書ハ手形ノ流通ヲ禁遏スルノ點ハ固ヨリ通常裏書ト大ニ其趣ヲ殊ニスルト雖モ其手形取引ノ有効ナルニ至テハ其取引ノ効果ヲ殊ニスルニモ拘ハラズ法律上毫モ相異ナル所ナシトス然ラハ即チ此制限裏書ナル手形ノ取引ニ依テ如何ナル權利ヲ轉移ス可キヤト云フニ一ハ手形面ノ金額ヲ受取ルノ權利ト一ハ裏書人カ曾テ有シタリシ權利ヲ繼承スルトノ二個ノ權利ニ過キサルヲ以テ彼ノ正當所持人ノ權利ニ比較セハ霄壤ノ差異アルナリ  
 只今制限裏書付ノ手形ハ流通シ得テサルモノナルコトヲ述ヘシカ是何レノ場合ニ於テモ全ク其流通ヲ禁スルモノニ非ス若シ一方ニハ其制限ノ意思ヲ見ハシ他ノ一方ニハ流通セシムルノ意思ヲ見シタル場合例令ハ丙ナル裏書人ノ戊ニ裏書スルニ當リ「自己ノ爲メニ戊又ハ其差圖人ニ御仕拂可被下云々」ト裏書シタリトセハ其「自己ノ爲メニ」ノ一句ハ制限裏書ニシテ「又タ差圖人云々」ノ一句ハ流通ヲ許シタルモノナリ斯ノ如キ裏書ハ尙ホ制限裏書ト見做スナリ然ラハ則チ此種ノ裏

書ハ讓受人ニ如何ナル權利ヲ與フヘキヤト云フニ前述ヘタル場合ト同シク手形ノ流通ヲ許サ、ルヲ以テ讓受人ハ正當所持人トナルヲ得サルハ當然ノ結果ニシテ唯々裏書人ノ有セシ權利ヲ繼承スルニ過キサルナリ故ニ曾テ述タル通知若クハ約報ノ有無ハ敢テ問ハスシテ苟モ裏書人ノ權利ニシテ瑕瑾アル以上ハ手形ノ轉帳スルト共ニ常ニ瑕瑾ハ附隨スルモノナリトス是ヲ以テ之ヲ觀レハ此制限裏書ニヨリタル裏書人ト讓受人トノ關係ハ通常本人ト代理人トノ關係ヲナスモノニシテ讓受人カ裏書人ニ代リテ仕拂人ヨリ手形面ノ金額ヲ受取ルモノナレハ其本人ト取引對手間ニ瑕瑾アリタルトキハ其瑕瑾ハ終始其取引ニ附隨スヘキハ又々見易キノ道理ナルヘシ

是マテ述ヘタル所ニヨレハ手形ハ其完全ナル性質ヲ具有シテ流通スルハ最初振出サル、ヨリ仕拂ハレ了ルマテカ又ハ裏書人ニヨリテ制限裏書ヲナサル、マテノ間ニ過キサルヘシ其一度仕拂ハレタルトキハ手形ノ消滅スルハ又々説述スルヲ須タサル可キモ之ニ反シテ裏書人ノ制限裏書ニヨル場合ハ一般ノ流通手形タル性質ヲ失フニ在リテ即チ其後ノ所持人ハ裏書人ノ代人タルノ位地ニ立ヲ得ルノ

ミナルヲ以テ瑕瑾付ノ儘ニテ手形ヲ流通セサル可ラス

又既ニ述タル如ク手形ニ瑕瑾アル通知ヲ其所持人ハ受ケタリヤ否ヤハ手形面ノ權利ノ消長ニ重大ナル關係ヲ有スルモノニシテ即チ正當所持人タルヤ否ヤノ限界ヲナスモノナルカ茲ニ此通知ト同一ノ効力ヲ有スルモノアリ即チ手形ノ仕拂期限ノ來リタルコト是ナリ例令ハ甲カ乙ヲ仕拂人トシ丙ヲ裏書人トシテ手形ヲ振出スニ當リ一箇月ノ期限ニテ一月一日ニ振出シタルヲ以テ此手形ハ一月三十一日ニ至レハ期限ニ到達スヘキナリ然ルニ此期限ニ到達シタル以後ハ如何ト云フニ依然トシテ流通シ得可キモノナレトモ其期限後ハ前述タル通知ノ實際對手間ニ有無ノ如何ニ拘ラスシテ通知アリタルモノト推測ズルナリ故ニ其仕拂期限ヲ經過シタル手形ヲ受取リタルトキ若シ其手形ニ瑕瑾アルモノナルトキハ例令通當正當所持人トナルヲ得ヘキ位地ニアルモノト雖モ到底此保護ヲ仰クコトヲ得サルナリ是ヲ以テ此害ヲ免レント欲セハ期限經過ノ手形ハ最初ヨリ其取引ノ對手人ヲラサルノ安然ナルニ如カサルナリ

次ニ來ルヘキハ此期限ハ何時ニ盡クルモノナルカノコト是ナリ然レトモ時間ニ

制限アルヲ以テ次回ニ譲リ講述スヘシ

### 第十七回

今回ハ手形ノ仕拂期限到達ニ付講述スヘシ  
 手形面ニ仕拂期限ノ記載アルトキハ此期限ニ前回講述シタル猶豫期日三日ヲ加  
 へ其最終ノ期日ニ至レハ仕拂期限ニ達シタルモノトス之ニ反シテ一覽拂若クハ  
 請求拂ノ手形ニ付テハ相當ナル期限ヲ經過シタルトキハ仕拂期限ヲ過キタルモ  
 ノトス然ルニ此相當期限トハ果シテ幾日間ヲ指シタルモノナルヤト云フニ法律  
 上劃然規定スル所ナキナリ當ニ規定スル所ナキノミナラズ實際之ヲ規定スルヲ  
 得サルナリ何トナレハ元來振出ノ當時ヨリシテ期限ヲ一定シアラサル手形ナル  
 ヲ以テ其對手間ニ於テ期限ヲ附セサルモノナルニ法律ハ之ニ立入リテ期限ヲ附  
 スルヲ得サル可ケレハナリ然レトモ商業社會ノ習慣ニテ不當ノ長時日間之カ請  
 求ヲ爲サ、ルトキハ期限ノ過キタルモノトスルナリ是レ即チ英國ノ現行法トシテ  
 採用セラル、所ナリトス然ルニ果シテ幾日ヲ經過シタルトキハ不當ノ長時日ヲ經  
 過シタルモノトスルヤノ點ニ至テハ是レ事實上ノ問題ニ屬シ各場合ニ付テ之ヲ吟

味セサル可ラス即チ英國證據法ニ據ルトキハ陪審官ノ評定ス可キ所ノ者ナリト  
 ス曾テ述タル如ク銀行ノ振出切手ハ一覽拂ノ手形ナルニ此手形ニ付キ振出ノ日  
 ヨリ八日ヲ經テ其手形ニ裏書シ讓渡ヲ爲シタル場合ニ於テ仕拂期限ヲ經過セサ  
 ルモノナリト判決シタル實例アリ又タ之ニ反シテ振出後二ヶ月ヲ經過シ裏書シ  
 テ讓渡ヲナシタル場合ニ於テ相當期限ヲ經過シタルモノナリト判決シタル實例  
 モアルアリテ畢竟スルニ是等ノ疑問ハ各地方ノ商業上ノ習慣若クハ取引ノ繁簡  
 ニヨリテ之ヲ定メサル可ラサルナリ

又前述ヘタル如ク仕拂期限ノ記載シアルトキハ手形ノ流通ハ其期限内ニ爲スヲ  
 正則トシ期限後ニ流通スルヲ變則トスルカ故ニ其裏書ヲナシタルトキニ當リ其  
 時日ヲ記載シタルトキハ果シテ仕拂期日ノ前ナルヤ後ナルヤハ一目瞭然ナリト  
 雖モ若シ裏書ノ時日ヲ記載セサルトキハ法律上仕拂期日前ニ裏書シタルモノト  
 推測スルナリ何トナレハ反證ナキ限リハ人ハ變則ノコトヲ爲スニアラスト推測  
 スヘキヲ以テナリ  
 次ニハ手形ノ不渡(Dishonor)ノコトヲ述フ可シ手形ノ不渡トハ之ヲ嚴格ナル文字

ナ以テ言顯ハストキハ手形ノ仕拂拒絶トモ云フ可クシテ即チ手形ノ所持人カ仕  
 拂ニ向テ手形ノ仕拂ヲ請求シタルトキニ其仕拂ヲ拒マレタルコトヲ云フ此不渡  
 ノ場合ニ仕拂人ヨリシテ其理由ヲ記載シテ渡ス證書或ハ若シ仕拂人ニ於テ其證  
 書ヲ作爲シ得サルトキハ公證人ヨリ其事實ヲ認メタル證書ヲ得ルコトアリ之ヲ  
 拒ミ證書(Protest)ト云フ此不渡ト拒ミ證書ノコトニ付テハ後章詳説ノ時期アル可  
 シ  
 此不渡ハ仕拂期日ノ前ニ生スルト後ニ生スルトナ間ハス彼ノ仕拂期日ト同一ノ  
 効力ヲ有スルモノニシテ若シ其手形ニ瑕疵アルトキハ其以後ハ常ニ其瑕疵ノ附  
 随スルモノニシテ唯仕拂期日ト異ナルハ此場合ニ於テハ讓受人カ不渡ノ通知ヲ  
 受ケタル場合ニ限ルモノニシテ例令ハ甲ナル振出人カ丙ナル所持人ニ手形ヲ渡  
 シ丙ハ仕拂期日前ニ其仕拂人ナル乙ニ向テ仕拂ノ引受ヲ請求シタルモ乙ハ此手  
 形ノ引受ヲ拒ミタルヲ以テ止ムヲ得ス其儘之ヲ持歸リ丙ハ更ニ之ヲ丁ニ讓渡シ  
 タリ此際ニ丙ハ二百圓ノ手形ヲ渡シ且ツ手形ハ不渡ノ手形ナルヲ以テ七十圓ヲ  
 以テ讓渡ス可シトノコトヲ告ケテ賣渡シタルトキハ通知アリタルモノナルモ之

コ反シテ唯單ニ丙カ丁ニ此手形ヲ八十圓ニテ汝ニ讓渡ス可シトテ引渡ストキハ  
 事實ノ通知ナキヲ以テ丁ハ正當所持人トナルナリ故ニ此點ハ仕拂期限經過ノ場  
 合ト異ナルモノナリ

同シク流通ノ場合ナリト雖モ是レマテ講述シタル流通ノ規定ハ總テ第三者ニ手  
 形ヲ讓渡シタル場合ナリ第三者トハ即チ手形ノ成立ニ關係ヲ有セサル他ノ對手  
 ニ手形ヲ讓渡シタル場合ナリシカ若シ之ニ反シテ手形ノ所持人カ手形ノ振出人  
 引受人又ハ裏書人ニ之ヲ讓戻シタル場合ニハ如何ナル結果ヲ生ス可キヤト云フ  
 ニ其引受人ノ手ニ入りタルトキハ一方ニハ仕拂ヲ可キノ義務アリ一方ニハ受取  
 ノ權利ヲ生ス可シ振出人ノ手ニ歸シタルトキハ一方ニハ保證ノ義務アリ一方ニ  
 ハ受取ノ權利アルモノトナルナリ此ノ如キ不都合アルモ法律ハ決シテ之カ流通  
 ナ禁スルモノニ非ス此讓渡ヲ受ケタル所ノ振出人引受人或ハ裏書人ハ再ヒ之ヲ  
 他人ニ讓渡スコトヲ得ルナリ唯々通常ノ場合ト其對手間ニ讓戻シタルトキトノ  
 權利義務ニ差異ヲ生スルノ點ハ其引受人振出人又ハ裏書人カ自己カ其手形ヲ讓  
 受クル前ニ於テ仕拂或ハ保證ノ義務ヲ有スル所ノ對手ニ向テハ訴權ナキコト是

ナリ之ヲ例フレハ甲カ手形ヲ振出シテ丙ニ渡シタリ而シテ丙ハ之ヲ丁ニ裏書シ  
 タリ而シテ又丁ハ之ヲ甲ニ裏書シタリ此場合ニ於テ甲ハ乙ナル引受人ニ向テ仕  
 拂ヲ請求セシニ乙ハ之ヲ拒ミタリト假定セハ一般ノ規則ニ從フトキハ乙ニ拒マ  
 レタルトキハ其裏書人タル丁ニ向テ保證ノ義務ヲ責ムルヲ得又タ丁ハ丙ニ向ヒ  
 丙ハ甲ニ向テ義務ヲ責ムルヲ得ルノ順序トナル可シ然ルニ元來此甲ハ振出人ニ  
 シテ丙ニ對シテハ乙ノ仕拂ノ保證人タルノ位地ニ在ルモノニシテ即チ此手形ヲ  
 乙ヨリ拒マレタルトキハ甲ヨリ仕拂フ可キヲ保證シタルモノナリ故ニ甲ハ丁若  
 クハ丙ニ向テ訴訟スルヲ得ルモノトセハ其訴訟ハ循環シテ己レニ歸着ス可キヲ  
 以テ結局自己カ自己ヲ訴ルノ結果ヲ生ス可キナリ是ヲ以テ甲ヨリ丙若クハ丁ヲ  
 訴フルコトヲ禁スルナリ

次ニ流通ノ効果ノコトヲ講述セシニ流通ノ効果ハ手形ノ所持人ニ或權利ヲ與フ  
 ルニアリ其權利タル即チ第一手形所持人ハ手形面ノ所有權ヲ得ルヲ以テ手形面  
 ニ付キ自身訴訟ヲナスノ權ヲ得ルコト第二若シ手形所持人ニシテ正當所持人ナ  
 ルトキハ前所持人ノ所有權ノ如何ヲ問ハス手形面ニ完全ナル所有權ヲ得ルコト

三

第三其手形ヲ再ヒ他人ニ流通スルノ權利ヲ得ルコト等ナリトス  
 此第二ト第三ノ權利ヲ得ルハ即チ通常證書ノ讓渡トハ大ニ異ナル所ノ點ニシテ  
 通常證書ノ讓渡ナルトキハ流通ノ權ナク加之讓渡人ノ權利ニ瑕疵アルトキハ其  
 讓受人ノ權利モ亦完全ナルヲ得ス是二者ノ間大ニ異ナル所ナリトス  
 茲ニ一言ス可キハ流通スルコトヲ得可キ權利(Right of negotiation)ト流通シ得可キ  
 權力(Power of Negotiation)トノ差異是ナリ前來講述シタル如ク手形ナルモノハ紙幣  
 ト殆ント同一ノ性質ヲ有シ例令不正ニ其所有權ヲ得タル者ト雖モ其手形ニ付完  
 全ナル所有權ヲ他人ニ移スコトヲ得可ナリ今夫レ吾人カ紙幣ヲ移轉スルカ如キ  
 正當ニ他人ヨリシテ受取リタル場合ハ勿論假令他人ヨリ之ヲ竊取シタル場合ニ  
 於テモ亦同様又他人ニ之ヲ引渡シ他人モ亦其紙幣面ニ完全ナル所有權ヲ得ヘ  
 シ故ニ假令一度竊盜ノ手ヲ經ルモ遂ニ之ヲ取戻スコトヲ得ス手形モ亦然リ眞ニ  
 流通シ得可キ權利ヲ有スル者ハ手形ノ眞正ノ所有權ヲ有スル者ニ止マルモノナ  
 リト雖モ假令不正ニ得タル者ナルモ其之ヲ流通スルノ權力ヲ有スルヲ以テ手形  
 ニ裏書シテ流通シ其手形ノ一度タヒ正當所持人ノ手ニ歸シタル以上ハ其所持人

ハ完全ナル所有權ヲ有ス可キヲ以テ原所有主ハ之ヲ取戻スコト能ハサルナリ故  
 ニ此二者ノ區別ハ須ク諸君ノ記憶ス可キ點ナリトス  
 先キニ出訴權ノコトヲ講述セシカ此手形面ノ金員ヲ請求スルノ訴訟ヲ提起スル  
 ノ權利ハ必ス手形ノ所持人ナルヲ要ス而シテ此所持人中若シ手形カ持參人拂ノ  
 モノナルトキハ何人タルヲ問ハス手形ヲ所有スル者ハ其手形面ノ所有權ヲ得可  
 キヲ以テ從テ出訴スルノ權利ヲ有ス可キモノナルカ之ニ反シテ特別裏書ヲナシ  
 特ニ讓受人ノ姓名ヲ手形ノ裏面ニ記載シタル場合ニ於テハ手形面ニ姓名ノ記載  
 シアル讓受人カ此出訴權ヲ有スルノミナリトス故ニ特別裏書ノ場合ニ於テハ假  
 令手形ヲ占有スルモ讓受人トシテ其姓名ヲ記載セラレタルモノニ非サレハ起訴  
 ノ權ナキモノトス是レ持參人拂ノ手形ト裏書ニ依テ移轉スル手形トノ一差異ナ  
 リトス依之觀是モ持參人拂ノ手形ハ其流通使用極メテ自由ニシテ圓滑ナルモ之  
 レニ供フテ詐欺其他不正ノ行爲ノ其間ニ行レ易キヲ以テ裏書ニ依テ讓渡ス手形  
 ニ比較シテ尤モ危險多キヲ知ルニ足ルヘシ

### 第十八回

## 第六章 手形ノ呈示 (Presentment)

手形所持人ハ手形ノ所有權ヲ得ルヤ否何等ノ手續ヲ盡サスシテ直ニ手形ノ支拂  
 ヲ請求スルヲ得ルモノニ非ス或特別ノ場合ヲ除クノ外所持人ニ於テ盡サ、ル可  
 ラサル必要ノ義務アルナリ其義務トハ他ナラス即チ今ヨリ述ント欲スル所ノ手  
 形ノ呈示是ナリ又手形ノ拒絕ナルモノアリ又手形不渡ノ通知ト云フコトアリ而  
 シテ又手形ノ呈示ニハ二種アリ一ハ引受ノ爲メニスル呈示ニシテ一ハ支拂ノ爲  
 メニスルノ呈示是ナリ本章ニ於テハ是等ノ事柄ニ關スル規定ヲ講述セントス

### 第一項 引受ノ爲メニスル呈示 (Presentment for payments)

呈示トハ所持人ヨリシテ支拂人ニ手形ヲ差示スコト即チ是ナリ手形ノ引受ヲ請  
 求セント欲スルトキハ必ス其手形ヲ支拂人ニ差示ヲ要ス而シテ仕拂人ハ其手形  
 ヲ受取り之ニ己レノ引受タル旨ヲ記載スルモノトス其方式ハ先回ノ雛形ニ示シ  
 タル如ク單ニ自己ノ名ヲ署スルカ或ハ引受タル旨ヲ記載シテ之ニ署名スルモノ  
 トス日本ニ於テモ爲替手形ヲ引受クル旨ヲ記載シテ之ニ署名捺印スルコトヲ要



ス若シ又此引受ヲ肯ンセサルトキハ即チ之ヲ拒絕シタルモノナリトス  
 引受呈示ハ大体上ニ述タルカ如キ性質ノモノナルカ此呈示ハ手形所持人タルモ  
 ノハ必ス爲サ、ル可ラサルヤト云フニ其手形ノ性質ニヨリ異ナルモノニシテ即  
 チ左ノ如シ

第一、一覽後仕拂ノ手形ハ必ス此呈示ヲ要ス而シテ此一覽後仕拂ノ手形ナルトキ  
 ハ其定期ナルト否トノ間ニ區別アラサルナリ

第二、手形面ニ呈示ス可キ旨ヲ記載スル手形ハ又之ヲ呈示セサル可ラス

第三、引受人ノ住所ト引受ノ場所ト支拂ノ場所トハ各其所ヲ異ニスルトキニ於テ  
 其引受人ノ住所ト引受ノ場所ト異ナル場合ノ如キハ契約ニヨリ特ニ手形面ニ呈  
 示ス可キ旨ヲ記載シタルトキニ限り呈示ヲ要ス然レトモ支拂ノ場所ノ異ナルト  
 キハ契約ノ有無ヲ問ハス必ス呈示セサル可ラス其理由ハ既ニ仕拂人ト仕拂ノ場  
 所トヲ異ニスル以上ハ突然其仕拂地ニ至テ手形ノ仕拂ヲ請求セラル、モ其地ニ  
 ハ支拂人カ居ラサルヲ以テ果シテ仕拂フテ可ナルヤ否ヲ知ルニ由ナキヲ以テ商  
 業上斯ノ如キ習慣アリタリシカ遂ニ今日ハ條例ニ規定セラル、ニ至レリ

呈示ヲ要スル所ノ手形ハ右ニ列舉シタル三種ニ限り他ノ手形ニハ呈示ノ必要ナ  
 キナリ去レトモ右第三ノ場合ニ於テ若シ所持人カ相當ナル注意ヲ用フルモ尙呈  
 示スルコトヲ得サル事實アリシコトヲ證明シタルトキハ提示セスシテ直ニ請求  
 スルヲ得ルナリ之ヲ譬フレハ日本ノ横濱ニ於テ手形ヲ振出シ米國ニユーロクノ  
 人カ支拂人トナリ其金員ノ支拂地ハ同國ワシントンニシテ振出ノ日ヨリ三月  
 目ニ支拂フ可キモノト假定スヘシ然ルニ此手形ハ元ト日本ニテ振出タルモノナ  
 レハ日本ニテ輾轉流通シアリテ其支拂期限ノ到達スル二日前シワシントンニ在ル  
 人ノ所有ニ歸シタリ如斯場合ニハワシントンニテ直ニ手形面ノ金額ノ支拂ヲ請  
 求スルヲ得何トナレハ最早支拂期日ノ前二日ヲ餘スノミナルヲ以テ其間ニユーロ  
 ルクニ至テ呈示スル暇ナキヲ以テナリ若シ強テ之ヲ呈示セハ支拂期限ヲ經過ス  
 可シ一度支拂期日ヲ經過シタルトキハ前ニ經由シ來ル所ノ瑕疵ハ蘇生ス可キヲ  
 如何セン是レ即チ法律カ所持人ニ呈示ノ義務ヲ免除スル所以ナリ

倍此所持人ニシテ手形ヲ呈示セサルトキハ如何ナル結果ヲ生ス可キヤト云フニ  
 所持人タルモノハ振出人及其己ノ前ニ在ル所ノ裏書人ニ對シ保證ノ義務ヲ責ム

ルヲ得サルモノニシテ之ヲ再言セハ裏書人及振出人ハ其所持人ニ對シ手形面ノ義務ヲ免除セラル、ニ至ルナリ然ルニ前述シタル三場合中第一ノ場合ナル一覽後支拂ノ手形ナルトキハ所持人ハ永ク其手形ヲ己ノ手裏ニ存留スルヲ得スシテ必ス直ニ之ヲ呈示シテ引受ヲ請求スルカ又ハ直ニ流通セサル可ラスシテ若シ速ニ之ヲ流通シ若クハ呈示セサルトキハ振出人及裏書人ニ對シテ己ノ權利ヲ失フコトアルナリ

總テ支拂期限ノ一定セサル手形ニ付テハ當ニ一覽後支拂ノ手形ノミニ限ラス振出切手ノ如キモ亦速ニ流通セサル可ラサルナリ其理由ハ手形ヲ振出ニハ賣買人カ其相互間ノ金員ノ出入勘定ヲ目途トシテ發スルモノナルカ商買人ナルモノハ通常人ト異ナリ毎月若クハ每週必ス決算ヲナスヲ以テ從テ貸借ハ始終對手間ニ轉換スルモノナルカ故ニ手形ヲ振出シタル當時ニ於テ支拂人タル者ハ後日變シテ却テ貸方トナルコトアル可キハ敢テ異トスルニ足ラサル事柄ナレハ今日ノ貸金ヲ目途トシテ手形ヲ振出モ數ヶ月ノ後ハ却テ前日ノ貸方ハ借方トナルヤモ圖リ難キヲ以テ可成的取引ヲシテ速カナラシムルニアリ夫レヨリシテ何ノ國ニ於

テモ其條例ノ有無ヲ問ハス手形ノ流通ハ須ク相當ノ期限間ニ移轉セサル可ラサルナリ此相當期限トハ例ノ事實上ノ問題ナルヲ以テ一定ノ期限ヲ示スコトヲ得スシテ裁判官カ各事件ニ付對手ノ關係商業ノ性質等ヲ取調テ之ヲ決セサル可カラス故ニ實例ニ於テ此一覽後支拂ノ手形ヲ所持人カ二ヶ月間已ノ手ニ留置タル後之ヲ流通シタルトキニ尙相當ナル期限ニ流通シタルモノト判定シタルコトアリ又一ヶ月間留置タルノミニニシテ不相當ナル期限間留置タルモノト判決シタルコトアリタリ必竟スルニ商業ノ性質振出地支拂地ノ距離交通ノ遲速等ヲ吟味シテ之ヲ定メサル可ラサルナリ日耳曼ノ爲替手形條例ニ依ルニ一覽後支拂ノ手形ニシテ無期限ノモノナルトキハ手形振出ノ後二ヶ月間ニ呈示ス可キモノト法律カ明文ヲ以テ時間ヲ一定シ佛國ニテハ三ヶ月乃至一年ノ猶豫アリ英國ニテハ前述シタル如ク一定ノ期限ナク日本ニ於テモ亦然リ日本ノ如キニ至テハ商業上ノ取引ハ總テ緩慢ナルヲ以テ手形ノ呈示支拂ノ請求等ニ至テモ何月ヲ經ルモ敢テ意トセサルカ如キ有様ナレハ左マテ此點ニ付テハ心配ナキモノ、如シ先キニ此呈示ハ所持人ヨリ支拂人ニ手形ヲ示スモノナルコトヲ述ダリシカ此呈

示ヲナスニ付テハ必シモ支拂人自身ニ限ラスシテ代人ヲ以テスルモ可ナリ又若シ支拂人數人アル場合ニハ如何ニシテ呈示スルカト云フニ即チ支拂人タル悉皆ノ人ニ之ヲ呈示セサル可ラス勿論此場合ト雖モ其中ノ一人カ他ノ支拂人ノ代理權ヲ有スルトキハ其人ニ呈示セハ可ナリ又支拂人カ呈示スルトキ既ニ死亡若クハ破産シアリタルトキハ所持人ハ之ヲ呈示スルモ又ハ爲サ、ルモ其自由ニシテ若シ之ヲ呈示スルトキハ倒産ノ場合ニ於テハ倒産者若クハ其管財人ニ死亡シタル場合ニ於テハ其相續人ニナス可キモノトス

尙一言セサル可ラサルハ若シ手形ヲ呈示セント欲スルモ呈示ヲナシ得サルトキハ如何トノ問題はナリ例ヘハ支拂人ノ家ヲ探スルモ見當ラサルトキ或ハ支拂人ノ既ニ死亡シタル場合等ナルカ如斯場合ニ於テハ例令所形面ニ其約束アルモ呈示セスシテ可ナリ

### 第十九回

今回ハ引續キ引受呈示ノ不渡ノユト並ニ其効果ヲ講ス可シ

手形ハ如何ナル場合ニ不渡トナルヤト云フニ手形所持人ヨリ手形引受ノ爲メ前

ニ述タル手續ニヨリ相當ノ注意ヲ用キテ支拂人ニ呈示シタルモ支拂人之ヲ肯セサルカ或ハ如何ニ其人ヲ索ムルモ之ヲ見出サ、ルトキノ如キハ手形カ引受呈示ニ付テ不渡ニナリタルモノト稱ス又前回ノ終リニ述タル所持人カ手形ノ呈示ヲナサ、ルモ可ナル場合ノ如キモ亦手形ハ不渡ニナリタルモノト法律ハ之ヲ見做スナリ

此不渡ニナリタルトキハ其結果如何ト云フニ茲ニ始メテ裏書人振出人ノ保證義務ハ其効果ヲ顯シ所持人ヨリ直ニ振出人若クハ裏書人ニ對シテ手形面ノ金員ヲ請求スルコトヲ得是即チ不渡ノ直接ノ結果ナリトス此點ニ付テハ大陸法ト英國法トハ其規定ヲ異ニスル所ニシテ只今述タルモノハ英國法ノ規定ナルカ反之大陸法ノ規定ハ此引受呈示ニ付不渡アリタル場合ニハ所持人ニ於テ手形拒絕ノ手續即チ拒ミ證書ヲ作ラサル可ラス(此コトハ後章ニ詳ナリ)此證書ヲ作リタル後始メテ振出人若クハ裏書人ニ向テ保證ノ義務ヲ責メ金員ヲ請求スルヲ得之ヲ要スルニ大陸法ハ英國法ニ一ノ手續ヲ加ヘタルモノナリ

諸尙茲ニ述フ可キハ甲ナル手形ノ所持人ヨリ乙ナル仕拂人ニ向テ引受ヲ請求シ

タルニ乙ハ之ヲ拒ミタリ之即チ明治二十二年四月一日ナリシ然ルニ夫ヨリ四日  
 ナ經テ四月五日ニ再ヒ甲ヨリ乙ニ向テ其引受ヲ請求シタルニ此時ハ翻テ乙ハ快  
 シ引受タリ此引受ト甲ノ請求ハ有効ナリヤ否ト云フニ英國法ニ於テハ之ヲ有効  
 ナルモノトセリ其理由ハ對手相方カ好シテナス以上ハ決シテ法律カ之ヲ禁スル  
 ノ必要ナクシテ契約ハ各人ノ自由ニ放任スルノ精神ニ外ナラス  
 又引受ニ種々ノ種類アリテ一般引受ト制限引受トアルコトハ曾テ述タル所ナル  
 カ是ニテ述タル所ノモノハ一般ノ引受ナリ之ニ反シテ制限引受ニ付テハ所持人  
 ニ於テ之ニ對シテ故障ヲナシ得ルヤ否ト云フニ制限引受ヲ承諾スルト否トハ所  
 持人ノ自由ナリ何トナレハ制限裏書ナルモノハ例ヘハ手形面ニ依レハ元來百圓  
 ナ拂フノ約束ナルニ或ハ之カ支拂期限ヲ制限シ或ハ時効ヲ制限スルモノナレハ  
 是等ノ事柄ハ前契約ノ性質ヲ變更スルモノナルヲ以テ引受人即チ一方ノ對手ノ  
 意思ヲ以テ之ヲ變更スルヲ得スシテ唯所持人ノ諾否如何ニ依テ或ハ有効トナル  
 モノナリトス又所持人ニ於テ一旦承諾シテ制限引受ヲ附シタル手形ヲ引取リタ  
 ルトキハ彼ノ保證人ノ位地ニ在ル振出人又ハ裏書人ノ關係ハ如何ト云フニ是等

ノ人ハ無條件ナル手形ノ保證人タルニ過キサルヲ以テ其條件ノ附着シタルト同  
 時ニ保證人タルノ義務ヲ免脱スルモノトス若シ之ヲ裏書人若クハ振出人ニ  
 向テモ尙有効ナラシメントハ更ニ其合意ヲ得サル可ラス此合意ニ付テハ契約法  
 ニ於ケルト同シク決シテ主タル契約ノ成立ノ前後ヲ擇ハサルナリ故ニ甲ヨリ手  
 形ヲ振出シ乙ハ仕拂人ニテ丙ハ所持人ナリシカ丙ハ丁ニ裏書シ丁ハ現在ノ所持  
 人ナリシ此場合ニ丁カ乙ナル支拂人ニ向テ引受ヲ請求シ制限引受ヲ得テ之ヲ受  
 取タリ然ルトキハ乙カ手形面ノ金額ヲ支拂ハサルモ丁ハ甲若クハ丙即チ振出人若  
 クハ裏書人ニ向テ保證義務ヲ責ムルヲ得ス若シ乙若クハ丙ヲシテ其義務ヲ免脱  
 スルヲ得サラシメント欲セハ甲ノ其手形ヲ振出シタルトキカ又ハ丙カ之ニ裏書  
 シタルトキニ豫メ制限引受アリタルモ尙義務ヲ負フ可キコトヲ約束セシムルカ  
 若クハ丁カ乙ヨリ制限引受ヲ得タル後ニ於テ丁ヨリシテ之ヲ甲若クハ丙ニ通知  
 シテ其承諾ヲ得サルヘカラス而シテ又丁ナル所持人ヨリ制限裏書ノ通知ヲ振出  
 人又ハ裏書人タル甲若クハ丙ニ對シテナシタルニ當リ甲又ハ丙カ應答ヲナサ、  
 ルトキハ其結果如何ト云フニ若シ相當ノ期限内ニ應答ヲナサ、ルトキハ承諾シ

タルモノト認定ス相當期限ノ問題ハ事實ニ屬スルモノナルコトハ予ノ常ニ口ニ  
スル所ナレハ今又茲ニ贅セス

第二一項

仕拂ノ爲メニスル呈示條例第四十五

條ヨリ第五十二條ニ至ル) (Presentment

for Payments)

前項ニ講述シタルハ手形ヲ支拂人ニ示スモノナルモ金員ノ支拂ヲ受クルカ爲メ  
ニ非スシテ唯後日手形面ノ約束通り金員ヲ支拂フ可キコトヲ特ニ約束スルニアリ  
タリシカ本項ニ於テハ之ニ反シ所持人カ金員ノ必要ヲ生シ其支拂ヲ請求シタル  
場合ヲ講述セントス備今余カ請取人ニシテ且所持人ナル千圓ノ手形ヲ所持セリト  
假定シ余ハ人車ニ乗シテ支拂先ナル乙銀行ノ店頭ニ至リ車上ヨリ余ハ甲ノ振出  
シタル明治二十二年四月十日ニ仕拂フ可キ手形ニ汝ノ引受ナシタル爲替手形ヲ  
懷中セリ併シ此手形ハ汝ニ示スヲ得サレトモ汝ハ直ニ千圓ヲ余ニ支拂フ可シト  
云ヒタリ然ルニ銀行ハ手形ヲ示サ、ル以上ハ之カ支拂ヲナス可ラスト答タリ余  
ハ乙銀行ノ言ヲ願シ直ニ甲ノ許ニ至リ唯今乙銀行ニ至ルモ手形面ノ金員ヲ支拂

ハサルヲ以テ汝ハ保證人ノ位地ニアルモノナルヲ以テ速カニ千圓ヲ支拂フ可シ  
ト云ハ、甲ナル振出人ハ之カ仕拂ヲ拒ムヲ得ルヤ否ト云フニ條例第四十五條ニ  
依レハ余ノ乙銀行ニ對スル呈示ハ完全ナル呈示ニ非サルヲ以テ甲者ハ之カ支拂  
ヲ拒絕スルヲ得可キナリ今同條ノ全文ヲ掲ケレハ爲替手形ノ仕拂ヲ受ケント欲  
スルモノハ本條例ノ規定ニ從ヒ呈示セサル可ラス若シ此規定ニ反シ仕拂ノ爲メ  
ニ所持人ヨリ手形ヲ呈示シタルトキハ振出人タルモノハ其義務ヲ免ル可シト是  
當然ノ理ニシテ若シ之ヲ他ノ契約法ノ法理ニ求ムルモ契約ニ基テ金員ノ仕拂ヲ  
ナスニ當リ法律上有効ナル仕拂ヲナサント欲セハ金員ヲ權利者ニ示シテ何時ニ  
テモ權利者ノ需メニ應スルヲ得可キ準備ヲナシツ、アラサル可ラス英國ノ法律  
ニテハ之ヲ提供(Tender)ト云フ是實ニ觀易キノ理ニシテ若シ余ハ金員ヲ支拂ヒニ  
來レリ金員ハ懷中シアリ何時ニテモ汝ニ支拂フ可キモ今之ヲ示スヲ得スト云ハ  
、誰カ之ヲ以テ支拂ノ提供ヲナシタルモノトスルアラソヤ是ト同シ手形ニ於  
テモ亦手形ヲ支拂人ノ目前ニ示サ、ル可ラス而シテ其之ヲ目前ニ示シテ拒マレ  
タルトキハ茲ニ始メテ振出人又ハ裏書人ニ向テ其保證ノ義務ヲ責ムルヲ得可キ

ナリ茲ニ一言シ置シ可キ。若シ適當ナル呈示ヲナサ、ルトキハ手形所持人ニ對シ振出人又ハ裏書人ハ其義務ヲ免ル可キモノトコトヲ述シカ此義務ヲ免ル、トハ手形ニ對スル總テノ義務ヲ免ル、ニ非スシテ手形ヲ振出シ若クハ讓渡シタルトキニ於テ其振出人又ハ裏書人ハ受取人若クハ讓受人ヨリシテ得タル所ノ金員即チ契約法上ニ所謂約因ノ支拂ヲ免ル、トノ意味ニ外ナラサルナリ。

倍此支拂ノ爲メニスル呈示ハ如何ナル時ニ於テナサ、ル可カラサルヤト云フニ其手形ノ種類ヨリテ各其規定ヲ殊ニシ若シ其手形ハ定期拂ノ手形ナルトキハ其期日ニ呈示セサル可ラス若シ又一覽拂若クハ請求拂ノ手形ナルトキハ手形振出後又ハ裏書後相當期限内ニ之ヲ呈示セサル可ラス先回ニモ述タル如ク手形持一人ノ手裡ニ永シ留置セサルハ法律ノ精神ニシテ即チ手形ヲシテ金庫中ニ永シ安眠セシムルヲ忌ミ可成の活潑々地ニ運動シ速ニ流通轉帳セシメント欲スルハ條例ノ方向ナリトス然リ而シテ此相當期限トハ全ク事實ノ問題ニシテ先ツ手形ノ性質如何ヲ考ヒ即チ其手形カ銀行間ニ發セラレタルモノナルヤ又商人間ニ發セラレタルモノナルヤ又農業者間ニ發セラレタルモノナルヤノコトヲ吟味シ次

ニ振出人ノ義務ニ關スル商業上ノ習慣ヲ見サル可ラスシテ即チ日本ノ東京ト大阪トニテハ商業社會ノ習慣ヲ殊ニス可キヲ以テ其場合ヲ攻究スル等其他各場合ニ付テ之カ當否ヲ決セサル可ラサルナリ

右ニ述タル所ノモノハ呈示ノ期限ナルカ呈示ヲナスニ付テハ獨リ其本人ノミニ限ラス代人ニテモ可ナルモノニシテ之ヲ詳言スレハ手形所持人又ハ相當ノ代人ヨリ支拂人若クハ引受人又ハ其相當ナル代人ニ向テ之ヲ呈示ス可シト云フニアリ

呈示ニ關スル規定ハ如斯嚴密ナルヲ以テ其月日ニ付テ紛議ヲ生スルハ勿論時間ニ付テ亦紛議ノ生スルコトアルカ一日何レノ時ニテモ呈示スルモノナルカ如シト雖モ支拂人タルモノハ他ノ百般ノ事業ニ從事スルモノナルヲ以テ如斯範圍ヲ廣濶ニスルトキハ大ニ困難ヲ極ム可キヲ以テ通常營業スル時間中ニ限ルモノトス故ニ日本ニテ云ヘハ銀行會社等ハ午前九時ヨリ午後三時マテニシテ西洋ナレハ午前第十時ヨリ午後四時マテト云フカ如シ

次ニ呈示ス可キ場所ノコトヲ講述センニ之ニ付テハ第一手形面ニ仕拂地ノ記載

アルトキハ其所ニ於テ呈示ス可キハ當然ナリ第二手形面ニ支拂地ノ記載ナクシテ支拂人ノ番地ノミアルトキハ其番地ニ至リテ呈示スルヲ要ス若シ支拂地モ無ク支拂人ノ番地モアラサルトキハ支拂人ノ營業地ニ於テ呈示ス可ク其營業地モアラサルトキハ通常ノ住家ニ就テ呈示ス可ク若シ又是等ノ場所ヲモ見出スヲ得サルトキハ支拂人ニ出會シタルトキ其場所ニ於テ直ニ呈示シテ可ナリ茲ニ注意ス可キハ手形面ニ支拂ノ場所ヲ記載シアルトキニ途中ニテ支拂人ニ出會ヒ之ヲ呈示スルヲ以テ完全ナル呈示ト云フヲ得サルナリ日本ニテハ是等ノ規定ナキヲ以テ何レノ場所ニ於テ呈示スルモ可ナルカ如シト雖モ世運ノ進歩スルト共ニ當サニ如斯規定ノ必要ヲ生ス可キナリ今其理由ヲ示サハ手形ナルモノハ其金員ハ通常百圓若クハ二百圓ニ止マルカ如シト雖モ元來其金員ノ多額ニ付テハ制限ナキヲ以テ豪商間ノ取引ニ付テハ千圓若クハ一萬圓ナル手形ヲ作ラル、モ又異トスルニ足ラサル可シ是等ノ金員ニ至テハ如何ナル富有ナル人ト雖モ突然途中ニテ之ヲ求メラル、モ所持シアル可キ道理ナキヲ以テ預メ之カ場所ヲ一定スルモノナルヲ以テ途中ニテ突然之ヲ請求セラル、モ仕拂フヲ得サリシトテ之ヲ不渡ト

シ裁判所ニ訴フルモノトセハ亦大ナル誤ト云フ可キ乎

所持人カ右ニ述タル相當ノ手續ヲ盡スモ支拂人ヲ見出スヲ得サルトキハ最早所持人ハ支拂呈示ノ義務ヲ免ルヲ得可キナリ今一例ヲ舉グレハ手形面ニ支拂人ノ傍書ヲ本町壹丁目壹番地甲トナシタリ之ヲ以テ所持人乙ハ本町壹丁目壹番地ニ至リ甲ノ宅ヲ尋テシニ甲ハ不在ニテ下婢出テ、甲カ昨日西洋ニ出發シタル旨ヲ述タリ此場合ニ於テハ所持人カ例令手形ヲ懷中シテ示サ、ルモ最早法律ハ有効ナル呈示ヲナシタリト見做スモノトス其故ハ甲ハ手形ノ支拂ヲ拒ムノ意思アルモノト推測スレハナリ又此場合ニ於テ所持人カ本町壹丁目壹番地ニ至リシニ家ハ閉チアリテ内ニ入ルヲ得サリシトキノ如キ所持人カ手形ヲ呈示セント欲シタルニ支拂人カ死亡シタルコトヲ聞キタルトキノ如キ何レモ皆同様呈示セスシテ可ナリ是等ハ實際發生シタル實例ノ一二ヲ舉ケタルニ過キサレトモ諸君ハ須ク之ニ依テ推究セハ自得スルヲ得可キナリ

第二十回

引受呈示ニ於ケルカ如ク支拂呈示ニ付テモ之ヲ呈示スル方法ハ一般ニ所持人ヨ

リ直接ニ呈示スルヲ定則トスレトモ對手間ノ契約又ハ商業上ノ習慣ニヨリテ郵便ヲ以テ呈示スルコトヲ許ストキハ其方法ニ依ルモ尙可ナリト雖モ是一ノ例外法ニ過キサルナリ

元來支拂ヲ受クルヲ爲メニスル呈示ハ所持人ノ義務ナリ所持人ニシテ尙モ支拂ヲ受ケント欲セハ此義務ヲ盡サ、ル可ラス然レトモ或場合ニ於テハ此義務ヲ盡サ、ルモ可ナルコトアリ即チ義務者自身ノ力ノ及ハサル場合ニシテ例之ハ支拂地ニ洪水アリテ近ツクヲ得サルトキ又ハ所持人カ支拂人ノ許ニ至ラントスル途上重傷ヲ負テ爲メニ到達スルヲ得サリシ場合ノ如キ是ナリ如斯場合ニハ必スシモ呈示セサルモ可ナリ尙此義務ヲ免ル、場合ノ例ヲ舉ケレハ手形ノ所持人カ其支拂期限ニ到達スル前日若クハ夫ト同日ニ死亡シタル場合ノ如キハ何人カ相續人ナルヤチ知ル可ラス例令相續人ハ一定シアルモノトスルモ混雜中又手形ノ如何ヲ願ルノ暇アラサルハ普通一般ノ常体ナル可キヲ以テ呈示ノ義務ヲ免ルモノトス又横濱(振出地)ヨリ上海(支拂地)ニ宛テ手形ヲ振出シタル場合ニ此手形ハ上海ニ於テ呈示セサルヘカラス然ルニ偶々手形ノ支拂期限ニ到達スル頃清佛間ニ葛藤ヲ生シ遂

三〇

ニ開戦スルニ至リ上海ハ佛國ノ封鎖スル所トナリタルヲ以テ之カ爲メ手形ヲ呈示スルヲ得スシテ空シク其支拂期限ヲ經過シタル場合ノ如キモ亦此義務ヲ免ル、ナリ

右ニ述タル所ハ止ムヲ得サル事故ノ存スルカ爲メニ支拂呈示ノ義務ヲ免ル、場合ナルカ如キ事故ノ存セスシテ此義務ヲ免ル、場合アリ即チ手形面ニ支拂地ノ記載ナク又支拂人ノ住所ノ記載モナク何レノ所ニ向テ呈示セハ可ナルヤチ知ル可ラサル場合はナリ此時ニ當テ所持人ハ相當ノ注意ヲ用テ支拂人ヲ搜索スルモ尙見出スヲ得サルトキハ此義務ヲ免ル可キナリ又次ニハ支拂人カ假設人ナルトキハ此義務ヲ免ル可キナリ其故ハ支拂人ノ假設人ナルトキハ其實振出人ハ即チ支拂チナス可キ人ナルヲ以テ其名前人ニ之ヲ呈示セント欲スルモ其人ナカレハ尙之ニ呈示スルノ必要ナクハナリ然レトモ是等ハ一般ノ原則ニ過キスシテ此支拂地モ支拂人ノ住所モ記載ナキ場合ノ如キハ相當ノ注意ヲ以テ之ヲ搜索スルノ義務アリテ單ニ自分ニテ支拂人ニ示スモ本人カ不在ナルヲ以テ到底無効



ナリト臆斷シ支拂人ノ許ニ至ラサルトキノ如キハ未タ以テ所持人ハ此義務ヲ免ル、ヲ得ス例之ハ支拂人乙ノ住所カ大坂堂島ト記載シアルモ實際乙ナル者ハ堂嶋ニ住家ナキヲ以テ丁ナル所持人カ堂嶋ニ至ルモ無益ナリト臆斷シテ堂嶋ニ至ラスシテ出訴シタリトセハ丁ハ當然敗訴ス可キナリ何トナレハ手形面ニ記載シアル以上ハ必ス一度其場所ニ至ラサル可ラサル義務アルヲ以テナリ或ハ又甲ハ一ノ手形ヲ振出シ乙ハ仕拂人丙ハ裏書人丁ハ所持人タリシ場合ニ丁ハ第三者ヨリ甲カ乙ニ書簡ヲ贈リ彼ノ手形ハ仕拂ハサルモ可ナリト云ヒタルコトヲ聞タルトキハ如何ト云フニ一度呈示ヲ試ミサル以上ハ未タ以テ義務ヲ免ル、ヲ得サルナリ何トナレハ書簡ノ差示ハ單ニ甲乙間ニ止マリ丁ハ之ニ關係ナキヲ以テ之カ呈示ヲナシテ手形面ノ約束ヲ履行セサル可ラス其次ニハ支拂人若クハ振出人カ手形ヲ呈示セスシテ直チニ請求シテ可ナリトノコトヲ約束シタルトキハ法律上是等ノコトハ對手間ノ契約ニヨリ左右シ得可キモノトスルヲ以テ當然呈示ノ義務ヲ免ル可キモノトス

第三項 手形ノ不渡(Dishonor)

前項ニ述タル手續ニヨリテ所持人カ手形ノ引受ヲ得ルカ爲メ支拂人ニ呈示シ引受ヲ得次ニ手形面金額ノ仕拂ヲ請求シ支拂人ニ於テ其金員ヲ仕拂タルトキハ茲ニ手形ノ効用ヲ終フ可シ然レトモ若シ支拂人ヨリ仕拂ハサルトキハ其所持人カ一ノ手續ヲナサ、ル可ラス而シテ此仕拂ノ請求ヲ拒マレタルコトヲ稱シテ手形ノ不渡ト云フ然ラハ即チ如何ナルトキヲ以テ手形ハ不渡トナリタリトス可キヤト云ハ、一ハ所持人カ手形ヲ支拂人ニ呈示シ支拂人カ金員ノ支拂ヲ拒ミタルトキニシテ一ハ前項ノ終ニ述タル所持人カ手形呈示ノ義務ヲ免レ居ル手形ニシテ其支拂期限ノ經過シタルトキ是ナリ彼ノ呈示ナルモノハ手形ノ所持人カ金員ヲ請取ルニ付爲サ、ル可ラサル義務ナリトノコトハ普通ノ規則ニシテ若シ對手間ニ於テ呈示セサルモ可ナリトノ契約ヲナシタルトキハ所持人ハ之カ呈示ヲナサスシテ金員ヲ請取ルヲ得可シ去レトモ其手形ニシテ請求期限ヲ經過シタルトキハ無論支拂人カ手形面ノ金員ヲ支拂ハサル可シ然ルニ反之不渡ノ結果ハ前回ニモ述タル如ク保證契約ヲシテ蘇生セシムルモノニシテ即チ振出人又ハ裏書人カ爲シタル所ノ契約ハ是ニ至テ始メテ其効用ヲ顯出ス可キモノナルカ故ニ其手形

ノ不渡トナリタルヤ否ヤ所持人ハ裏書人又ハ振出人ニ向テ保證ノ義務ヲ責ムルヲ得可キナリ是レ即チ單純ノ結果ナリ然ルニ此所持人カ振出人又ハ裏書人ニ對シテ保證ノ義務ヲ生セシメントスルトキハ又盡サ、ル可ラサル一手續アリ即チ不渡ノ通知是ナリ不渡ノ通知トハ所持人カ其支拂ヲ拒マレタルトキニ其旨ヲ總テノ振出人又ハ裏書人ニ通知セサル可ラサルコト是ナリ此點ハ各國其規定ヲ同フスト雖モ唯其結果ニ至テハ其趣ヲ異ニセリ此事ニ關シテハ後段ニ詳説スル所アル可キヲ以テ茲ニ之ヲ畧ス可シ

若シ所持人此通知ヲ與ヘサルトキハ其結果通知ヲ受ケサル裏書人又ハ振出人ハ保證ノ義務ヲ免カル、コトヲ得可ク又例令通知ヲナスモ直チニ之ヲナサスシテ時日ヲ遷延シタルトキハ之カ通知ヲナサ、ルニ均シキモノトス如斯英國法ニテ不渡通知ハ金員支拂ノ保證ノ成立スルト否トノ限界ヲナシ即チ金員ヲ得ルト否トノ限界ヲナスカ故ニ尤モ必要ナル點ナリ然ルニ日耳曼法ニテハ之ニ異ナリ例令通知ヲ怠ルモ此一點ヲ以テ手形面ノ金額ヲ受取ルヲ得可ラサルモノトナサス唯通知ヲナシタルト否トノ結果ノ區別ハ其通知ヲナシタルトキハ手形面ノ金額

ノミナラス不渡ニ依テ生スル所ノ損害賠償ヲ求ムルヲ得可シ此點ハ英國法ト大ニ異ナル所ナルカ何レチ正當トナス可キヤハ法理學者ノ間ニ議論ノ存スル所ニシテ甲論乙駁未タ一定スルヲ着スト雖モ余ノ信スル所ニ依レハ日耳曼法チ正當ナリトス其故ハ單ニ不渡ノ通知ヲナサ、ルノ一事ヲ以テ數百千圓ノ債主權ヲ消滅セシムルハ酷ニ失スルモノニシテ甚ダ理由ナキコト、云フ可シ然レトモ手形ノ所持人タルモノハ支拂人ニ向テ請求スルトキハ必ス直チニ金員ヲ得可キモノトシテ流通スルニ之ヲ仕拂ヲ得ストシテ拒マレタリトセハ其迷惑果シテ如何ソヤ所持人カ商人ナルトキハ其金員ヲ請取ラサルカ爲メ荷物ヲ引取ルヲ得サルカ又ハ品物ヲ買入ルノ機ヲ失シテ損失ヲ蒙ルハ必然ナルヲ以テ其損害ヲ保證人ニ於テ仕拂ハサル可ラサルハ當然ノコトナリ然ルニ若シ通知ヲ怠リタルトキハ其所持人ノ蒙リシ損害タル自己ノ所爲モ亦幾分ノ原因ヲナスヲ以テ之ヲ舉ケテ保證人ノ責任ニ歸セシメントスルカ如キニ至テハ不當ト云ハサルヲ得ス故ニ其損失ハ之ヲ保證人ニ求ム可ラサルナリ此區別ハ最モ其當ヲ得タルモノト云フ可シ以上手形ノ不渡トナリタル場合ニ於ケル所持人ト振出人若クハ裏書人トノ關係

ナ述ヘシカ手形ハ例令不渡トナリタルモ流通シ得可ラサルニ非ス加之ナラス又手形仕拂期限ト雖モ流通スルヲ得可キナリ如斯支拂ヲ拒マレタル後即チ例ヲ以テ之ヲ示サハ甲ヨリ乙ヲ仕拂人トシテ一ノ手形ヲ振出シ之ヲ丙ニ渡シタルニ丙ハ之ヲ乙ニ呈示シ不渡トナリタル後之ヲ丁ニ裏書シ丁ヨリ之ヲ戊ニ裏書シタリトセハ其時ニ當リ丁戊ニシテ正當所持人ナリセハ丁戊ノ權利ニ如何ナル影響ヲ及ホス可キモノナルヤト云フニ現行法ニ於テハ正當所持人タル完全ノ權利アルモノトセリ苟モ手形ノ目的ハ流通ヲ自由ナラシムルニアルモノトシ充分之ヲ保護セント欲セハ是等正當所持人ノ權利モ亦保護セサル可ラサルナリ

### 第二十一回

先回ニ於テ不渡通知ハ受取人ノ義務ニシテ且ツ其通知ハ手形ノ不渡トナリシ即日之ヲナサ、ル可ラサルニトナ述ヘシカ或場合ニ於テハ必スジモ即日通知スルヲ要セサルコトアリ即チ之ヲ換言セハ通知ノ時日ヲ遷延シタルモ尙振出人又ハ裏書人ニ向テ保證ノ義務ヲ責ムルノ權利ヲ喪失セサル場合アリ今之ヲ掲クレハ左ノ如シ

第一、所持人通知ヲナサントスルニモ其力ノ及ハサル事故ノ爲メニ妨ケラレタルトキ即チ例ヘハ天變地異又ハ戦争ノアリタルトキノ如キ是ナリ斯ノ如キ場合ニハ所持人ニ於テ懈怠若クハ不注意ナキヲ必要トスルナリ勿論所持人ニ懈怠若クハ不注意アリタルトキハ反對ノ結果ヲ生ス可キナリ

又所持人カ裏書シテ他人ニ讓渡ストキニ當リ支拂ノ場所ヲ誤記シタルトキノ如キモ亦此場合ニ入ル可キナリ例ヘハ裏書人ナル乙ハ東京ニ住居シアルニ誤テ大坂ト記シタル場合ニ於テ所持人ハ裏書人ニ即日郵便ヲ發シタルニ大坂ニ往復シ六日ヲ經テ返戻ヲ受ケ裏書人ノ東京ニ住居スルコトヲ確メタルモ之カ爲メ空シク數日ヲ經過シタルカ如キモ此場合ニ於テハ時日ヲ遷延スルモ可ナリトス

第二、支拂人ノ住所ハ記載ナクシテ所持人ニ於テ之ヲ搜索スルモ見當ラサルカ爲メニ期日ヲ經過シタルトキ

第三、郵便ニテ支拂ヲ請求シタルトキノ當テ郵便局カ誤テ其通知書ヲ紛失又ハ燒燼シタルトキ

以上ノ三場合ハ法律上通知ノ猶豫ヲ與ヘタルモノナルカ故ニ例令時日ヲ遷延ス

ルモ之カ爲メニ所持人ノ權利ヲ消滅スルコトナシ然レトモ所持人ハ其事故ノ止ミタル以上ハ振出人又ハ裏書人ニ向テ直チニ不渡ノ通知ヲナサ、ル可ラス而シテ爰ニ尙一步ヲ進メテ不渡ノ通知ヲナサ、ルモ可ナル場合アリ請フ左ニ之ヲ講述セシ

所持人カ振出人若クハ裏書人即チ通知ヲ與ヘントスル人ヲ搜索スルモ到底見出スヲ得サルトキハ通知セサルモ可ナルヘシ例ヘハ所持人カ其裏書人若クハ振出人ノ商店ニ至リ通知セント欲シタルニ該商店ハ閉店シアリテ人ノ住居シアルカ如キ場合はナリ勿論這ハ是其商店ノ業務ヲ執ル時間中ニ行キタルヲ要スルヲ以テ日本ノ銀行間等ニテ云ヘハ午前九時ヨリ午后三時ニテ英國ニテ云ヘハ午前十時ヨリ午後四時マテナリトス

次ニハ其通知書カ郵便局ニ於テ紛失若クハ燒燼シタルトキノ如キハ其過失所持人ニ在ラスシテ郵便局ニ在ル可キヲ以テ所持人ハ其責ヲ負フ可キ義務ナキナリ又所持人カ裏書人又ハ振出人ノ住所ヲ知ルヲ得ス例ヘハ東京振出人某トアルヲ以テ相當ノ注意ヲ用ヒテ東京市内ヲ尋ヌルモ之ヲ見出スコト能ハサル場合ノ如

キ是ナリ此場合ニ於テハ通知セサルモ可ナリ  
次ニハ其振出人又ハ裏書人ニ於テ通知セサルモ可ナリトノ約束ナシタル場合ニシテ之ヲ法律上ノ語ニテ云ヘハ通知ノ棄權 (Waiver of notice) ト云フ勿論棄權ノ約束ハ豫メ所持人ニ通知ノ義務ヲ生スル前ニナスモ又既ニ其義務ノ生シタル後ヨリ之ヲ認ムルモ可ナリ此後ノ場合ハ代理法ニ於ケル追認ト殆ント同一ノ意義ニ出ツルモノニシテ論理上極メテ矛盾スル所アルモ實際上其結果ハ之カ爲メニ害ヲ蒙ルモノナクシテ却テ各對手ニ採テ甚ダ利益タル可キヲ以テ法律ノ之ヲ許スハ固ヨリ當然ノコトナリトス是等ノ約束タル明カニ表示セサルモ或ハ他ノ事情ヨリ暗黙ニ棄權スルコト往々アル所ナリ例之丙ナル裏書人カ丁ナル所持人ニ向テ余ハ當時一定ノ住所ナキヲ以テ住所ヲ定ムルノ後通知ス可シトノ書簡ヲ送リタリ斯ノ如キトキハ所持人ヨリ通知セント欲スルモ爲シ得可ラサルヲ以テ此ノ如キトキハ法律ハ丙ナル裏書人ニ於テ不渡ノ通知ヲ受クルヲ棄權シタルモノト認ムルナリ又棄權ヲ追認シタル例ヲ述フレハ丁ナル所持人カ乙ナル支拂人ニ向テ支拂ヲ請求シタルニ之ヲ支拂ハス夫レヨリシテ七日ノ後甲ナル振出人ニ邂逅

シ手形ノ不渡ニナリタルコトヲ告ケタルニ其手形ハ甲ニ於テ支拂フ可シト云ヒ  
 タリ此時ニ於テハ法律上甲カ丁ニ對シテ特別ノ約束ヲナシタルモノト見做サス  
 シテ不渡ノ通知ヲ棄權シタルモノト見做スナリ其結果ハ依然トシテ甲ニハ保證  
 ノ義務繼續スルモノト見做スナリ是故ニ甲者ハ手形面ニ對スル金員ヲ支拂ハサ  
 ル可ラサルナリ此不渡通知棄權ノ效果ハ尙不渡通知ト同一ノ性質ヲ有スルモノ  
 ナルヲ以テ獨リ通知ヲ與ヘタル所ノ所持人ト其通知ヲ受タル所ノ振出人又ハ支  
 拂人トノ間ニ限ラズシテ若シ其手形ヲ所持人カ他ニ讓渡則チ裏書シタルトキハ  
 其讓受人モ亦振出人又ハ裏書人ニ對シテ同様ノ權利ヲ有スルモノナリトス  
 次ニ此棄權アリタルモノト法律カ推測スル場合ハ本講義ノ對手ノコトヲ講シタ  
 ル所ト大ニ關係ヲ有スルヲ以テ須シ参照スヘシ是他ナラス振出人ト支拂人ト同  
 一人ナル場合又ハ支拂人カ假設人ナル場合ニ於テハ此通知ヲ與ヘサルモ可ナリ  
 又支拂人カ假設人ナルトキハ前ニ述タル如ク所持人ハ其手形ヲ約束手形ト見做ス  
 モ又ハ爲替手形ト見做スモ可ナルモノニシテ何レニテモ支拂人ト振出人トハ同  
 一人ナレハ支拂ヲ拒ミタル以上ハ通知ヲキモ勿論其事實ヲ知ル可キ筈ナレハナ

今一ツハ振出人ナル甲カ乙ナル支拂人ニ向テ此手形ハ支拂ハサルモ可ナリトノ  
 コトヲ通知シタルトキモ亦不渡ノ通知ヲナスヲ要セサルナリ何トナレハ支拂人  
 カ手形ヲ不渡ニナシタルハ振出人ノ差圖ニ從ヒタルモノナレハ其手渡ノ不渡ニ  
 ナリシコトハ疾ニ振出人ノ知ル所ナレハナリ畢竟スルニ是等ノ場合ハ振出人カ  
 其事實ヲ知ルトキハ通知ヲ要セストスルニアリ  
 以上ハ振出人ニ對スル通知ノコトヲ述シカ是ヨリ裏書人ニ對スル通知ノコトヲ  
 述シニ裏書人ノ場合ニ於テ亦若シ其裏書人カ手形ノ支拂人ハ假設人ナルヲ知ル  
 トキハ手形ノ支拂人ナキコトハ自己カ熟知シアル所ナル可キヲ以テ此場合ニモ  
 亦棄權シタルモノト見做スナリ  
 次ハ裏書人丙カ乙ナル支拂人ノ代理人トナリテ其手形ニ對スル支拂ヲナス可キ  
 位地ニアル場合ナリトス此場合ニ於テモ亦其資格ヲ異ニスルト雖モ支拂人ト裏  
 書人トハ同一人ナルヲ以テ既ニ其事實ヲ知ル可シ既ニ其事實ヲ知ル以上ハ又此  
 通知ヲ要スルコトナカルヘシ

第四項 拒「證書(Protest)

此拒「證書」ノ規定ニ付テハ各國少シク差異ナキニ非ス然レトモ先ツ大同小異ト云テ可ナルモノニシテ其差異タル或ハ日限或ハ書式等ノ一小部分ニ止マルモノトス今英國ノ規定ヲ述フレハ拒「證書」ハ手形引受ノ爲メニ呈示シ若シハ手形支拂ノ爲メニ呈示シタル場合ニ於テ引受又ハ支拂ヲ拒絕セラレタルトキ公證人ヲシテ其之ヲ證明スル所ノ書面ヲ作ラシムルヲ云フナリ若シ公證人ナキ土地ナルトキハ其地方ニ信用アル者二人ヲ撰テ之ヲ證人トシ其證人ノ面前ニテ之ヲ作ルヲ要ス而シテ此證書ニハ如何ナルコトヲ記載スルカト云ハ、第一所持人即チ手形ノ引受若シハ仕拂ヲ拒マレタル者カ拒「證書」後日ノ證據トナサント欲スルモノナレハ其請求スル人ノ姓名第二其場所第三時日第四拒絕ノ原因例ヘハ支拂人ノ住所ニ至ルモ不在ナルカ又ハ閉店シアリタルコト又ハ番地不確定ナルカ爲メ之ヲ見出スコトヲ得サル等ノコトヲ記載シ之ニ公證人ノ記名調印ヲ要ス此拒「證書」ハ如何ナルトキニ必要ナルヤト云フニ必スシモ總テノ手形ニ必要ナルニアラスシテ之ヲ必要トスルハ國外手形ノ拒絕セラレタルトキニアルモノト

ス此場合ニ於テ若シ之ヲ作ラサルトキハ彼ノ振出人又ハ裏書人ニ向テ義務ヲ責ムルヲ得サルナリ之ニ反シ國外手形ノ場合ニ於テハ此拒「證書」ヲ作ルト否トハ一ニ所持人ノ撰擇ニ任スルモノトス元來此拒「證書」ナルモノヲ設クルノ旨意ハ手形ノ仕拂ヲ確實ナラシムルカ爲メ後日ノ證據ヲ存在セシムルニアリ然ルニ内國ニテハ證據ヲ蒐集スルハ容易ノ業ナリト雖モ外國間ノ場合ニ於テハ極メテ困難ノ事ナルヲ以テ何レノ國ノ流通證書法ニ於テモ此拒「證書」ヲ必要トスルハ同一一般ナリト雖モ只異ナルノ點ハ國內手形ノ場合ナリトス何故ニ國內手形ノ場合ニ於テハ之ヲ適用セサルカ證據存在ノ点ヨリスルトキハ國ノ内外ヲ問ハス之ヲ適用ス可シト雖モ其手形ノ流通ヲシテ圓滑神速ナラシメント欲セハ可成的斯ノ如キ手續ヲ省クヲ要ス尤モ商業上ノ信用薄キ國ニ於テハ國內手形ト雖モ尙ホ此ノ必用ヲ見ルヘキナリ

而シテ此拒「證書」ノコトハ英國ニテハ國外手形ニ限り即チ本講義ノ初メニ於テ講述シタル如ク對手ノ一人カ外國ニアル場合ナレハ各外國ニアル人カ約束ヲナセハ此ニ國際法上ノ問題ヲ生ス可キカ然ルトキハ此拒「證書」ヲ作ル期日ハ何レ

ノ國ノ法ニ從フ可キカ此點ハ爰ニ述フルモ或ハ徒ラニ諸君ノ頭腦ヲ苦ムルヲ恐  
 ル諸君ハ他日國際私法ヲ學ハルルノ際其契約ノ部ニテ研究セラル可シ  
 又此拒ミ證書ヲ作ルノ時日ハ其手形ノ拒マレタル即日ニ作ルチ原則トス去レト  
 モ止ムチ得サル事情アルトキハ例外ナリトス場所モ亦其拒マレタル場所ナルチ  
 要ス併シ郵便ヲ以テ手形ノ支拂又ハ引受ノ呈示ヲナスコトヲ得レハ此時ハ即日  
 通知ヲナスチ得スシテ場所モ亦拒マレタル場所ニ於テスルチ得ス故ニ此時ニ限  
 リ郵便ノ戻リ來リタルノ日其場所ニ於テ作爲スルチ許スハ是レ止ムチ得サル事  
 柄ナリトス

第二十二回

第五項 引受人ニ對スル所持人ノ義務

前回ニ於テ手形引受ノ爲メニ呈示スルコト及手形支拂ノ爲メニ呈示スルコトハ  
 所持人カ手形ノ支拂ヲ受クルコト付テノ義務ナルコトヲ述ヘシカ此支拂ノ爲メニ  
 呈示スルハ何ノ必要アリヤト云ハ、以テ支拂人ニ手形面ノ金員ヲ支拂ノ準備ヲ  
 ナサシムルコアリ而シテ所持人ハ引受人ニ對シテハ如何此支拂ノ爲メニスル呈

示ハ其義務ナリヤ否ヤノコトハ自ラ別問ニ屬ス可キヲ以テ茲ニ講セサル可キナ  
 リ其故ハ約束ノ對手ヲ殊ニスルヲ以テナリ凡ソ手形面ノ約束ニ付テハ振出人カ  
 受取人ニ對スル約束裏書人カ讓受人ニ對スル約束所持人ヨリ手形ノ引受人ニ對  
 スル約束並ニ振出人ト支拂人又ハ引受人トノ間ニ於ケル約束ハ各殊別相異スル  
 所ノ約束ニシテ從テ其對手ノ互々間ニ存スル權利義務モ亦從テ小差異アル所  
 ナリ

是マテ本章ニ述タル事柄ハ重ニ手形ノ呈示ニ關スルコトナルカ今因ニ手形ノ所  
 持人カ支拂人ニ對シテモ此義務ヲ負擔スルヤ否ヤノコトヲ述フ可シ條例第五十  
 二條ニヨレハ之ヲ以テ所持人ノ義務トナサスシテ手形所持人ハ支拂人ニ對シ支  
 拂ノ爲メニ手形ヲ呈示セサルモ可ナルモノトセリ勿論英國ノ古法即チ習慣法ニ  
 從ヒハ是當然ナル理ナリ何トナレハ英國ノ契約法ニヨレハ借金ヲ支拂フノ義務  
 チ有スルモノハ權利者ノ請求ヲ待タズ義務者ヨリ權利者ヲ索メテ之ヲ支拂ハサ  
 ル可ラサルハ一般ノ原則ナリトス而シテ此手形面ノ引受モ亦一種ノ契約ニシテ  
 即チ手形面ノ金員ヲ仕拂フ可キ義務ヲ負擔シタル所ノ契約ナル以上ハ權利者即

テ所持人ヨリ此手形ヲ持來テ呈示スルヲ待タス義務者即チ引受人ヨリ其金員ヲ持參シ之ヲ支拂ハサル可ラサルハ敢テ怪ムニ足ラサルナリ併シ之レハ是法律上ノ規則ニシテ實際國ノ東西ヲ問ハズ時ノ古今ヲ論セス金員ヲ貸與シタルモノヨリ催促スルヲ常トシ未タ會テ金員ヲ義務者ヨリ持行テ辨濟スルノ習慣アルヲ聞カサルナリ故ニ手形ノ場合ニ於テモ實際ハ無論所持人ヨリ支拂ヲ請求セサル可ラズ然レトモ唯法律上ニテハ所持人ヨリ請求セサルモ可ナルモノナルコトヲ記憶ス可キナリ尙諸君ノ注意ス可キハ所持人ハ引受人ニ對シテ斯ノ如キモノナルモ反之振出人又ハ裏書人ニ對シテハ全ク否サルモノナリトノコト是ナリ如斯法律上所持人ヨリ引受人ニ對シテハ既ニ手形支拂ノ爲メニスル呈示ト雖尙且不用ナルヲ以テ勿論拒ミ證書ヲ作ルノ必要ナキナリ去レトモ引受人ニ於テ金員ヲ支拂タル以上ハ其手形ヲ引渡サ、ル可ラス此手形ヲ引渡サ、ル可ラストノコトニ付テ一ノ諸君ニ攻究ヲ請フ可キ問題アリ他ナラス一般貸金證書ノ所有權是ナリ既ニ手形ニシテ金員ノ支拂ヲ得ルトキハ其手形ヲ仕拂人ニ渡サ、ル可ラストスル以上ハ其所有權ハ一見スレハ仕拂人ニアルカ如シ通常ノ貸金證書ノ所有權

ハ債主ニアル可キカ將タ又負債主ニアル可キカ元來此證書ナルモノハ負債主ヨリ債主ニ渡シ置クモノニシテ其物タル單一葉ノ紙片ニ記載シタル證據物件ナリトス此紙片ハ果シテ何人ノ所有物ナリヤ予曾テ職ニ横濱ノ法術ニ在リ當時此爭訟ヲ判決シタルコトアリシカ此事タル我邦ニテハ未タ會テ其判例ヲ見サル所ナリ諸君幸ニ講學ノ餘暇一片ノ意見ヲ與ヘヨ

### 第七章 對手ノ責任

前章ニ於テ述タル如ク手形ニハ通常ノ證書ト異リ關係ノ對手夥多アルモノニシテ之ヲ要言スレハ振出人支拂人及受取人ニシテ此支拂人カ引受ナセハ引受人トナリ受取人ニシテ他人ニ手形ヲ讓與シタルトキハ裏書人トナルナリ若シ又裏書ヲ要セサル手形ナルトキハ單純ナル手形ノ移轉人トナルナリ此數種ノ對手アリテ其間互ニ相異リタル責任ヲ生スルモノトス本章ニ於テハ是等ノ對手間ニ生スル責任ヲ述ヘントス此責任ヲ述フレハ自然其權利ノ如何ヲ知ルヲ得可ク而シテ此責任權利ヲ詳カニセハ從テ流通證書ト一般ノ證書トノ間ニ存スル差異ノ點ヲ知得スルヲ得可キナリ



第一項 支拂人ノ責任 (條例第五十三條)

英國ノ現行法ニヨレハ支拂人ハ所持人ニ對シテ毫モ其責任ヲ有セズト規定セリ茲ニ英國ト稱スルハ英倫及愛爾蘭ニシテ蘇格蘭ハ全ク之レニ反ス然ラハ何故ニ支拂人ハ所持人ニ對シテ責任ナキヤト云フニ所持人ト支拂人トノ間ニハ法律上ノ關係即チ一ノ約束ナケレハナリ之ヲ普通ノ例ニ就テ云ヘハ甲ハ乙ナル銀行ヲ支拂人トシテ手形ヲ振出シ之ヲ丙ニ渡シ丙ハ之ヲ丁ニ裏書シ去レトモ未ダ其手形ニハ引受ナカリシカ丁ハ乙銀行ニ至テ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求シタルニ乙銀行ハ其支拂ヲ拒絕シタリ此場合ニ於テ丁ハ乙銀行ヲ對手取り出訴シ得ルヤ否ト云フニ乙銀行ハ未ダ引受ナシテ直接ノ對手人トナラサルヲ以テ之ヲ訴フルコトヲ得サルナリ此點ハ即チ大陸法ト英國法トノ差異ノ一個ニシテ佛國法ニヨレハ蘇格蘭ノ法律ト同シク若シ甲ナル振出人カ既ニ乙ナル支拂人ニ彼ノ爲替資金ヲ渡シ置キタルニ當リ手形ノ所持人ヨリシテ乙カ請求ヲ受ケタル場合ニハ必ス支拂フノ義務アルモノナリト規定セリ然レトモ此規定ハ契約法ノ原則ニ背反スル所ノモノナリトス何トナレハ未ダ合意ヲナシテ其關係ヲ作ラ

三〇

サルニ義務ヲ負擔スルノ理由ナケレハナリ然レトモ元來爲替手形法ナルモノハ通常ノ取引ニ對シテ變例ナルモノナレハ手形ノ流通ノ圓滑自由ナルノ點ヨリスレハ佛國等ノ法律ハ便利ナランカ反之英國ノ本項ニ於ケル規定ハ單純ニ契約法ノ原則ニ基キタルモノナリトス

因ニ述フ可キハ右ニ述タル英國現行ノ規定ニヨレハ支拂人乙ハ既ニ爲替資金ヲ受取リタルト否トニ關セス支拂ヲ拒ムコトヲ得可シ此時ニ當テ甲カ既ニ乙ニ爲替資金ヲ渡置タルトキ所持人ヨリ請求セラレタルニ支拂ヲ拒ミタルトキハ乙ナル支拂人ハ甲ナル振出人ニ對シテ契約ヲ破リタルモノナレハ勿論所持人ニ對シテハ責任ナキモ振出人甲ニ對シテハ損害要償ノ責任アルモノトス

第二項 引受人ノ責任 (條例第五十四條)

借支拂人カ既ニ手形ヲ引受ケテ引受人トナリタルトキハ如何ナル義務ヲ負フ可キヤト云フニ此引受ヲナスマデハ其手形ニ付テハ一方ノ對手ハ所持人ニシテ他ノ對手ハ振出人ナレハ振出人ハ主タル義務者ナリ然ルニ一旦乙カ之ヲ引受ケタル以上ハ此關係ハ變シテ乙ナル引受人カ手形ニ對シテ主タル義務者トナル可シ

流通證書法

故ニ是ト同時ニ振出人ハ從タル義務者ト變スルモノナリ夫レ斯ノ如ク引受人ハ主タル義務者ノ位地ニ立テ以テ無論此手形ヲ支拂フノ義務アリトス而シテ此引受トハ如何ナルコトヲ約束スルモノナリヤト云フニ單ニ手形ノ支拂ヲ受クルノミナラス其手形ノ振出人ハ假設人ニ非スシテ正當ニ成立シアルモノニシテ其手形ノ記名ハ振出人ノ正當ノ記名ナルコト又若シ裏書人アルトキハ其裏書人モ亦有効ナル裏書人ニシテ其記名モ亦正當ナリトノコトヲ自認シタルモノナリトス何故ニ法律ハ斯ノ如キコトヲ認ムルカト云フニ先ニモ述タル如ク手形面ノ約束モ亦一ノ契約ナルヲ以テ或ハ其手形ノ對手人ニシテ無能力者ナルカ又ハ其記名ノ詐欺ニ出ルコトアルトキハ其手形ハ無効トナル可キヲ以テ此無効ナル手形ヲ流通セシメ後日其實ノ發覺シタルトキニ方リ引受人カ自分ハ其引受ヲホシタルモ該手形ハ元來無効ノ手形ナルヲ以テ自分ハ其責ニ任セスト云フコトヲ得ルモノトセハ手形ハ實ニ危險ナルモノトナルカ故ニ從テ流通ノ滯滞ヲ來ス可キナリ是ヲ以テ手形ノ支拂及手形面ノ權利ヲ確實ナラシムル爲メ斯ノ如キノ規定ヲ設ケタルナリ

### 第二十三回

#### 第三項 振出人及裏書人ノ責任

前項ニ於テハ引受人ノ責任ヲ講了シタルヲ以テ是ヨリ振出人及裏書人ノ責任ニ付キ講述スル所アラントス  
抑モ手形ヲ振出す所ノ振出人ノ意思ヲ討尋スルニ敢テ自ラ受取人又ハ所持人ニ對シ金員ノ支拂ヲ約束スルニアラスシテ若シ支拂人ニ於テ金員ヲ仕拂ハサルトキハ振出人ノ仕拂フヘキコトヲ約束スルモノナリ尙ホ之ヲ詳述スレハ爲替手形振出人ハ(第一)受取人又ハ所持人カ支拂人ニ對シテ其手形ヲ呈示スルトキハ必ス引受ラルヘキコト(第二)其手形ハ必ス支拂ハル、コト及(第三)若シ支拂人ニシテ其手形ノ引受又ハ支拂ヲ爲サ、ルトキハ振出人ニ於テ其金額并ニ費用ヲ辯償スヘキコトヲ約束スルモノトス即チ之ヲ通常ノ契約ノ場合ニ比スレハ所謂保證ノ契約タルコト明カナリ又振出人ノ外手形裏書人ナルモノアルコトハ先回ノ講義ニ於テ講説シタル所ニシテ此裏書人ナルモノハ手形ノ移轉セラル、毎ニ其員數ヲ増加スルモノトス倍裏書人及振出人ハ契約法ニ所謂連帶保證人ノ位置ニ居ルモノナ

リト雖モ其通常ノ保證人ト異ナレルノ點ハ此二人者ニ支拂ノ義務ヲ負擔セシメ  
 ント欲セハ先ツ所持人ニ於テ法律ノ命スル手續ヲ踐行セサルコト即チ是ナリ然  
 ラハ其手續トハ如何ナルコトヲ指サヤト云フニ余カ先回ノ講義ニ於テ講説シタ  
 ル如ク所持人ニ於テ支拂人ヨリ引受又ハ支拂ヲ拒マレタルトキハ振出人又ハ裏  
 書人ニ對シテ之カ通知ヲ與ヘ或ハ拒絕證書ヲ作為セサルヘカラス又振出人ナル  
 モノハ手形ノ所持人ニ對シテ請取人ハ假設人ニアラサル真正ノ人ナルコト及其  
 請取人ハ幼者又ハ瘋癲白痴ニアラスシテ全ク手形ヲ移轉スルノ能力ヲ有スルモ  
 ノナルコトヲ認諾シタルモノト推測セラルヘシ故ニ後日ニ至リ其然ラサルコト  
 チ反言スルヲ禁遏セラ、ルモノトス蓋斯ノ如ク規定セサルトキハ或ハ振出人ニ  
 於テ偽手形ヲ振出スノ恐ナキニアラサレハナリ  
 法律ハ裏書人モ亦振出人ト同一ナル約束ヲ締結シタルモノト推測ス即チ裏書人  
 ハ所持人ニ對シテ手形ハ必ス引受又ハ支拂ハル、コト及若シ其手形ニシテ支拂  
 ハサルトキハ自ラ其損害ヲ賠償スヘキコトヲ保證スルモノナリ  
 裏書人ニ就テハ他ノ手形對手ニ比スレハ稍其趣ヲ異ニスルノ規定アリ例ヘハ甲

0

者手形ヲ振出シ乙者之カ受取人タル場合ニ於テ乙者ハ其手形ニ裏書シテ之ヲ丙  
 者ニ移轉シ丙者ハ又之ヲ丁者ニ移轉シタリトセシニ若シ第三者タル戊ニ於テ裏  
 書人ノ記名スヘキ所ニ記名スルトキハ法律上如何ニ之ヲ處分スルヤ英國ノ法律  
 ニ於テハ亦之ヲ一種ノ裏書人ト見做シ通常ノ裏書人ト同一ナル責任ヲ負擔セシ  
 ム法律家或ハ之ヲ稱シテ准裏書人ト云フ  
 支拂人ニ於テ引受若シハ仕拂ヲ爲サ、ルトキハ裏書人又ハ振出人ニ於テ其損害  
 ヲ賠償スヘキ義務ヲ生スルコトハ右ニ述ヘタル所ナリト雖モ其損害ノ性質及其  
 計算法ハ如何ナルモノナリヤト云フニ現行法ハ之ヲ確定價格ノ損害ト見做スナ  
 リ彼ノ私犯法ニ於テハ損害ヲ分テ確定ノ損害及不定ノ損害ノ二個トス例ヘハ金  
 錢ニ關スル破約ノ如キハ縱令私犯上ノ訴訟ニ依ルモ其金額ハ明カナルヘシ何ト  
 ナレハ其損害ノ金額及之ニ對スル利子ヲ計算スルヲ以テ足レリトスレハナリ之  
 ニ反シテ名譽恢復ノ如キハ不定ノ損害ナリトス今手形ノ支拂拒絕ニ關スル損害  
 ハ右第一種ノ性質ヲ有スルモノナレハ裁判官ハ左ノ三項ニ依リ之カ計算ヲ爲サ  
 べルヘカラス

(第一)手形面ノ金額

(第二)利子 手形ノ利子計算ニ二様ノ區別アリ即チ期限附ノ手形ニ就テハ其支拂期日ヨリ利子ノ計算ヲ爲シ一覽拂ノ手形ニ就テハ其支拂提示ヲ爲シタル日ヨリ利子ノ計算ヲ爲スモノトス

(第三)手形ノ不渡ヨリ起リタル費用例ハ不渡ノ通知ニ關スル郵便稅支拂人ノ住所ヲ搜索シタル費用若クハ所持人ニ於テ其權利ヲ確固ナラシメンカ爲メニ作爲セル拒證書ノ手数料ノ如キ即チ是ナリ國外爲替ノ場合ニ於テハ必ス拒絶公證ノ失費ヲ要スルモノトス又在橫濱ノ人在倫敦ノ人ニ宛テ、手形ヲ振出シタル場合ニ於テ其手形ハ不渡トナリ支拂地即チ倫敦ニ在ル所持人ヨリ之ヲ在橫濱ノ振出人ニ送附スルトキハ其費用モ亦振出人ノ負擔スヘキモノトス此費用ヲ稱シテ再爲替ト云フ

第四項 移轉人ト受轉人トノ關係

裏書人ノ權利義務ニ付爭論ヲ生スルハ手形ノ裏書ヲ以テスルニアラサレハ移轉スルコト能ハサル場合即チ指圖人ニ支拂フヘキモノナルトキニ生スルモノトス

之ニ反シテ持參人ニ支拂フヘキ場合ニ於テハ裏書ヲ要セスシテ單ニ手形ノ引渡ヲ以テ其所有權ヲ移轉スルニ足レルコトハ先回ニ於テ屢々講述シタル所ナリ斯ノ如ク持參人ニ支拂フヘキ手形ノ所持人ニ於テ裏書ヲ爲スコトナク單ニ引渡ニ依リ手形ヲ移轉シタルトキハ其所持人ヲ移轉人ト稱シ其移轉ヲ受ケタル者ヲ受轉人ト稱ス倍其移轉人ナルモノハ手形ノ引渡移轉ニ依リ其手形ニ付キ一ノ責任ヲ負擔セサルヲ以テ原則トス恰モ吾人カ日常紙幣ヲ移轉スルト同一ナリ而シテ茲ニ序ニ講述スヘキコトハ本邦ニ於テモ小爲替及兌換銀行券ノ如キハ理論上單ニ移轉ニ依テ其所有權ヲ移スモノナリトス  
移轉人ト裏書人トハ共ニ同一ノ位地ニ在ルモノナリト雖モ其責任ニ至テハ全ク相異ナルモノナリ移轉人ハ唯直接ノ受轉人ニ對シテ其手形ノ有効ナルコト及自ラ其手形ヲ引渡ス權利ヲ有スルコトヲ保證スルニ過キサルモノトス而シテ此責任ハ單ニ其直接ノ受轉人カ善意ノ正當所持人タル場合ニ於テ成立スルノミ其受轉人カ無報酬ニテ手形ヲ得タル場合ニ於テハ移轉人ニ何等ノ責任ヲモ生スルモノニハアラサルナリ